

豊島区民のスポーツに関する意識調査

報告書

目 次

1. 調査の概要	1
1.1 目的	1
1.2 調査の方法	1
1.3 調査実施期間	1
1.4 調査対象	1
2. 調査結果	1
2.1 調査回収状況	1
2.2 単純集計および性別、年代別集計	2
2.3 クロス集計	84
3. 過去年度調査結果との比較	102

1. 調査の概要

1.1 目的

平成27年10月に策定した「豊島区スポーツ推進計画」の計画期間が令和6年度末までとなっている。豊島区の今後のスポーツ推進施策の基本方針となる豊島区スポーツ推進計画の改訂にあたり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする近年の国際的なスポーツイベントや新型コロナウイルス感染症の流行など、スポーツを実施するにあたり取り巻く環境の変化を捉える必要性がある。区民のスポーツに対する意識、課題等を調査するとともに、その調査結果を分析することで、豊島区スポーツ推進計画改訂の基礎資料とする。

1.2 調査の方法

区民に対するアンケート郵送にて調査する。

1.3 調査実施期間

令和5年9月4日（月）～令和5年9月29日（金）

1.4 調査対象

区が選出した豊島区民（18歳以上の男女）5,000人

2. 調査結果

2.1 調査回収状況

調査票の回収枚数および有効回答枚数を以下に示す。

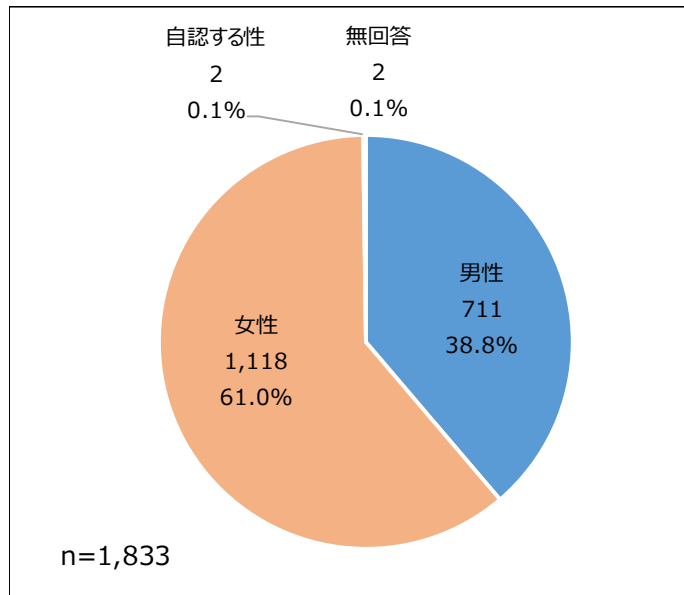
調査票送付数	回答数	無効票数	有効回答数
5,000	1,834	1	1,833

2.2 単純集計および性別、年代別集計

有効回答 1,833 件について、集計結果を示す。

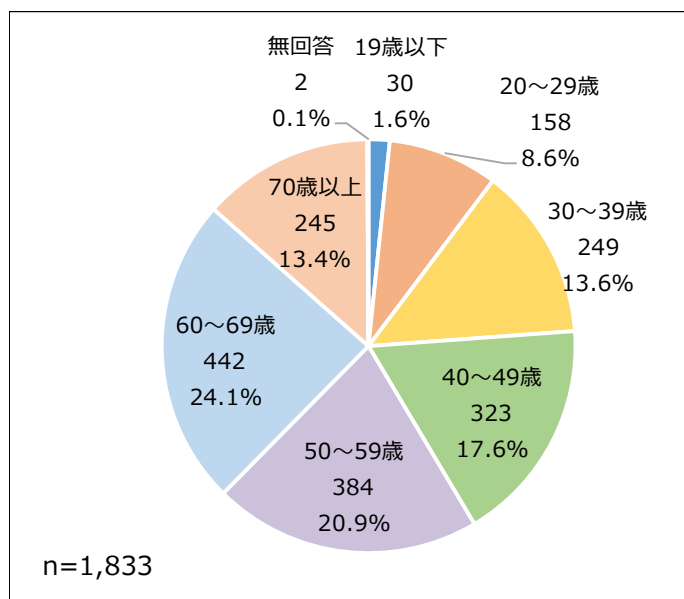
問1 性別を教えてください。（単一回答）

性別については、「男性」が 38.8%で、「女性」が 61.0%となっている。



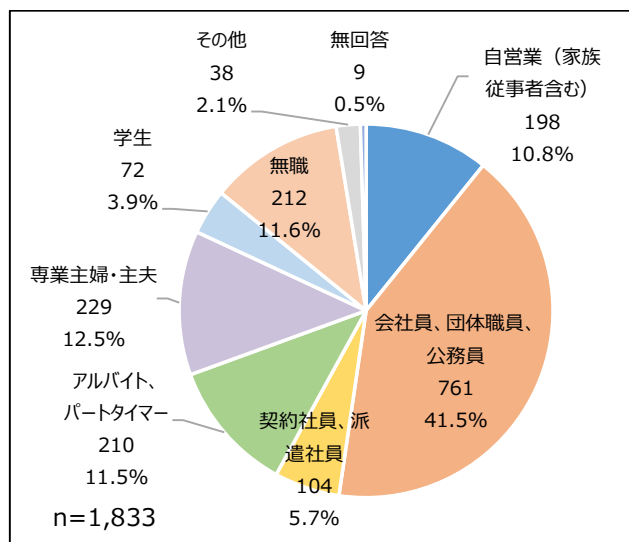
問2 年代を教えてください。（単一回答）

年代については、「19歳以下」が 1.6%、「20歳～29歳」が 8.6%、「30歳～39歳」が 13.6%、「40歳～49歳」が 17.6%、「50歳～59歳」が 20.9%、「60歳～69歳」が 24.1%、「70歳以上」が 13.4%となっている。「60歳～69歳」の回答割合が最も高くなっており、「30歳未満」は約 10%と少ない。



問3 ご職業は何ですか。 (単一回答)

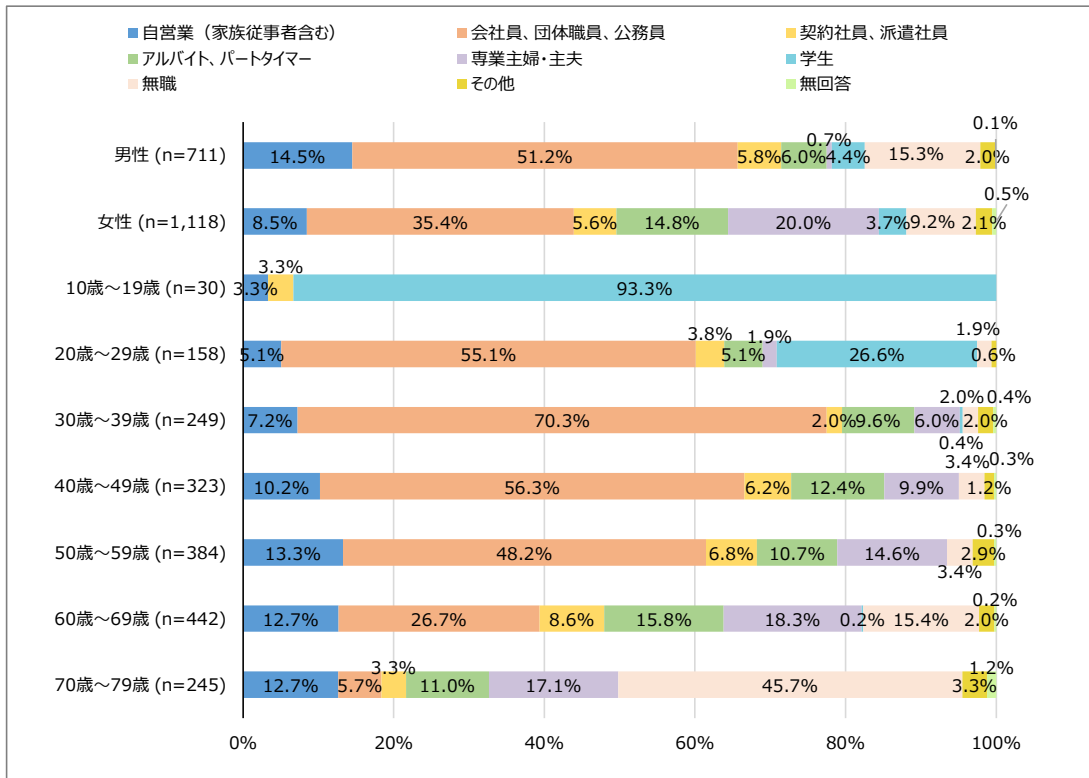
職業については、「会社員、団体職員、公務員」が41.5%と最も多く、次いで、「専業主婦・主夫」が12.5%、「無職」が11.6%、「アルバイト、パートタイマー」が11.5%、「自営業(家族従事者含む)」が10.8%となっている。



【その他】

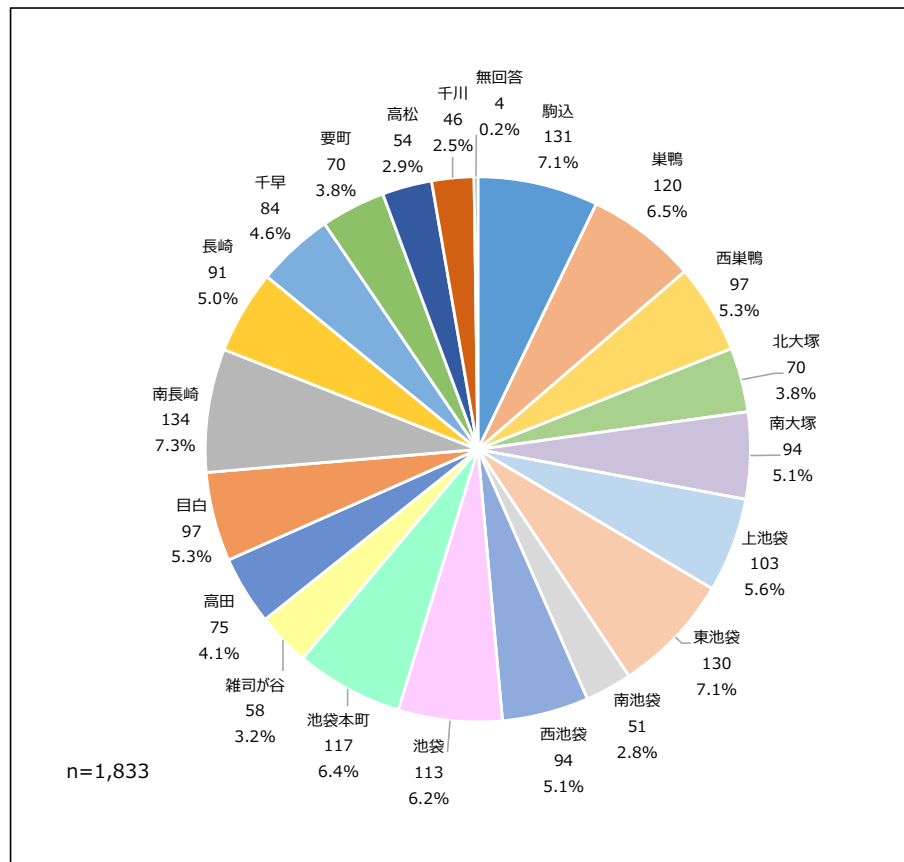
職業	回答数
医師	4
会社役員	2
医療	2
専門職	2
看護師	1
ボランティア	1
顧問	1
獣医師	1
音楽家	1
教育	1
貸代業	1
マンション経営	1
ナレーター	1
シルバー人材センター(植木班)	1
フリーライター	1

参考：職業クロス集計（性別、年齢）



問4 お住まい(町名)はどこですか。(単一回答)

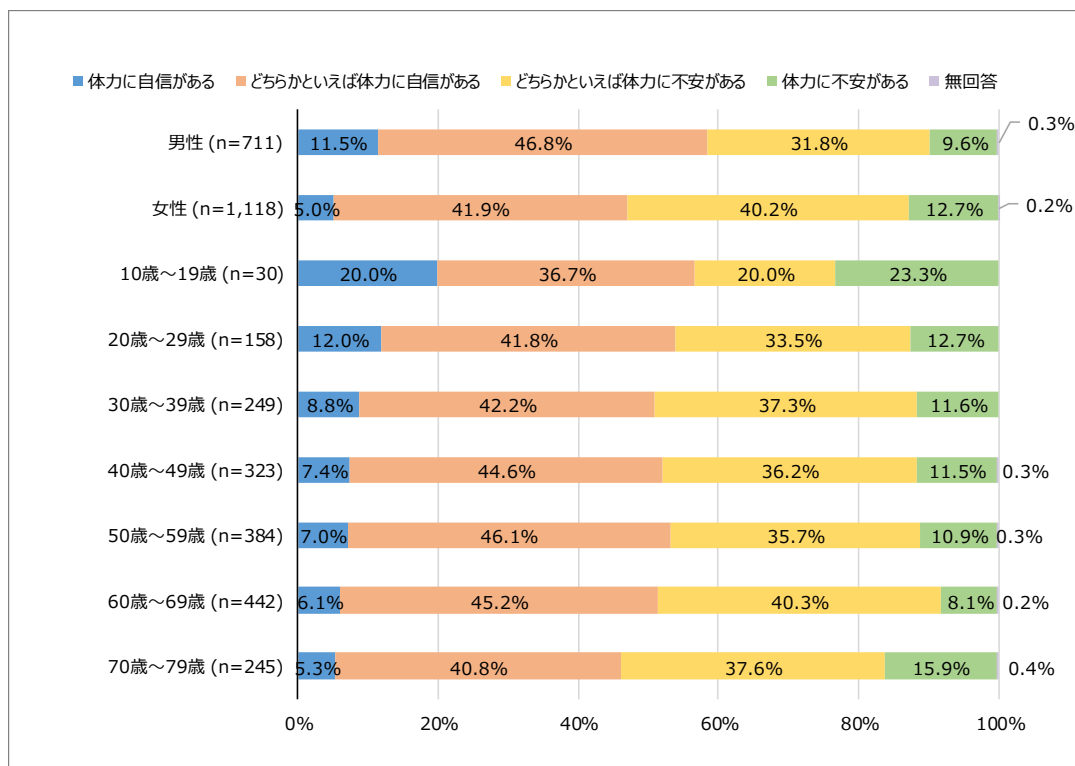
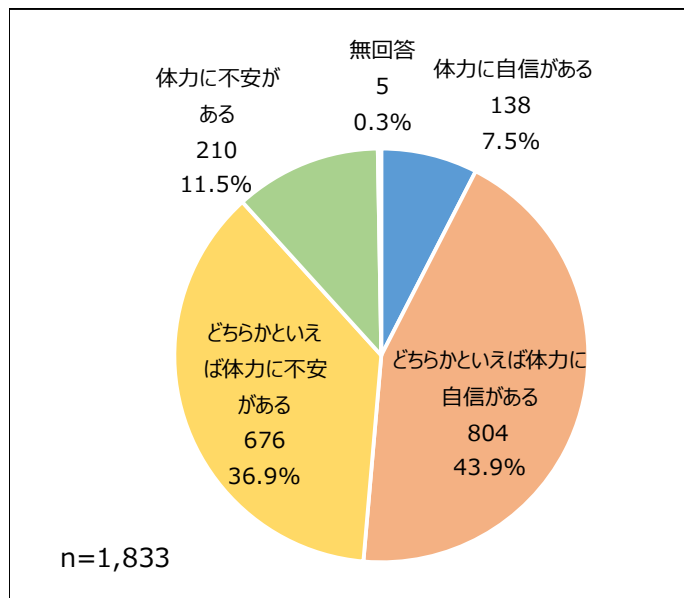
回答者の住所地については、「南長崎」7.3%、「駒込」7.1%、「東池袋」7.1%となっている。



問5 ご自身の体力についてどのように感じていますか。 (単一回答)

自身の体力についてどのように感じるかについて、「体力に自信がある」が7.5%、「どちらかといえば体力に自信がある」が43.9%、「どちらかといえば体力に不安がある」が36.9%、「体力に不安がある」が11.5%となっており、体力に自信のある人と自信のない人の割合がおおよそ1:1となっている。

男女別では男性より女性が、年齢別では年齢の高い人ほど体力に自信がある人の割合が少ない傾向がある。

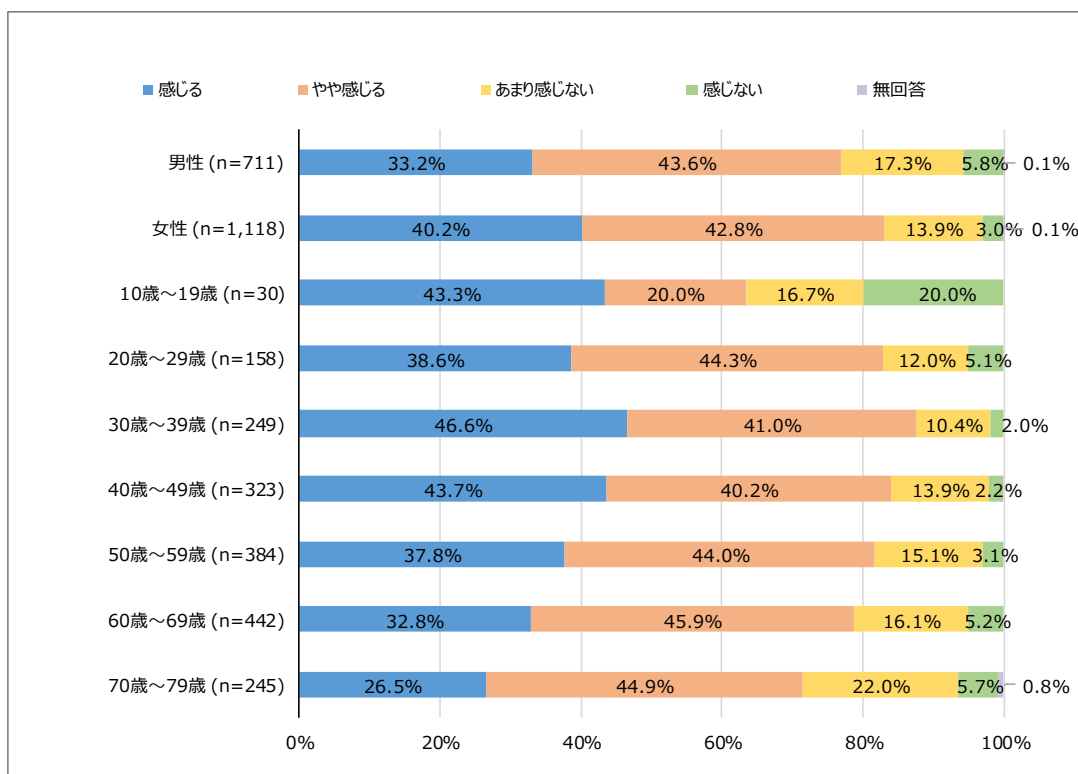
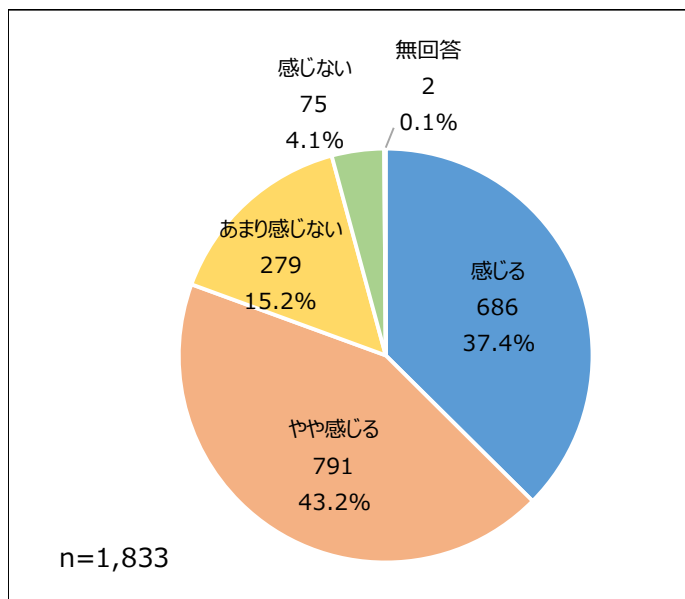


問6 普段の生活で、運動不足を感じていますか。（単一回答）

普段の生活で運動不足を感じているかについては、「感じる」が37.4%、「やや感じる」が43.2%、「あまり感じない」が15.2%、「感じない」が4.1%となっており、運動不足を感じている人の割合が8割以上となっている。

男女別では女性の方が運動不足を感じている人の割合が大きい。

年代別では運動不足を感じている人の割合が30代で最も高く、若い世代や高齢者では低くなる傾向が見られた。

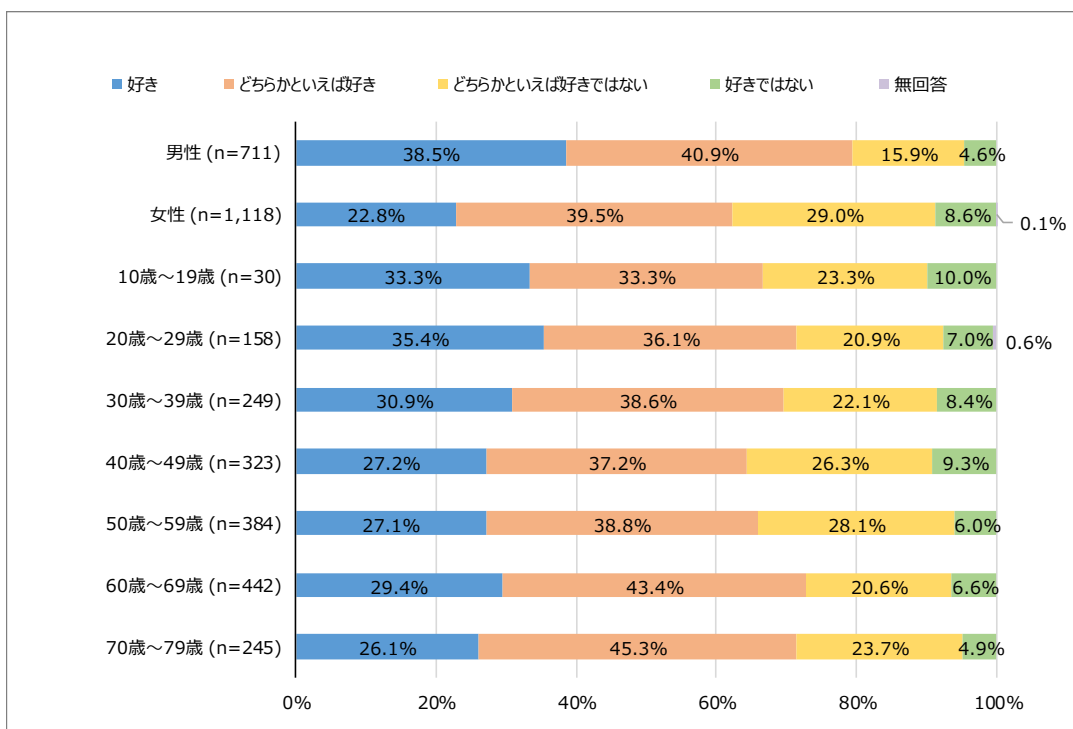
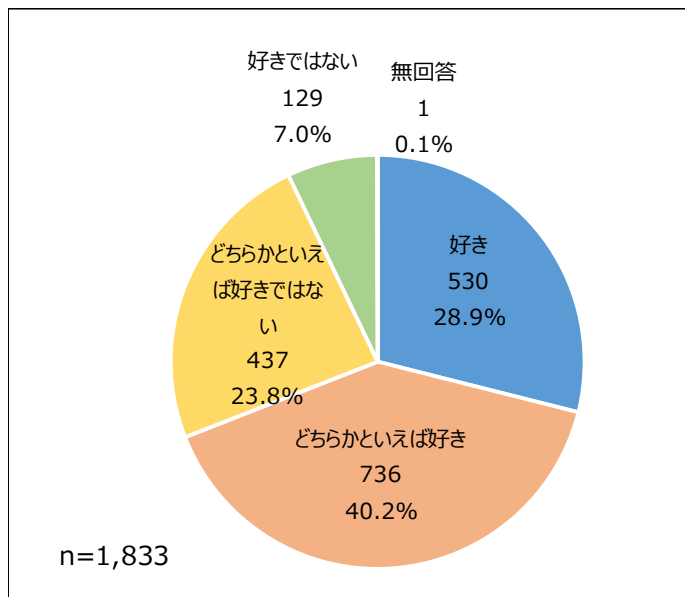


問7 運動やスポーツなど体を動かすことは好きですか。（単一回答）

運動やスポーツなど体を動かすことが好きかについては、「好き」が28.9%、「どちらかといえば好き」が40.2%、「どちらかといえば好きではない」が23.8%、「好きではない」が7.0%となっており、運動やスポーツなどを好きと感じている人の割合が7割近くとなっている。

男女別では、男性の方が運動が好きと回答した人の割合が大きくなっている。

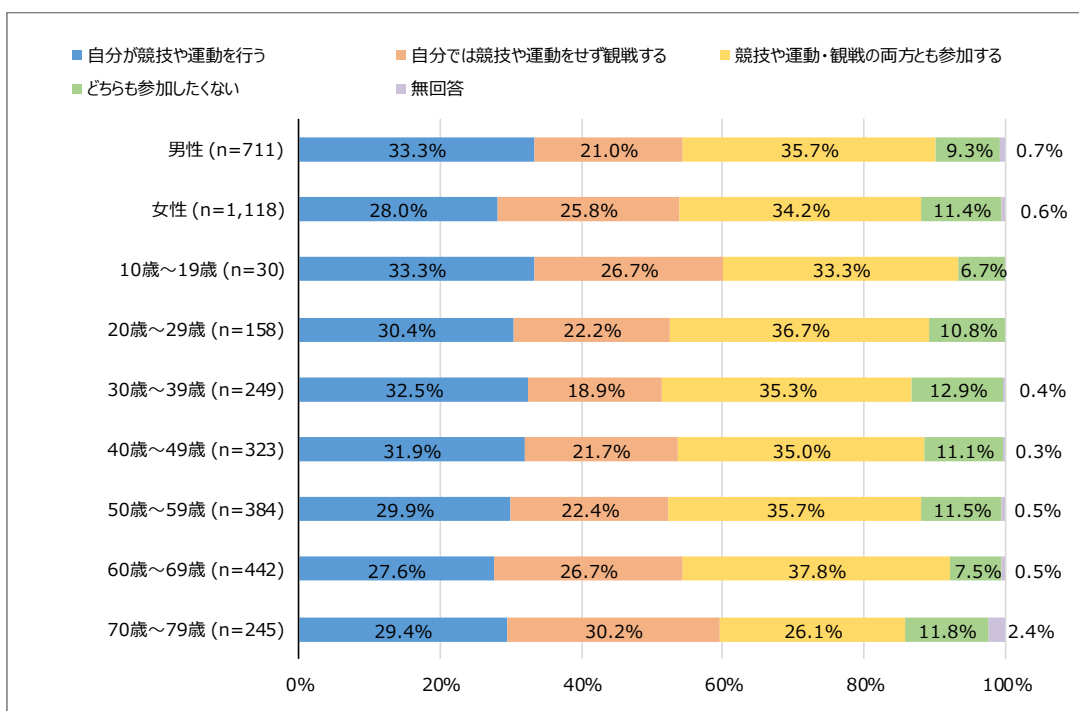
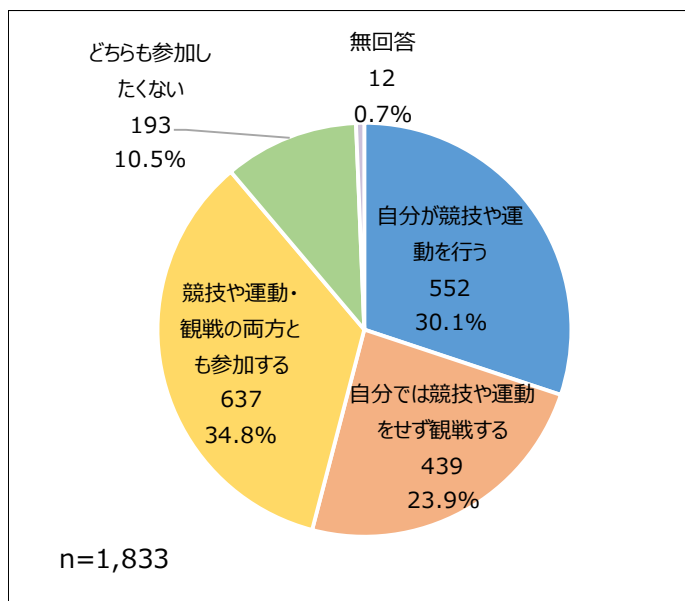
年代別では特に目立った差は見られない。



問8 運動やスポーツに参加するとしたら、どのように参加したいと思いますか（単一回答）

運動やスポーツにどのように参加したいかについて、「自分が競技や運動を行う」が30.1%、「自分では競技や運動をせず観戦する」が23.9%、「競技や運動・観戦の両方とも参加する」が34.8%、「どちらも参加したくない」が10.5%となっている。自分で競技や運動を行いたい人の割合について、「自分が競技や運動を行う」と「競技や運動・観戦の両方とも参加する」を合算すると65%、観戦したい人の割合については、「自分では競技や運動をせず観戦する」と「競技や運動・観戦の両方とも参加する」を合算すると59%となっている。

年代別では「自分では競技や運動をせず観戦する」と回答した人の割合が30代で最も低い。競技や運動を行いたい人について、「自分が競技や運動を行う」と「競技や運動・観戦の両方とも参加する」を合算すると、70代のみ低く他の年代では大きな差は見られない。

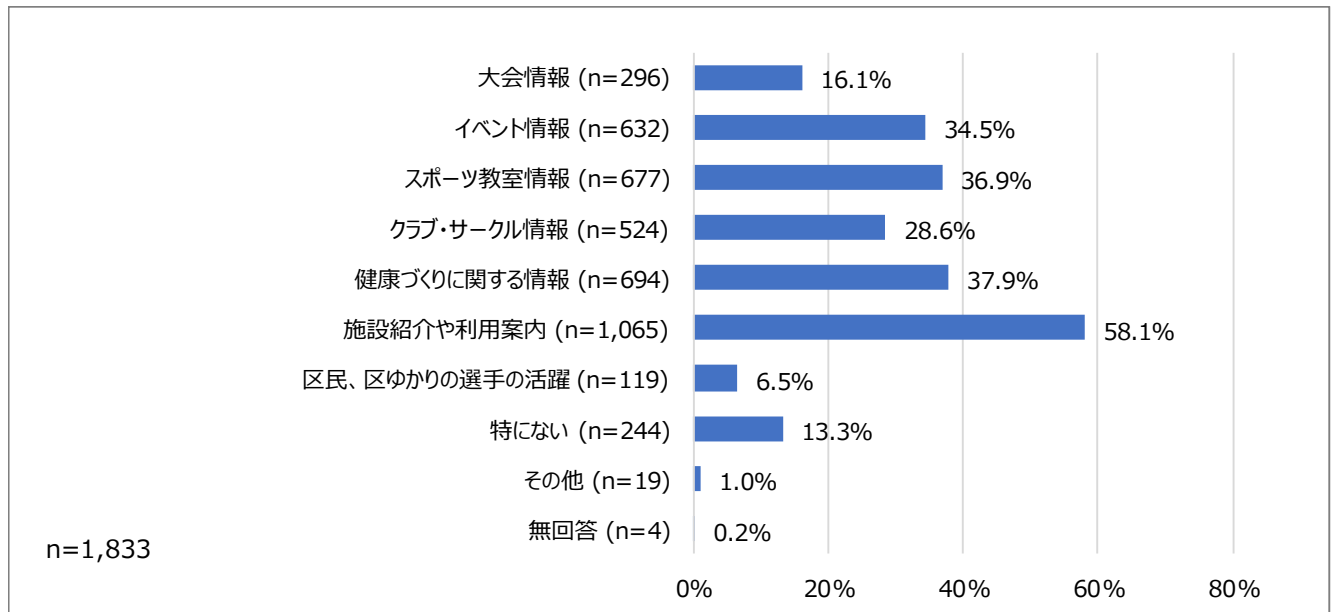


問9 運動やスポーツに関してどのような内容の情報が必要ですか。(複数回答)

運動やスポーツに関してどのような内容の情報が必要かについては、「施設紹介や利用案内」が58.1%と最も多く、次いで「健康づくりに関する情報」が37.9%、「スポーツ教室情報」が36.9%、「イベント情報」が34.5%と拮抗しており、「クラブ・サークル情報」が28.6%と続いている。

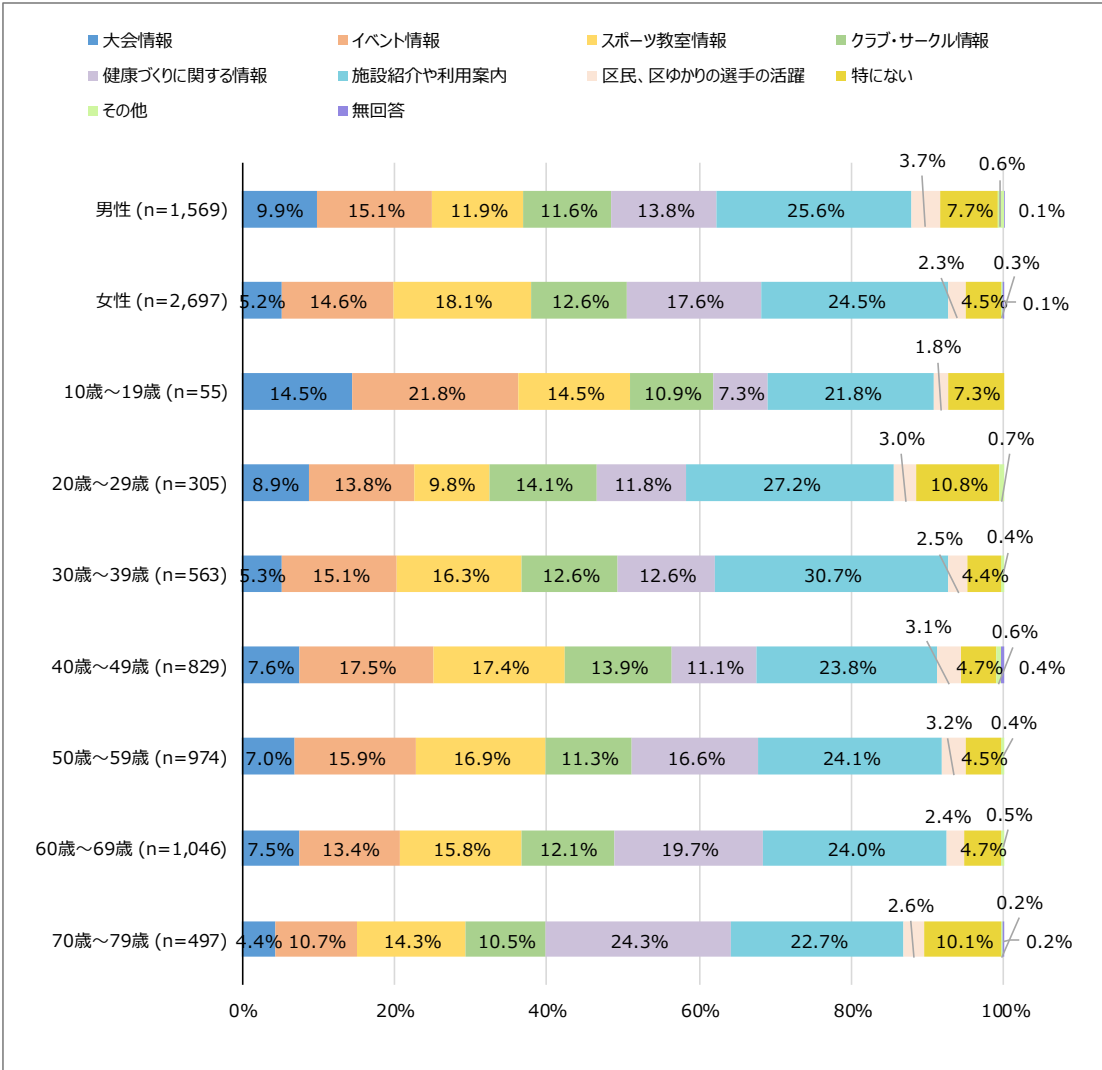
男女別では、男性の方が「大会情報」の割合が大きく、女性の方が「スポーツ教室情報」「健康づくりに関する情報」の割合が大きくなっている。

年代別では年齢が高いほど「健康づくりに関する情報」の割合が大きくなっている。



【その他】

内容	回答数
土日の開催	1
子供を連れていけるか否か	1
障害者対策、手話通訳者など	1
区内の民間スポーツクラブの使用料金	1
開催されている情報が入手できない	1
部活動外部移行	1
その時興味あるものの情報が欲しい	1
指導者としての資質	1
西武の催事情報、ヨドバシ計画案	1
50代の妻が家事の間に1時間ほど参加できるバドミントン教室等	1
どこにどのような施設があるのか、どのように活用できるのか知りたい	1
筋肥大のトレーニング法、サプリメント	1
高齢者向け基礎体力作りについて(ヨガ、ピラティス情報)	1
初心者でも気軽に参加できる教室やイベント	1
リハビリとしてのスポーツ情報	1
大会情報、住まいの近くで観戦できるようなものは知りたい	1
動画を見ながら	1
ウォーキング、サイクリングを好むので、見所やルートなどの情報	1
SNS	1

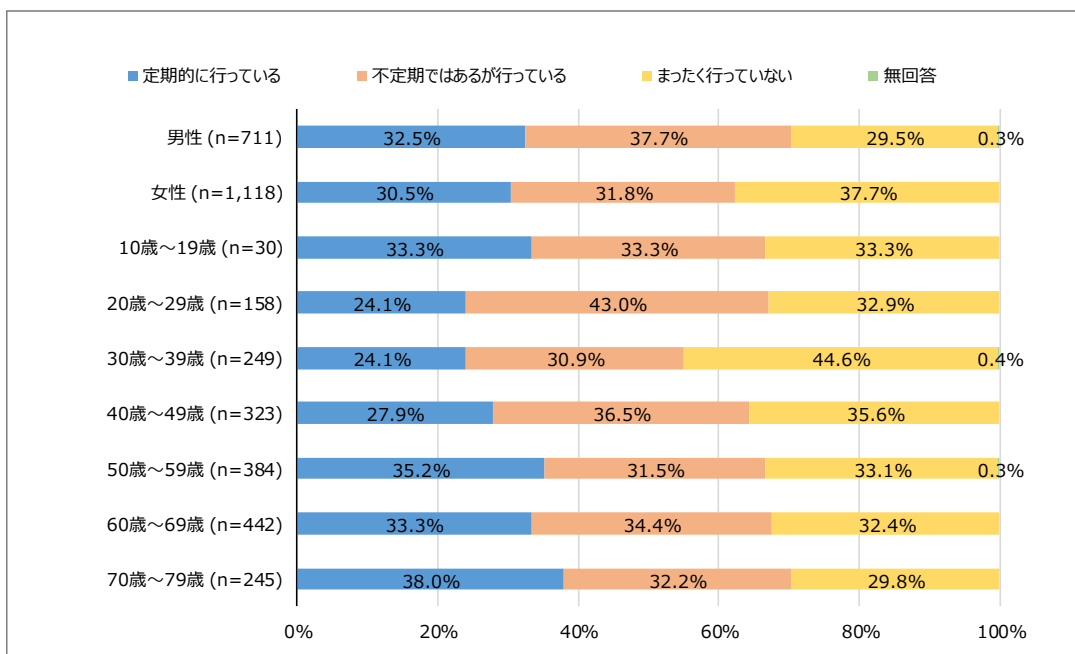
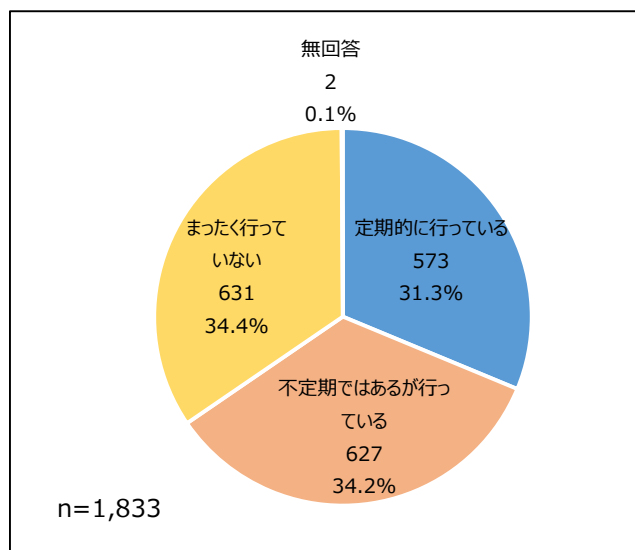


問 10 普段の生活における運動やスポーツの実施状況を教えてください。(単一回答)

普段の生活における運動やスポーツの実施状況については、「定期的に行っている」が 31.3%、「不定期ではあるが行っている」が 34.2%、「まったく行っていない」が 34.4%となっている。

男女別では女性の方が「まったく行っていない」と回答した人の割合が大きくなっている。

年代別では 30 代で「まったく行っていない」の割合が顕著に高く、高齢になるほど徐々に割合が低くなっていく傾向が見られる。30 代では「定期的に行っている」と「不定期ではあるが行っている」の割合が低いことや問 6 で運動不足を感じている人が多いことから、この世代で運動不足になっている人が多いことがうかがえる。



—問 10 で『3. まったく行っていない』と回答された方だけにお伺いします—

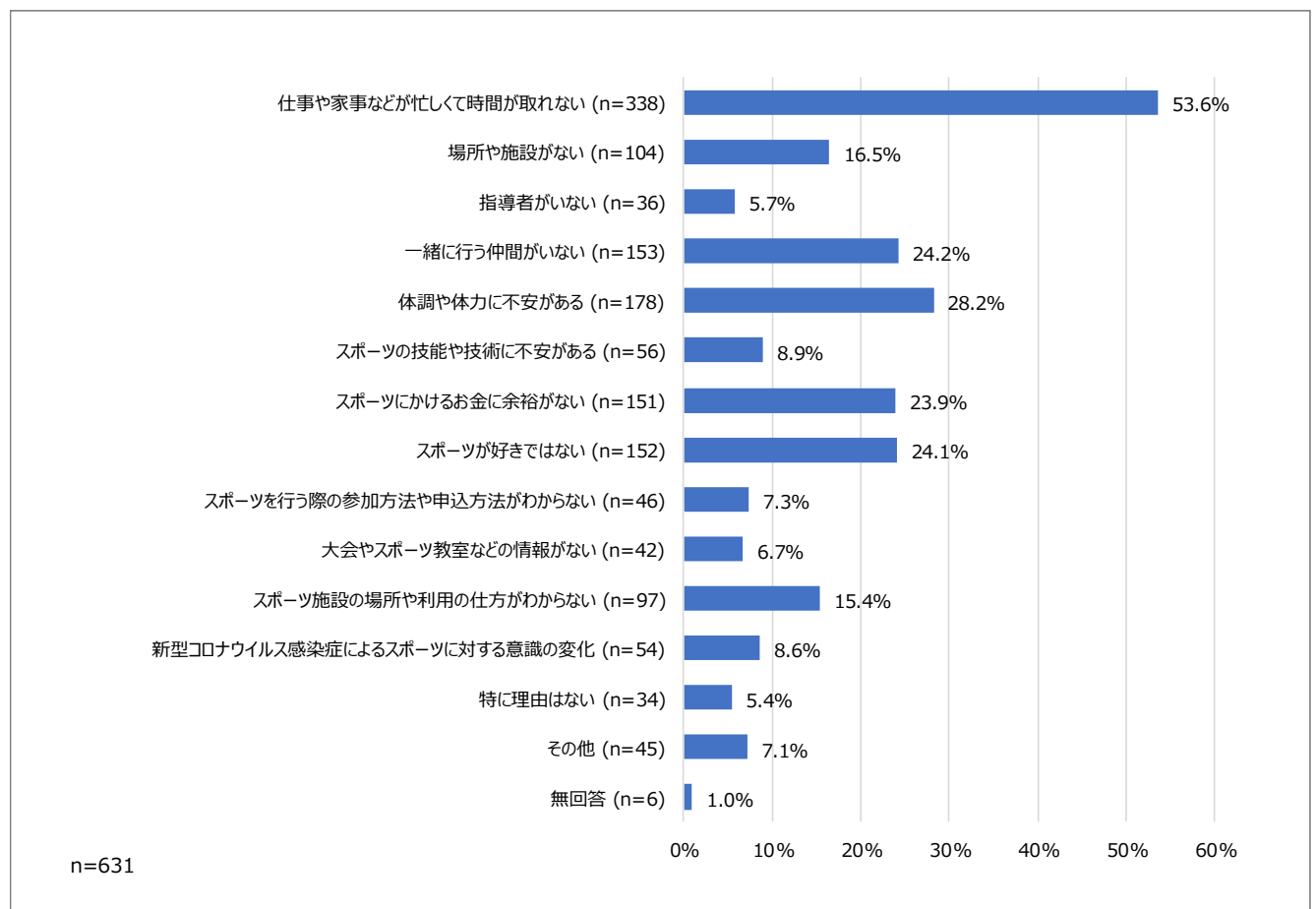
問 11 運動やスポーツを行っていない理由は何ですか。(複数回答)

運動やスポーツを行っていない理由については、「仕事や家事などが忙しくて時間が取れない」が 53.6%と最も多く、次いで「体調や体力に不安がある」が 28.2%、「一緒に行く仲間がいない」が 24.2%、「スポーツが好きではない」が 24.1%、「スポーツにかかるお金に余裕がない」が 23.9%となっている。「場所や施設がない」「スポーツ施設の場所や利用の仕方が分からない」もそれぞれ 15%強となっている。

年代別では 10 代～50 代、特に 30 代で「仕事や家事などが忙しくて時間が取れない」の割合が高くなっている。60 代以上では前述の項目の割合は低くなり、「体調や体力に不安がある」の割合が大きくなっている。

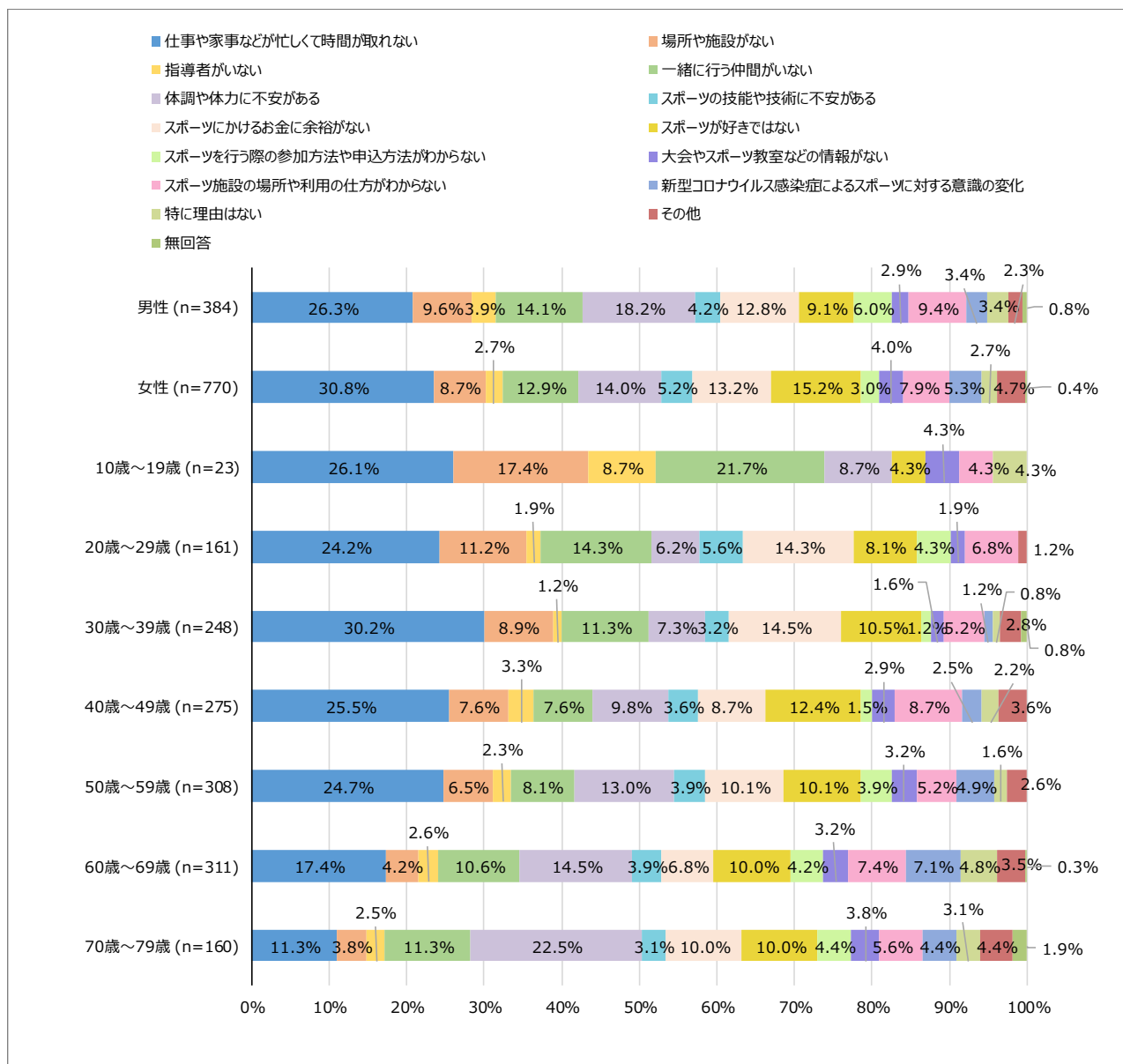
また 10 代では「場所や施設がない」「指導者がいない」「一緒に行く仲間がいない」の割合が他の年齢に比べて高く、新型コロナウイルス感染症の影響で施設の使用や部活動・スポーツ教室など団体での活動が制限されていたことの影響がうかがえる。

「スポーツにかかるお金に余裕がない」と回答した人の割合は 20～30 代で高く、40 代以上では比較的低くなっている。



【その他】

内容	回答数
持病や体調不良など（椎間板ヘルニア、足腰膝を悪くしている）	12
やる気が起きない、本気になれない	4
仕事柄体力を使うので	4
小さい子供がいる	3
個人的に指導してもらいたい	2
子供（2歳以下）と一緒に参加できるものがない	2
教室利用でもお金がかかる	2
土日のできるものが少ない。ヨガなど平日の昼間に集中している。	2
一部障害があるため参加しづらい	1
妊娠中からの産後のためできていない	1
出産、育児と仕事の両立が忙しくスポーツ再開のきっかけがない	1
託児所が完備された施設を増やしてほしい	1
無料の駐車場がない	1
汗をかきたくない	1
親の看護をしているため	1
8年来病気がかかっていたので、積極的に体を動かすことができなかった。※軽い散歩はしている	1
仕事の休みの日にやりたいがその日にできない	1
昔はやっていたが今はやっていない	1
上手な方がいると思うと気がすまない。同好会的な気分だと良い。	1
定員を超えていて参加できない	1
習慣がない	1
引っ越したてでよいランニングコースが見つからない	1



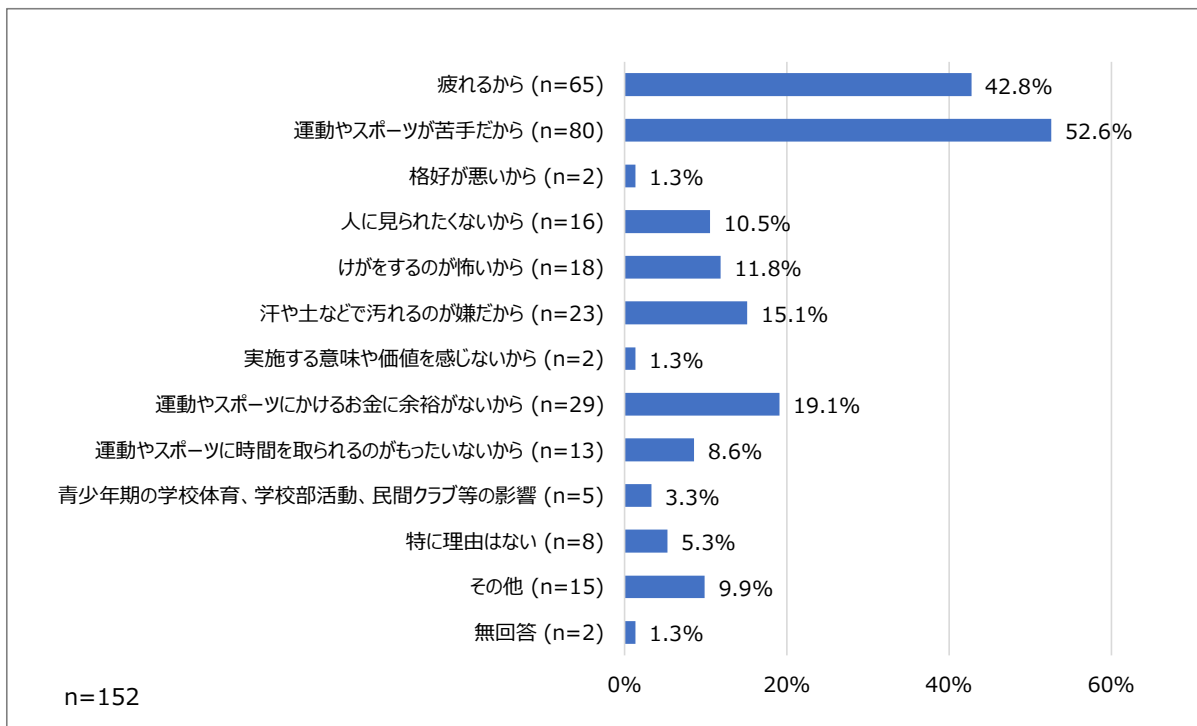
—問 11 で『8. スポーツが好きではない』と回答された方だけにお伺いします—

問 12 運動やスポーツが好きではない理由は何ですか (複数回答)

運動やスポーツが好きではない理由は、「運動やスポーツが苦手だから」が 52.6%、「疲れるから」が 42.8%で突出しており、「運動やスポーツにかかるお金に余裕がないから」が 19.1%となっている。

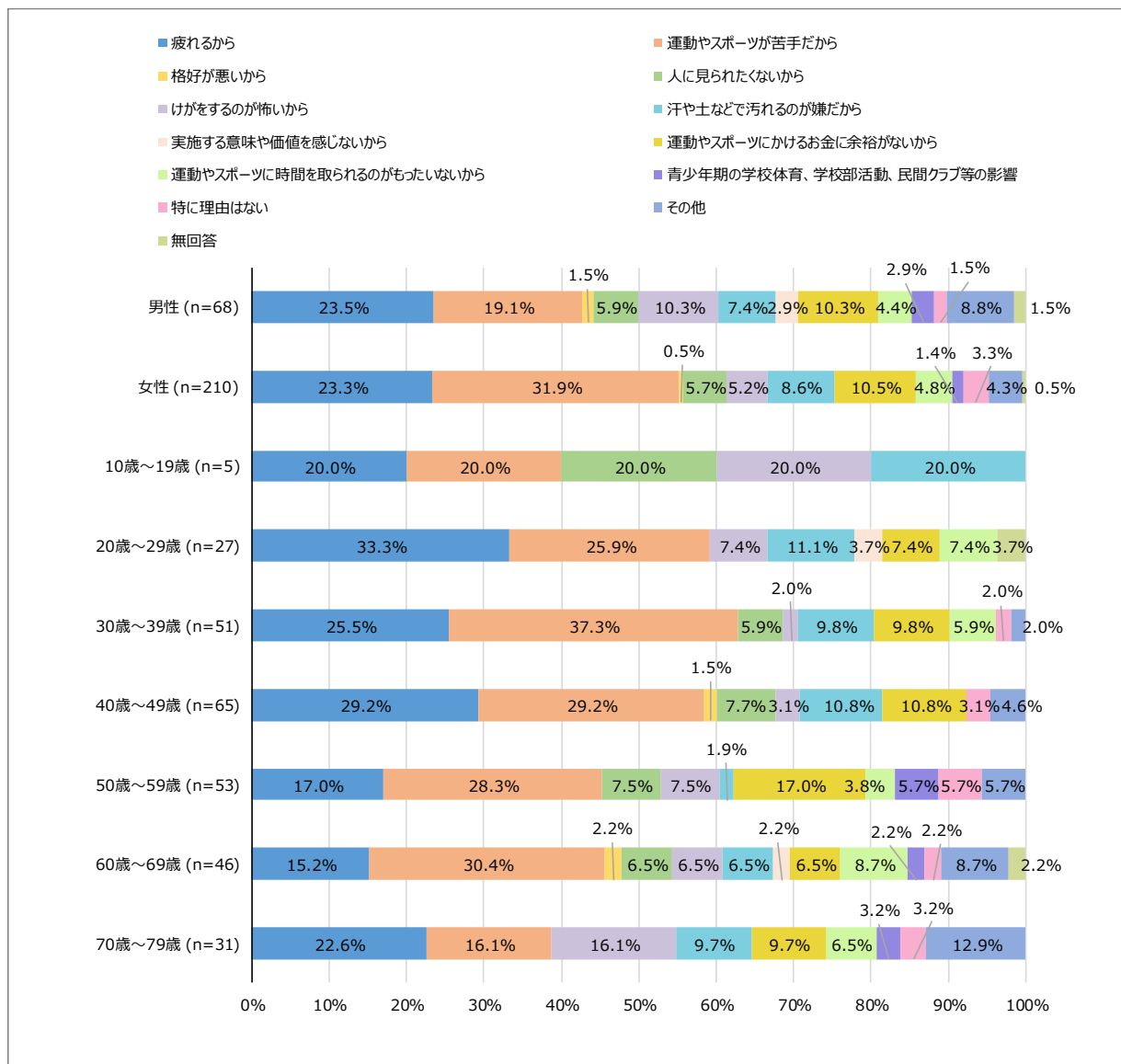
男女別では「運動やスポーツが苦手だから」と回答した人の割合が女性で高くなっている。

年代別では「疲れるから」の割合が 20代～40代と 70代で高くなっており、「運動やスポーツにかかるお金に余裕がないから」が 50代で、「けがをするのが怖いから」が 70代でそれぞれ高くなっている。



【その他】

内容	回答数
持病や体調不良	5
場所の確保、ウェアや道具の準備などが手間	2
着るものの準備が面倒だから	1
小学校時代に先生より運動はまるでダメとみんなの前で言われたから	1
のんびり過ごしたい、体力がない、時間がない	1
上手な方がいると思うと気がすまない。同好会的な気分だと良い。	1
人と協力するのが好きではない	1
日焼けが嫌だ	1
運動能力低下	1
暑いから	1
戦争に似ているから	1
面倒くさいから	1
田舎の畑仕事も運動だと思っているから	1
スポーツはしないが、音楽(ドラム演奏、ピアノ)をしているから	1
スポーツにいいイメージがないから	1

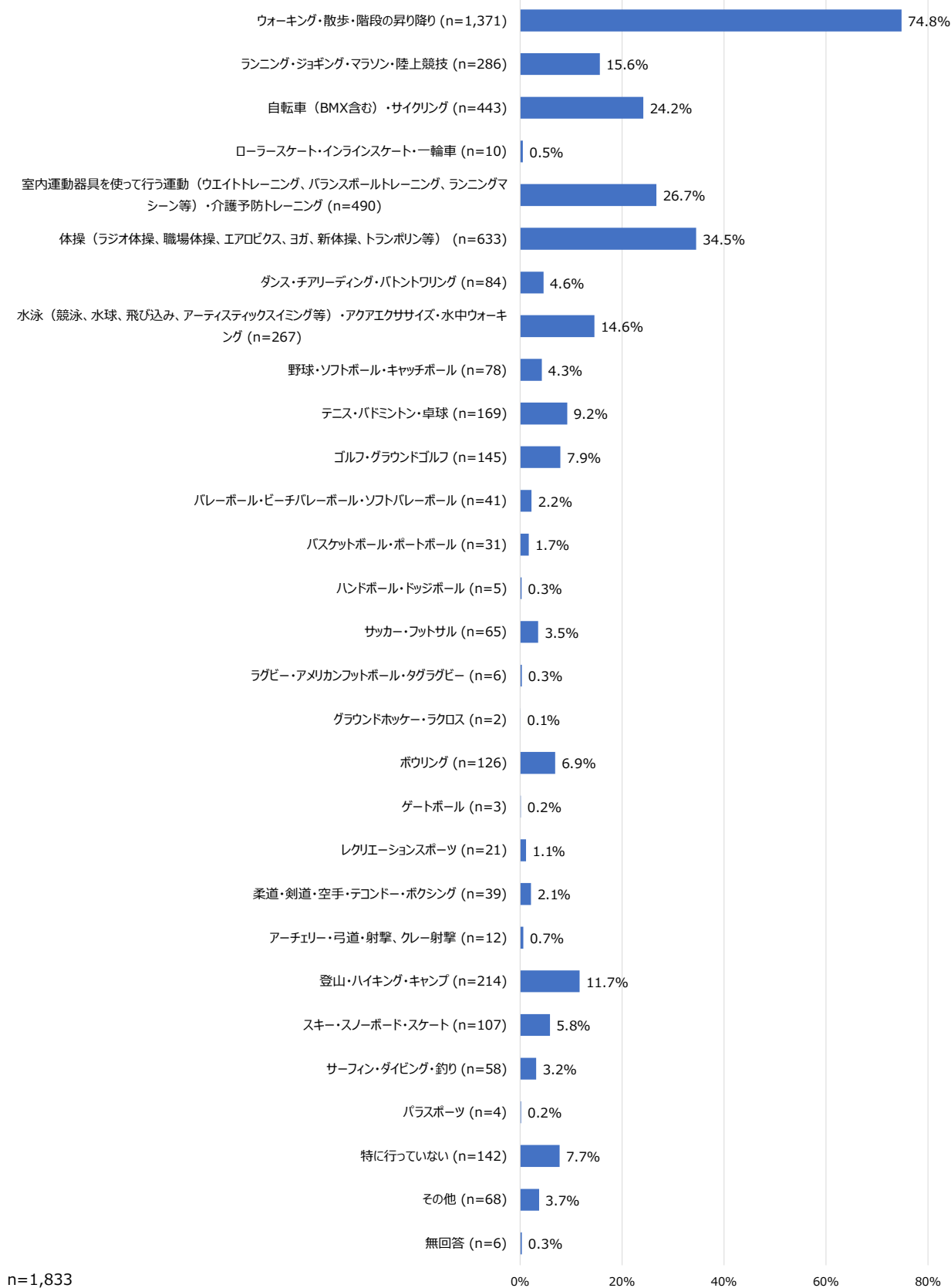


問 13 この1年間にあなたが行った運動やスポーツは何ですか。 (複数回答)

この1年間に行った運動やスポーツについては「ウォーキング・散歩・階段の昇り降り」が74.8%と最も多い。「体操（ラジオ体操、職場体操、エアロビクス、ヨガ、新体操、トランポリン等）」が34.5%、「室内運動器具を使って行う運動（ウエイトトレーニング、バランスボールトレーニング、ランニングマシン等）・介護予防トレーニング」が26.7%、「自転車（BMX含む）・サイクリング」が24.2%、「ランニング・ジョギング・マラソン・陸上競技」が15.6%、「水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等）・アクアエクササイズ・水中ウォーキング」が14.6%と、個人で行えるものの割合が高く、一方「野球やサッカー」など団体で行う球技は割合が低くなっている。

男女別では体操を行っている人の割合は女性の方が多く、「ランニングやジョギング」を行っている人の割合は男性の方が多くなっている。

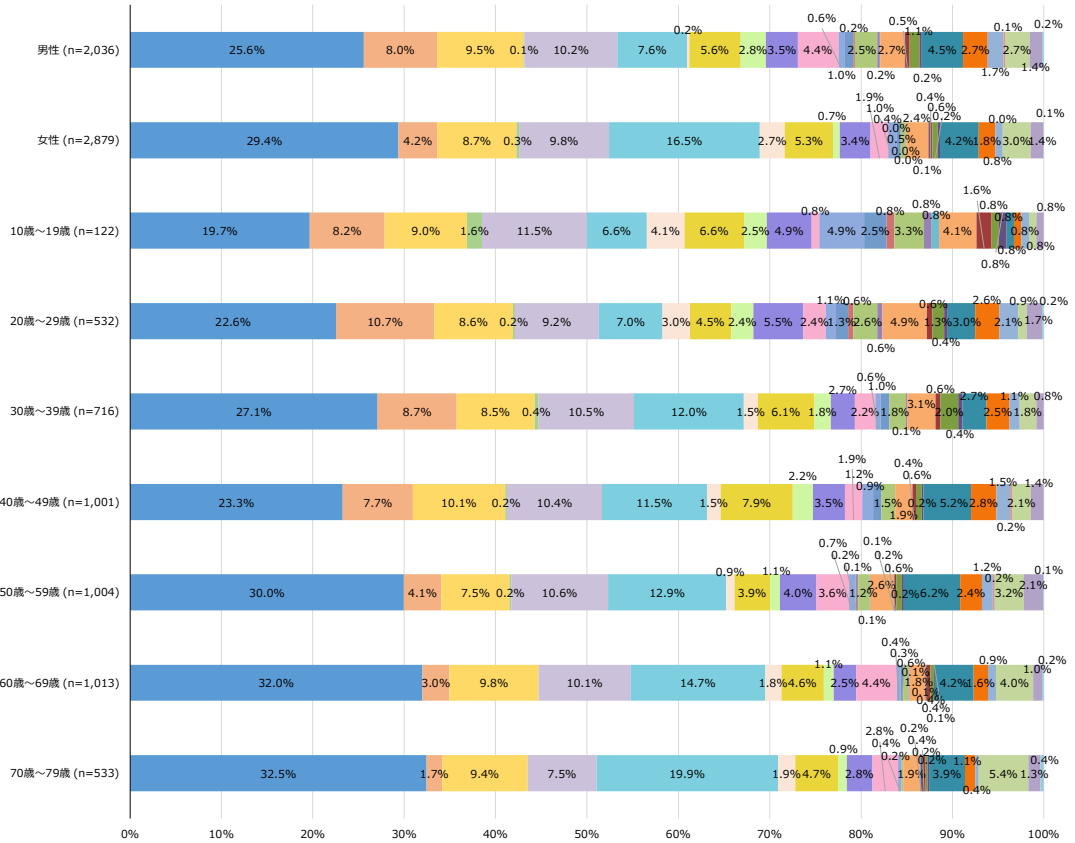
年代別では1位の「ウォーキング・散歩・階段の昇り降り」は年齢の高い世代ほどより割合が高くなっている。また30代以上では2位となっている「体操」は、20代以下では割合が低くなっており、こちらも年齢が高い世代ほど割合が高くなっている。一方「ランニングやジョギング」は年齢が低いほど割合が高い傾向がある。



【その他】

内容	回答数
ストレッチ	10
太極拳	7
TVゲームにてスポーツゲーム（ボウリング、ボクシング、トランボリンなど）	5
合気道	4
自重筋トレ	3
吹き矢	3
モルック	3
シュノーケリング	3
筋トレ	2
スクワット	2
キックボクシング	2
ビリヤード	2
ボルダリング	2
クリケット	2
乗馬	2
オートバイでのツーリング	2
自主トレーニング	1
Youtube視聴によるトレーニング	1
ピラティス	1
武術	1
なぎなた	1
ブラジリアン柔術	1
クロッケーゴルフ	1
ポッチャ	1
犬と一緒に走る	1
鉄棒	1
スケートボード	1
オフロードバイク・モトクロス・エンデューロ	1
パラグライダー	1
カヤック	1
カヌー	1
ヨット	1
サップ	1
神輿	1
子供と一緒に遊ぶ	1
子供を背負って合計1km以上	1
アルバイト（品出しなのでそこそこ体力を使う）	1
お灸	1

- ウォーキング・散歩・階段の昇り降り
- ランニング・ジョギング・マラソン・陸上競技
- 自転車 (BMX含む) ・サイクリング
- ローラースケート・インラインスケート・輪車
- 室内運動器具を使って行う運動 (ウエイトトレーニング、バランスボールトレーニング、ランニングマシン等) ・介護予防トレーニング
- 体操 (ラジオ体操、職場体操、エアロビクス、ヨガ、新体操、トランポリン等)
- ダンス・チアリーダー・バトニング
- 水泳 (競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等) ・アクアエクササイズ・水中ウォーキング
- 野球・ソフトボール・キャッチボール
- テニス・バドミントン・卓球
- ゴルフ・グラウンドゴルフ
- バレーボール・ビーチバレーボール・ソフトバレーボール
- バスケットボール・ポトボール
- ハンドボール・ドッジボール
- サッカー・フットサル
- ラグビー・アメフト・フットボール・ラグビー
- グラウンドホッケー・ラクロス
- ボウリング
- ゲートボール
- レクリエーションスポーツ
- 柔道・剣道・空手・テコンドー・ボクシング
- アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃
- 登山・ハイキング・キャンプ
- スキー・スノーボード・スケート
- サーフィン・ダイビング・釣り
- パラスポーツ
- 特に行っていない
- その他
- 無回答

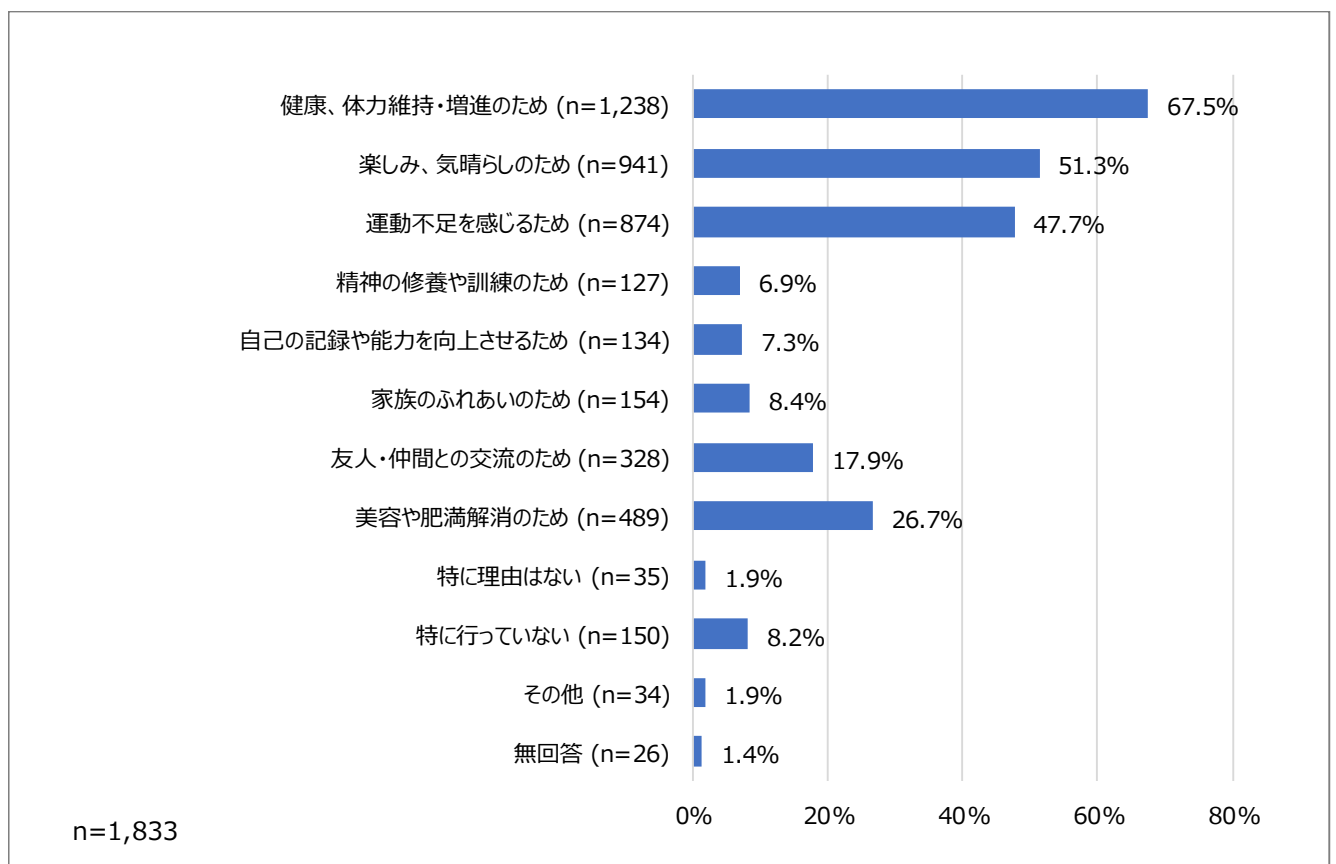


問 14 運動やスポーツを行っている理由は何ですか (複数回答)

運動やスポーツを行っている理由については、「健康、体力維持・増進のため」が 67.5%、「楽しみ、気晴らしのため」が 51.3%、「運動不足を感じるため」が 47.7%と多く、「美容や肥満解消のため」が 26.7%、「友人・仲間との交流のため」が 17.9%となっている。

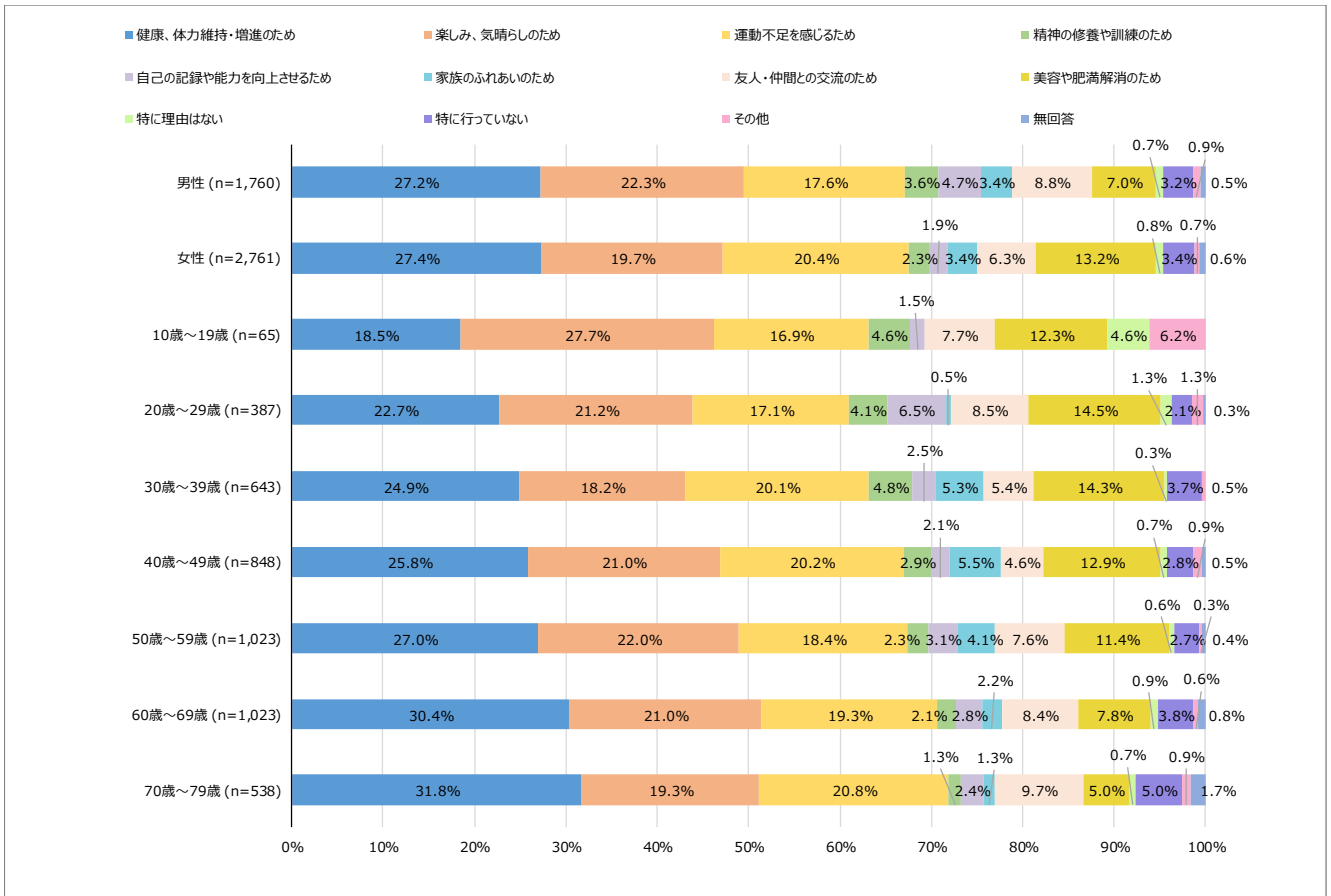
男女別で回答割合に差がある項目としては、「自己の記録や能力を向上させるため」では男性が多くなっており、「美容や肥満解消のため」では女性が多くなっている。

年代別では「健康、体力維持・増進のため」は年齢が高いほど多くなる傾向があり、「美容や肥満解消のため」は年齢が高いほど少なくなる傾向がある。「自己の記録や能力を向上させるため」では 20代が他の世代より割合が多くなっている。「友人・仲間との交流のため」は 30代と 40代で他の世代より少なくなっている。



【その他】

内容	回答数
仕事の都合で	7
通勤や買い物など日常生活の中での移動	3
体育の授業	2
犬の散歩	2
山など自然が好き	2
指導者のため	1
部活	1
子供の付き添いで歩き回っている	1
護身のため	1
朝の体調を知るため	1
無汗症の病状改善	1
けがの防止のため	1
子供たちとの触れ合い、意見交換	1
旅行先で歩く	1
散歩で見知らぬ土地へ行くのが好きなため	1
散歩や登山は好き	1
好きだから	1
野球が好きだから	1
地域貢献	1
SNS	1
目が不自由でできない	1
猛暑のため家にいる時間が長くなったため急に体調がおかしくなりやる気をなくしてしまった。気を遣うのが嫌なので一人でウォーキング楽しんでた。	1
西武の売り上げを上げるため	1
施設が少ない	1



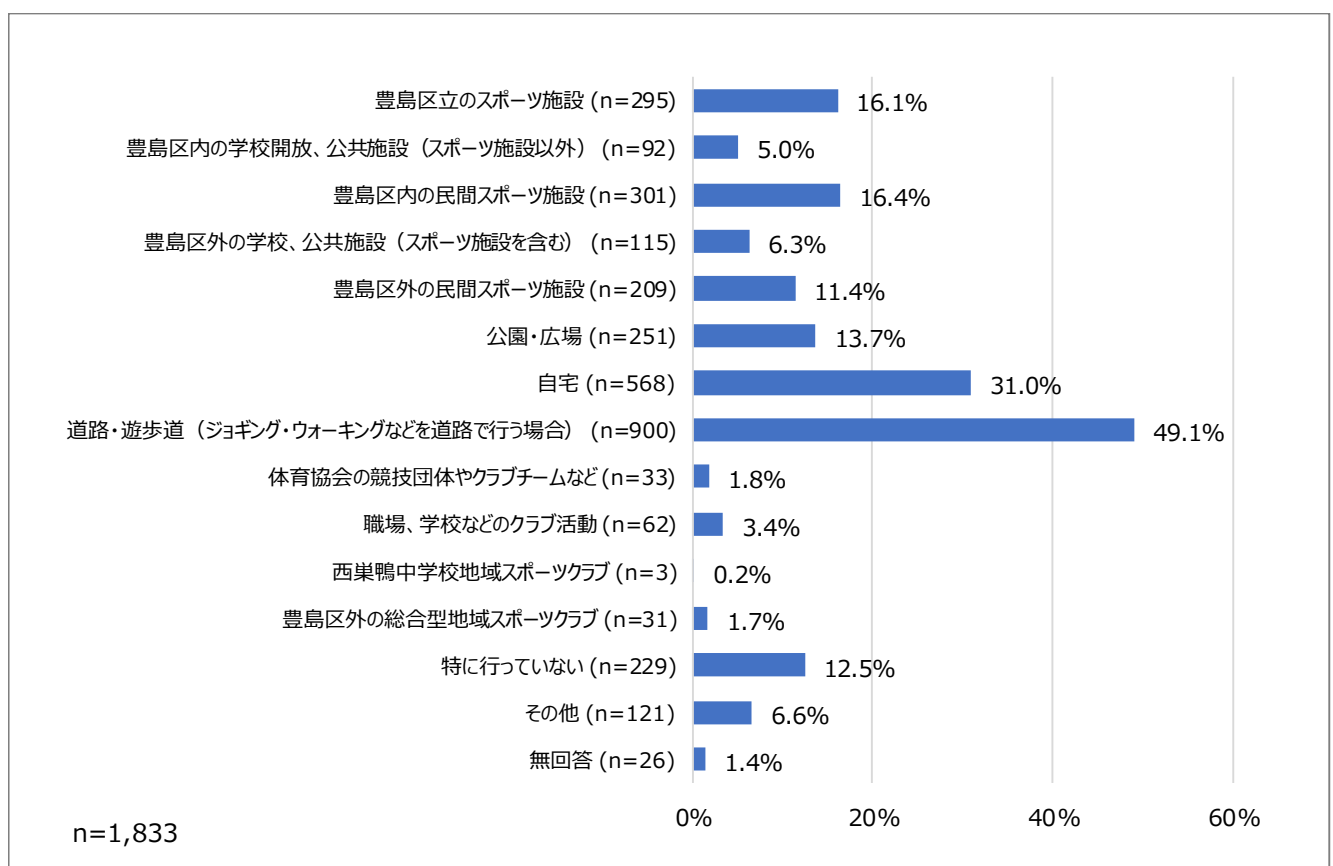
問 15 どのようなところで運動やスポーツを行っていますか。 (複数回答)

運動やスポーツを行っている場所については、「道路・遊歩道（ジョギング・ウォーキングなどを道路で行う場合）」が 49.1%、「自宅」が 31.0%と多く、「公園・広場」が 13.7%など身近で気軽に利用しやすい場所の割合が高くなっている。

また「豊島区内の民間スポーツ施設」は 16.4%、「豊島区立のスポーツ施設」は 16.1%となっており、豊島区内のスポーツ施設においては区立・民間の間に大きな差はない。

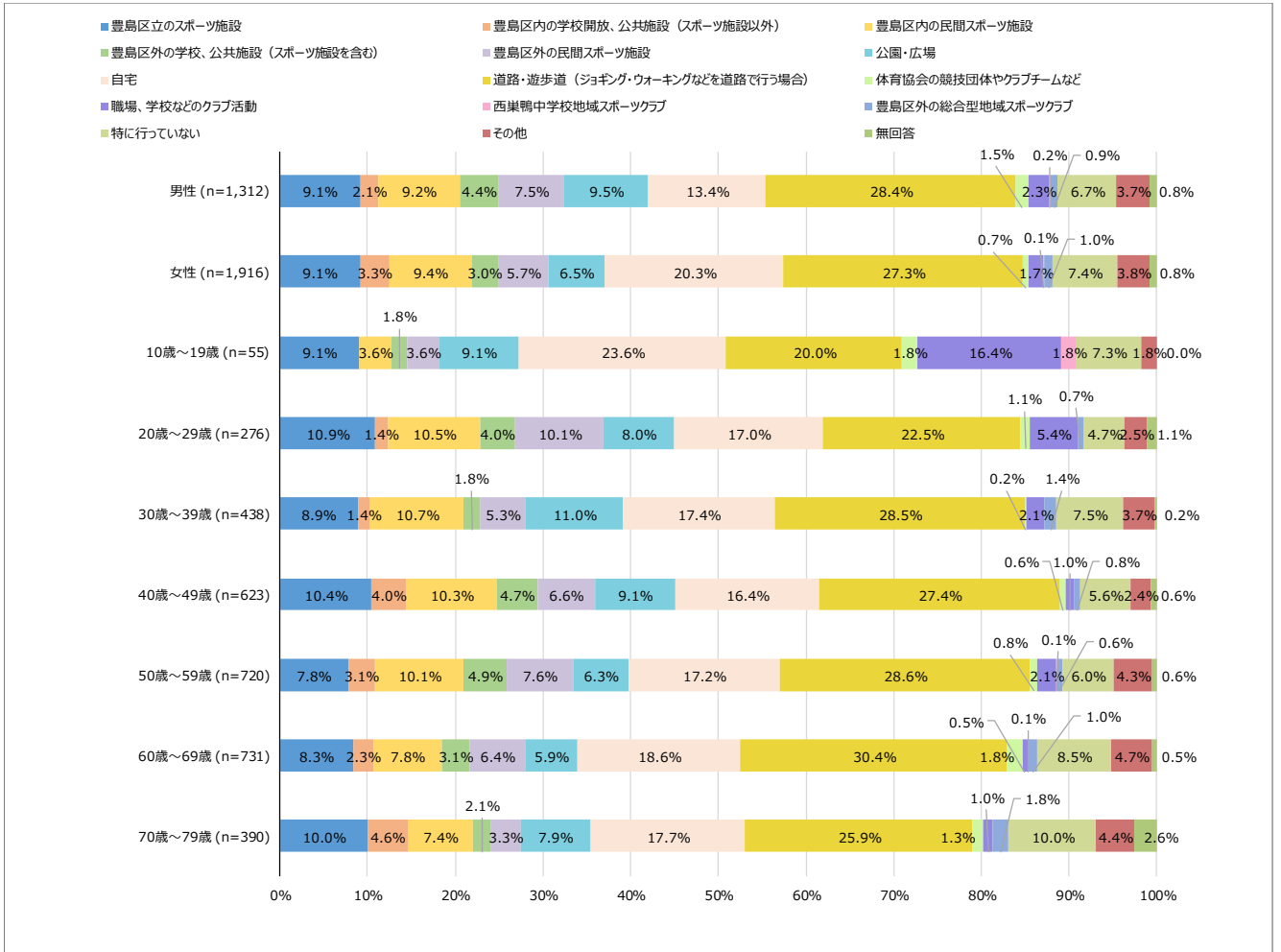
男女別には「豊島区外の学校、公共施設」、「豊島区外の民間スポーツ施設」の割合が男性で高く、「自宅」の割合が女性で高くなっている。

年代別では「公園・広場」を利用している人の割合が 30 代で多くなっている。一方「民間スポーツ施設」を利用している人の割合では 60 代以上の世代で他の世代より低い傾向がある。



【その他】

分類	内容	回答数
日常の身近な場所	職場	5
	通勤中	3
	駅やデパート、ショッピングセンターの階段	3
	近所のラジオ体操	1
	病院のリハビリ	1
スポーツ施設	ゴルフ場	16
	ジム（立地・公共民間不明）	5
	レンタルスタジオ	4
	ゴルフ練習場	4
	ダンス教室	3
	民間のジム（区内・区外不明）	3
	ピラティススタジオ	2
	自身のスタジオ	1
	ヨガ教室	1
	オンラインでの教室	1
	チョコザップ	1
	フィットネスクラブ	1
	公共のジム（区内・区外不明）	1
	他区のジム（公共・民間不明）	1
	ビリヤード設備のあるお店	1
	ボウリング場	1
	町会、会館	1
障害者スポーツセンター	1	
民間テニスコート	1	
アウトドア施設	山	15
	スキー場	13
	海、海岸	8
	荒川のサイクリングロード	3
	ハイキングや山の会	1
	郊外、都外（ハイキング）	1
	ヨットクラブ	1
	川	1
	オフロードコース	1
具体的な施設	新宿区にあるバレエスタジオ	1
	北区中央公園運動場や板橋区内の野球場など	1
	北区のサッカー場	1
	新宿区民センター	1
	豊島区内の高齢者施設、豊島区外の児童施設	1
その他	旅先で	1
	他県	1
	水泳は沖縄	1
意見やコメント	以前はジムに通っていたが続かなかった	1
	以前は家近の中学の屋内プールに安い値段で通えていたが閉鎖されてしまった。同等な施設を望む。	1
	アルバイト以外で自分から運動することはあまりない	1
	お金がかからないもの。子供がいなくなるときにはジムに行っていた。	1
	区立施設の使い方がよくわかりません	1

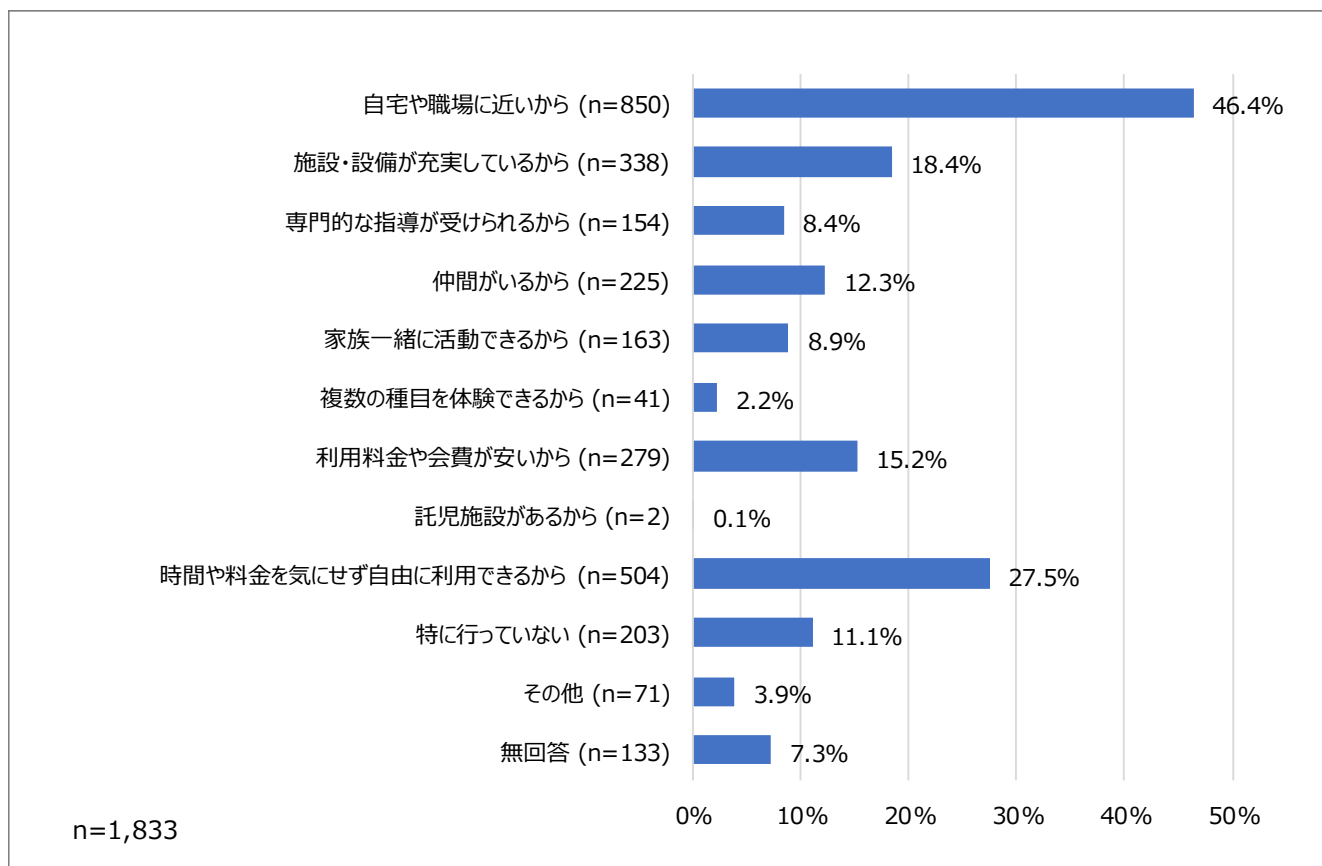


問 16 問 15 で回答された場所で運動やスポーツを行っている理由をおきかせください。

(複数回答)

問 15 の場所で運動やスポーツを行っている理由については「自宅や職場に近いから」が 46.4%、「時間や料金を気にせず自由に利用できるから」が 27.5%、「施設・設備が充実しているから」が 18.4%、「利用料金や会費が安いから」が 15.2%となっている。

年代別では「自宅や職場に近いから」が 30 代で最も高くなっており、この世代がスポーツや運動に使える時間の余裕がないことが現れている。「専門的な指導が受けられるから」は年齢が高いほど割合が多くなっている。「仲間がいるから」が 30 代 40 代で低くなっており、次の問 17 の結果にも出ているが一人や家族でスポーツをしている人が多いことがわかる。



【その他】

問15の回答	内容	件数	
1.豊島区立のスポーツ施設	プールがあるから	1	
	情報が少ない中たまたま区報で見つけたから	1	
	子供がスイミングスクールに通っているから	1	
	スポーツセンターで募集している3か月ごとのアクアサーキットや水中歩行)	1	
2.豊島区内の学校開放、公共施設（スポーツ施設以外）	PTAの取り組みの一環として参加している。	1	
3.豊島区内の民間スポーツ施設	施設が清潔できれいだから	2	
	サウナがあるから	1	
	お金を払えば行くかと思った	1	
	空があり予約を取りやすい	1	
	社交ダンスが出来る練習スタジオが都内に2か所しかない	1	
4.豊島区外の学校、公共施設（スポーツ施設を含む）	区内に施設が少ない、全くないから	2	
	会社や仕事の都合	2	
	友人や子供と良く機会があったため	1	
	区の施設の予約が取れないから	1	
	空があり予約を取りやすい	1	
5.豊島区外の民間スポーツ施設	区内に施設が少ない、全くないから	1	
	女性のみ利用施設だから。豊島区の施設（プール）を見学した際、ガタイの良い男性が“わがもの顔”で利用しており、諸々不愉快だったので。	1	
	気に入ったレッスンがある	1	
	区の施設の予約が取れないから	1	
	空があり予約を取りやすい	1	
6.公園・広場	通勤や買い物など日常生活のついでに利用できるから	1	
	他に気軽にできる場所がないから。	1	
	地域のコミュニティ維持に貢献するため	1	
	好きな植物があるから	1	
	他に気軽にできる場所がないから。	1	
7.自宅	通勤や買い物など日常生活のついでに利用できるから	2	
	自宅に空間があるから	1	
	テレビや動画を見ながら運動している	1	
	天候に左右されない。すぐ風呂にはいれるから	1	
	気楽だから	1	
	ボールを使える場所が近所にほとんどないから	1	
	ストレッチ等なので自宅で出来るから	1	
	通勤や買い物など日常生活のついでに利用できるから	9	
8.道路・遊歩道（ジョギング・ウォーキングなどを道路で行う場合）	自転車を利用するため	3	
	なんとなく、ストレス解消	1	
	犬の散歩のため	1	
	好きな植物があるから	1	
10.職場、学校などのクラブ活動	会社や仕事の都合	2	
	授業	2	
	PTAの取り組みの一環として参加している。	1	
	部活	1	
12.豊島区外の総合型地域スポーツクラブ	団体利用ができるから	1	
14.その他	海、山	その場所に行かないとできない	2
		そこに海、山があるから	2
		景色がよく空気がきれい	1
	ゴルフ場	施設の会員、メンバーだから	2
		その場所に行かないとできない	1
	スキー場	その場所に行かないとできない	2
	サイクリングロード	安全に自転車に乗れるから	1
	職場	会社や仕事の都合	1
	ダンス教室	通勤や買い物など日常生活のついでに利用できるから	1
	豊島区内の高齢者施設、豊島区外の児童施設	指導者が良い	1
会社や仕事の都合		1	

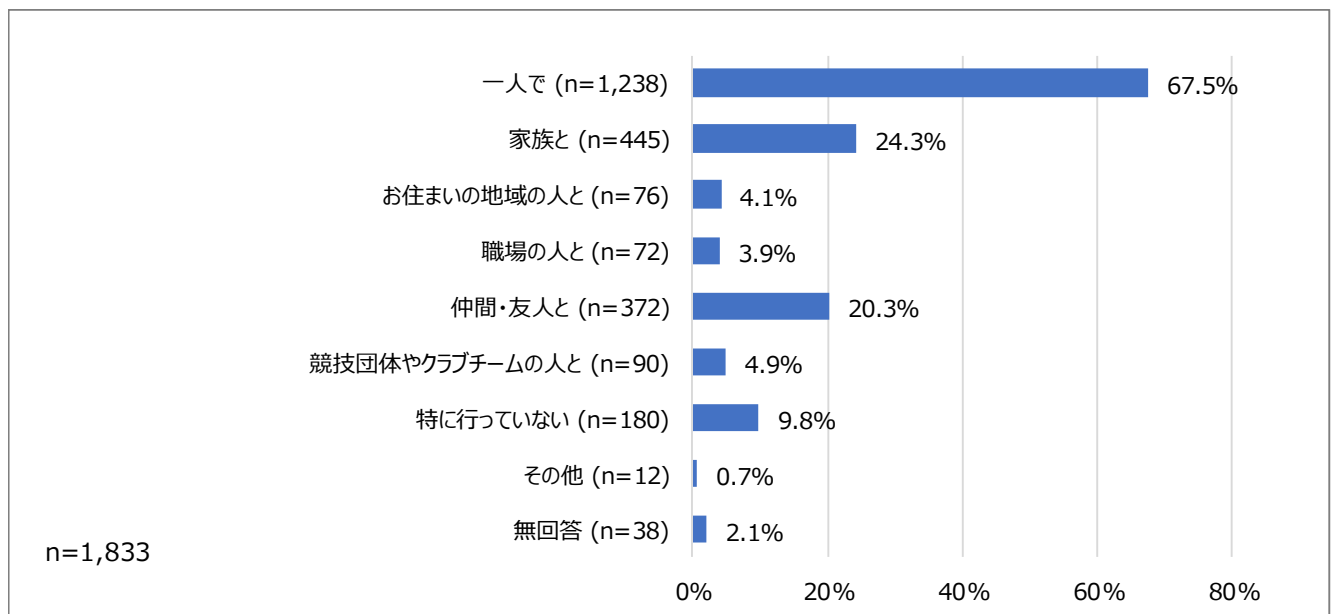


問 17 主にどなたと運動やスポーツを行っていますか。 (複数回答)

誰と運動やスポーツを行っているかについては、「一人で」が 67.5%と最も多く、「家族と」が 24.3%、「仲間・友人と」が 20.3%となっている。

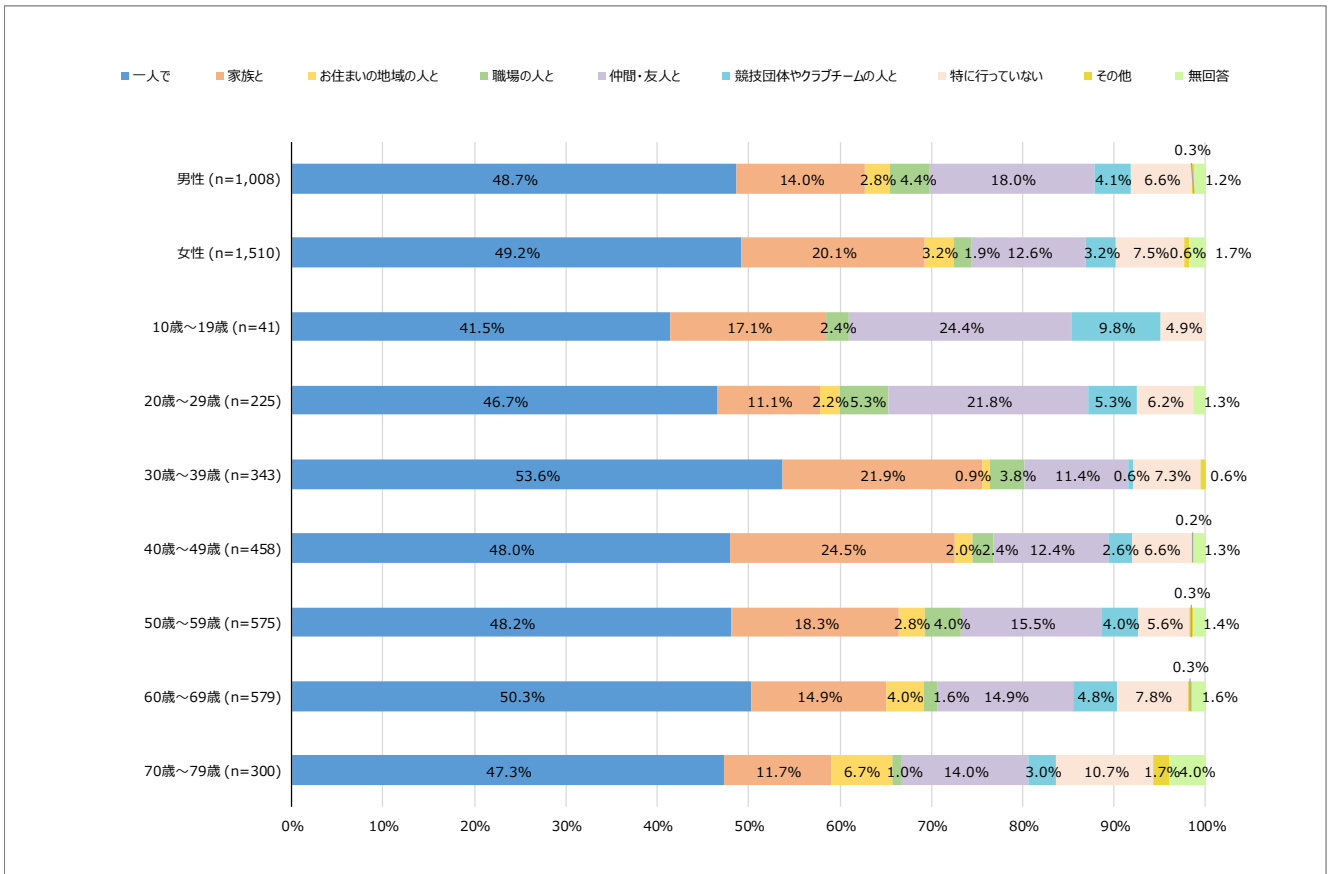
男女別では「家族と」の割合は男性より女性の方が多く、「仲間・友人と」の割合は女性より男性の方が多くなっている。

年代別では「家族と」の割合は 30代と 40代で比較的多くなっている。また「一人で」の割合は 30代が最も多くなっている。「仲間・友人と」は 10代と 20代で多くなっており、問 11 で運動やスポーツをしていない理由として「一緒に行く仲間がいない」が 10代 20代で多かったことと対照的になっている。



【その他】

内容	回答数
犬	3
トレーナー	3
ゴルフ練習場	1
教室に来ている人たち	1
パートのおばさん社員さん、学生バイト	1
ヘルパー	1
仕事として施設の利用者と	1

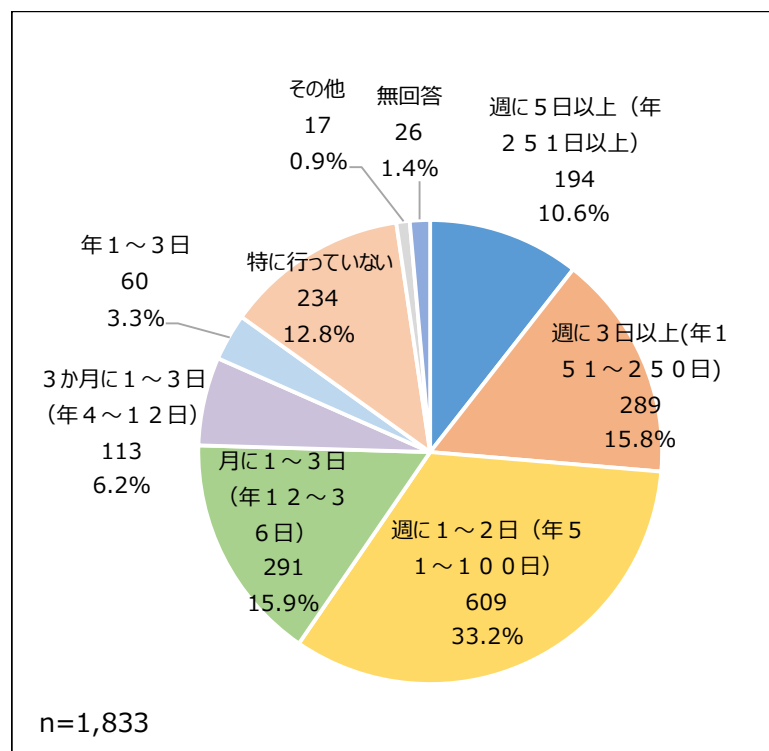


問 18 運動やスポーツはどれくらいの頻度で行っていますか。 (単一回答)

運動やスポーツを行う頻度については、「週に1～2日(年51～100日)」が33.2%と最も多く、「月に1～3日(年12～36日)」が15.9%、「週に3日以上(年151～250日)」が15.8%、「週に5日以上(年251日以上)」が10.6%となっている。

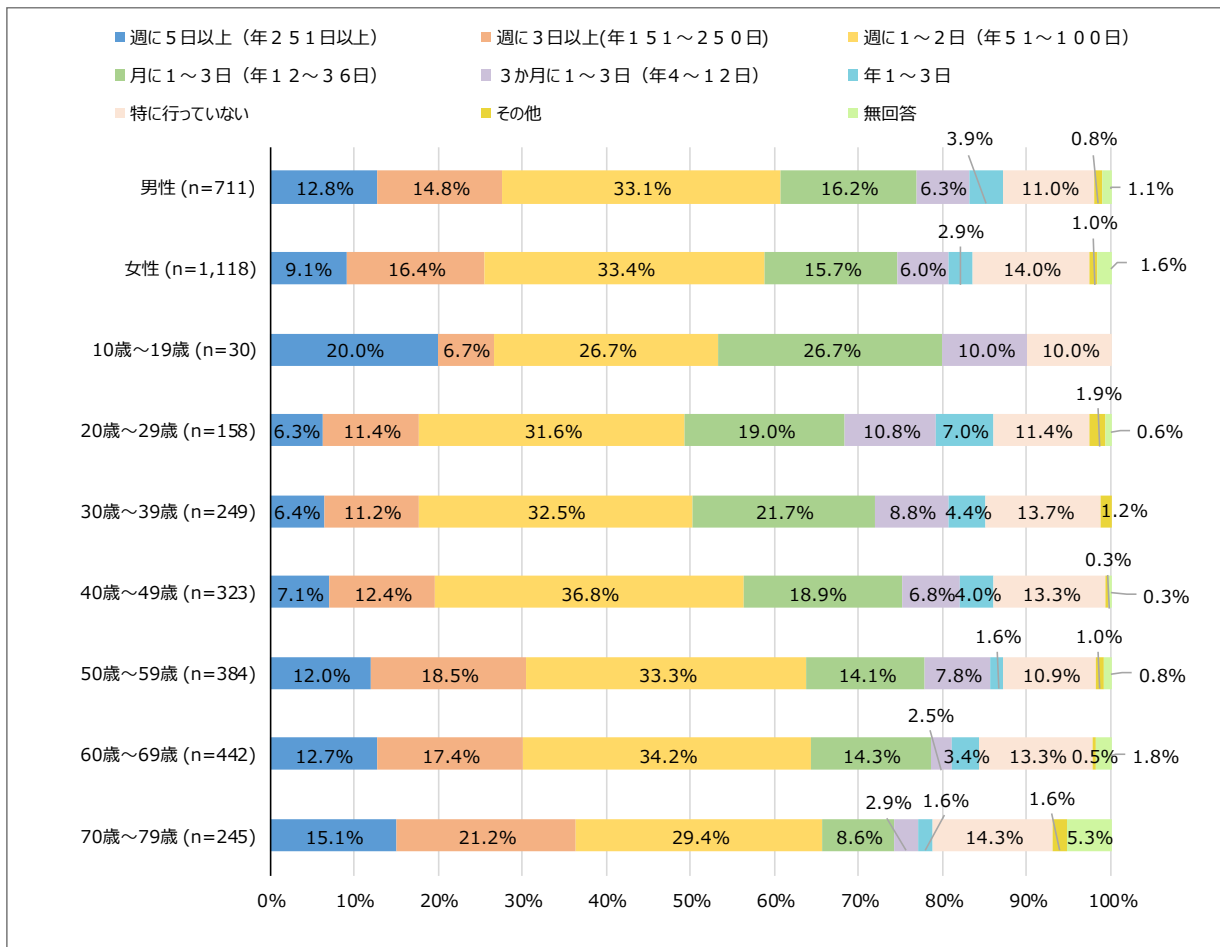
「週に5日以上」および「週に3日以上」運動やスポーツをする人の割合が20代～40代で低くなっている。

「月に1～3日」「3か月に1～3日」「年1～3日」「特に行っていない」を合算すると、20代までの年代の低いほど高い傾向があり、20代までの年代が低い層が運動やスポーツの行う頻度が低くなる傾向がある。



【その他】

内容	回答数
不定期	3
週に2～3日	1
ラジオ体操の実はほぼ毎日、ほかのスポーツは週に1～2日	1
夏以外は週5、夏は暑いからしない	1
気が向いたときに行う	1
ウォーキングを不定期	1
いけるタイミングで	1
これから始めたい	1
春までは週3日以上今はいかない	1
3か月に1～3日、現在は妊娠中のため行っていない	1
2～5月の間だけ2週に1回、今は特に行っていない	1
健康上の問題が出て行っていない	1
現在は行っていない	1

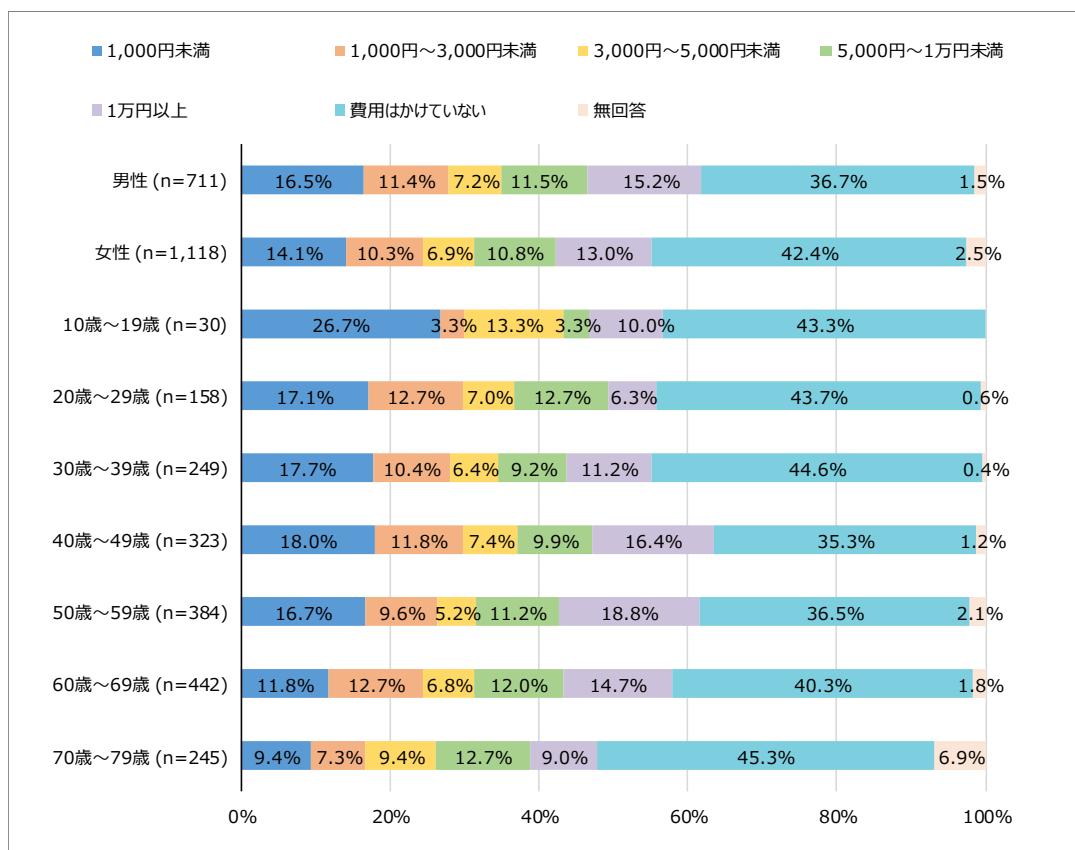
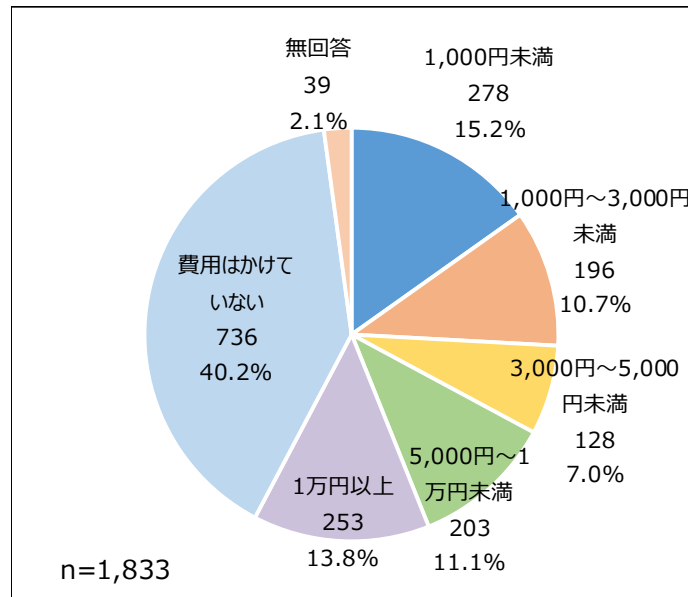


問 19 1か月あたり、ご自身が実施する運動やスポーツ（観戦は除く）にどのくらいの費用をかけていますか。（複数回答）

運動やスポーツにかかる費用については、「費用はかけていない」が40.2%と最も多く、次いで「1,000円未満」が15.2%、「1万円以上」が13.8%、「5,000円～1万円未満」が11.1%、「1,000円～3,000円未満」が10.7%、「3,000円～5,000円未満」が7.0%となっている。

男女別では男性の方が運動やスポーツに費用をかけている割合が高い。

年代別では30代以下の若い世代と70代で費用をかけていない人が多い。「1万円以上」の費用をかけている人は40～60代で多くなっている。



問 20 どのようなスポーツ大会やイベントに参加したいと思いますか。（複数回答）

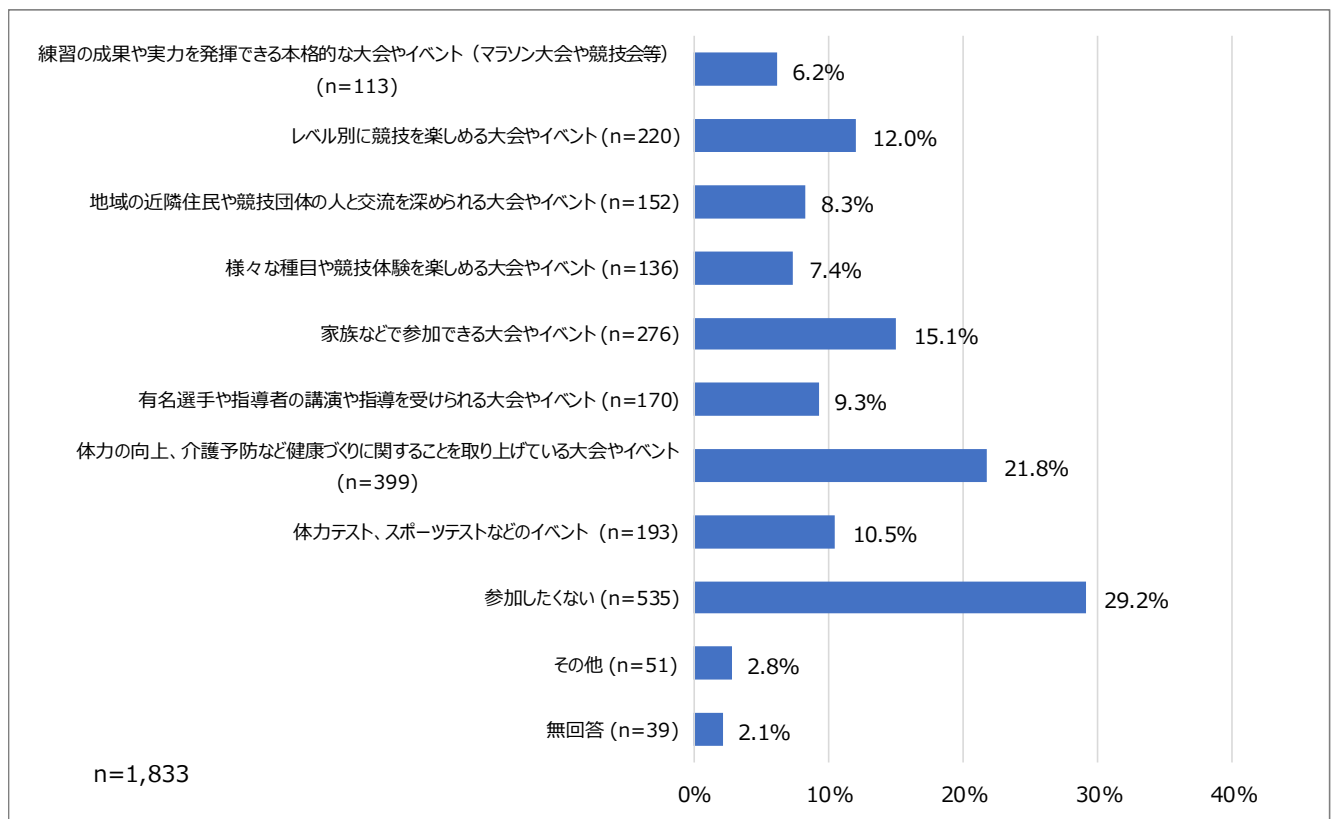
（単一回答の設問であったが、複数の選択肢を選択している回答者が多かったため複数回答として集計）

参加したいスポーツ大会やイベントについては、「体力の向上、介護予防など健康づくりに関することを取り上げている大会やイベント」が 21.8%、「家族などで参加できる大会やイベント」が 15.1%と続いており、他の項目も 10%前後となっている。

一方で「参加したくない」は 29.2%と、スポーツ大会やイベントに消極的な人の割合は問 8 の自分では競技や運動をしたくない人の割合と近い数字となっている。

男女別では、男性に比べ女性は競技性の高い大会やイベントより、家族との交流や体力の向上・健康づくりを重視している傾向がある。

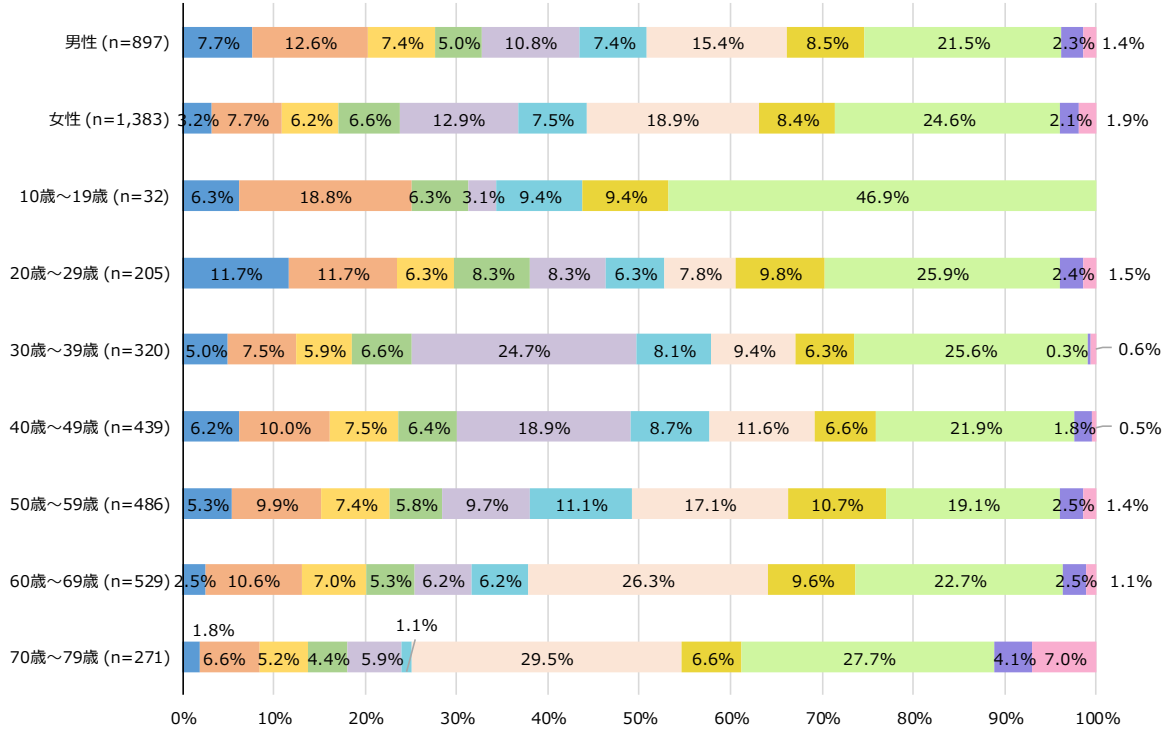
年齢別では、30～40 代で「家族などで参加できる大会やイベント」の割合が高くなっている。また、年齢が高いほど「体力の向上、介護予防など健康づくりに関することを取り上げている大会やイベント」の割合が高くなっている。



【その他】

内容	回答数
特になし	5
時間的、体調的に参加できない	3
個人で参加できる	2
個人的にできるものが良い	2
高齢者でも参加しやすく楽しめるイベント	2
今参加しているもので充実しているので不要	2
よくわからない	2
基本を正しく指導を受けられるイベント	1
無料体験できるもの	1
無料でオンラインで受けられるもの	1
公園でラジオ体操のように大した準備なく気軽に参加できるもの	1
一人でも団体でも申し込めるイベント。一人用イベントに団体で参加するのは気引ける。	1
もっとファミリーで楽しめるイベントがあればぜひまた参加したい。情報も保育園の手紙or駅から家までにある掲示板をもとに活動しているのもっと発信してほしい。	1
正しい知識が学べて自分の技量を確認できるイベント	1
同年代が多いと参加しやすい	1
障害者が一緒に参加できるイベント	1
予約不要なイベント	1
スポーツ選手や芸人など有名人が指導、参加する	1
子供を預けられるものか、子供と参加できるもの	1
近隣の方や職場付近の人間関係を感じさせない場所でのイベント	1
サークルに参加して近場の山に行ってみたい	1
なるべく人と密着しないスポーツ	1
圧迫骨折リハビリ目的につき、フリーコースでの水中ウォーキングを行えるところ(主に一人で)	1
20km,50kmなど長距離のウォーキングイベント	1
外ヨガ、公園ヨガのイベント	1
グラウンドゴルフ	1
長寿の呼吸法	1
仕事しながら体力づくりをしたい	1
自分のモチベーションと合えば参加したい。	1
スポーツはテレビ観戦で満足	1
大会等に参加するために運動しているわけではない	1
現在あまり意欲がない	1
参加が不安	1

- 練習の成果や実力を発揮できる本格的な大会やイベント（マラソン大会や競技会等）
- レベル別に競技を楽しめる大会やイベント
- 地域の近隣住民や競技団体の人と交流を深められる大会やイベント
- 様々な種目や競技体験を楽しめる大会やイベント
- 家族などで参加できる大会やイベント
- 有名選手や指導者の講演や指導を受けられる大会やイベント
- 体力の向上、介護予防など健康づくりに関することを取り上げている大会やイベント
- 体カテスト、スポーツテストなどのイベント
- 参加したくない
- その他
- 無回答

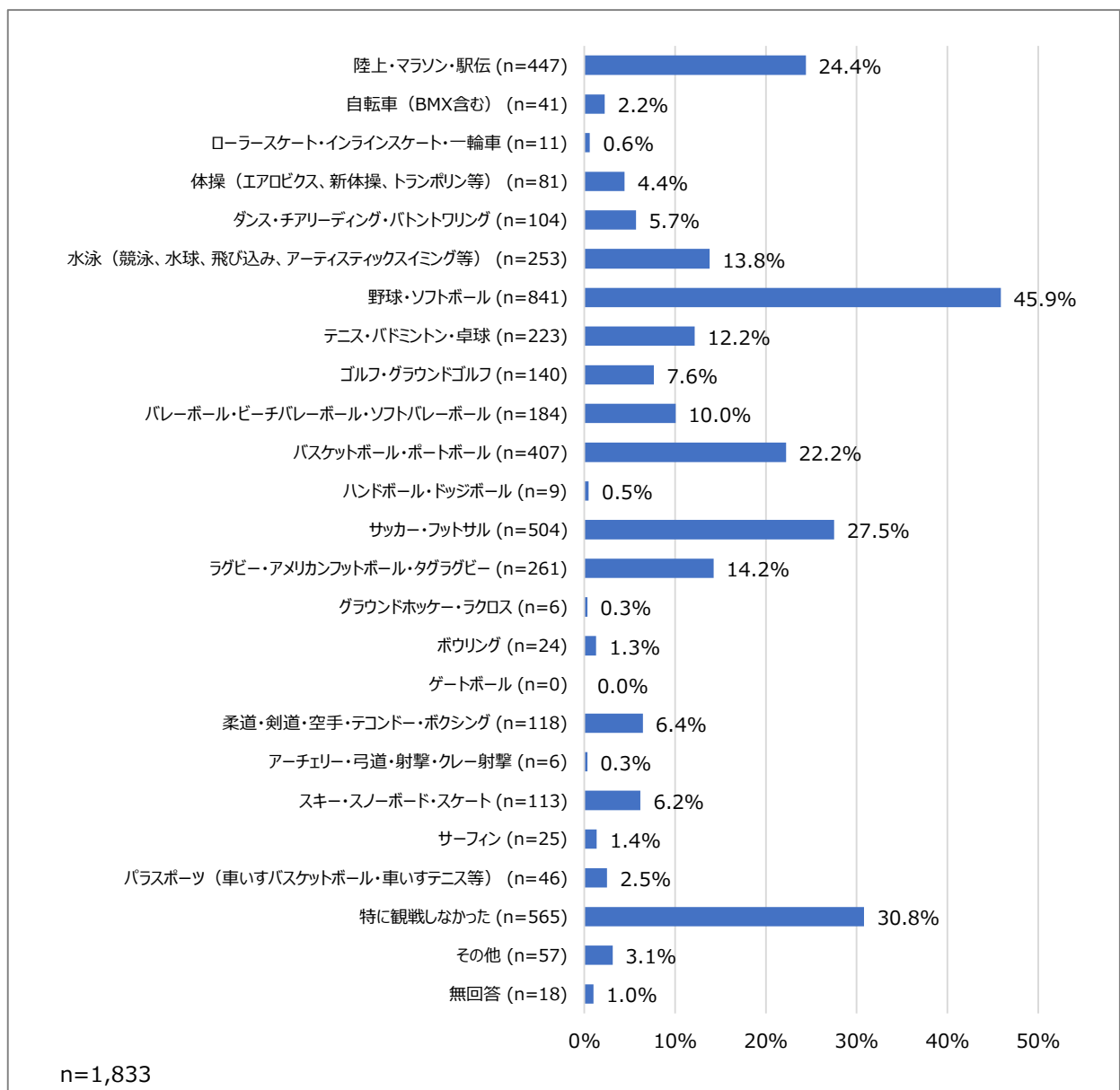


問 21 この1年間にどのようなスポーツを観戦しましたか。 (複数回答)

この1年間に観戦したスポーツについては、「野球・ソフトボール」が45.9%、「サッカー・フットサル」が27.5%、「陸上・マラソン・駅伝」が24.4%、「バスケットボール・ポートボール」が22.2%となっている。また「特に観戦しなかった」は30.8%だった。

男女それぞれの各競技の回答割合を比較すると、回答上位のスポーツでは男女間での差はあまり見られないものの、自転車、ゴルフ、ラグビー、ボウリング、柔道や剣道の項目では男性の割合が女性より高く、体操、ダンス、バレーボール、グラウンドホッケーの項目では女性の割合が高くなっている。また「特に観戦しなかった」を選んだ人は男性の9.4%に対して女性15.1%と女性で多くなっている。

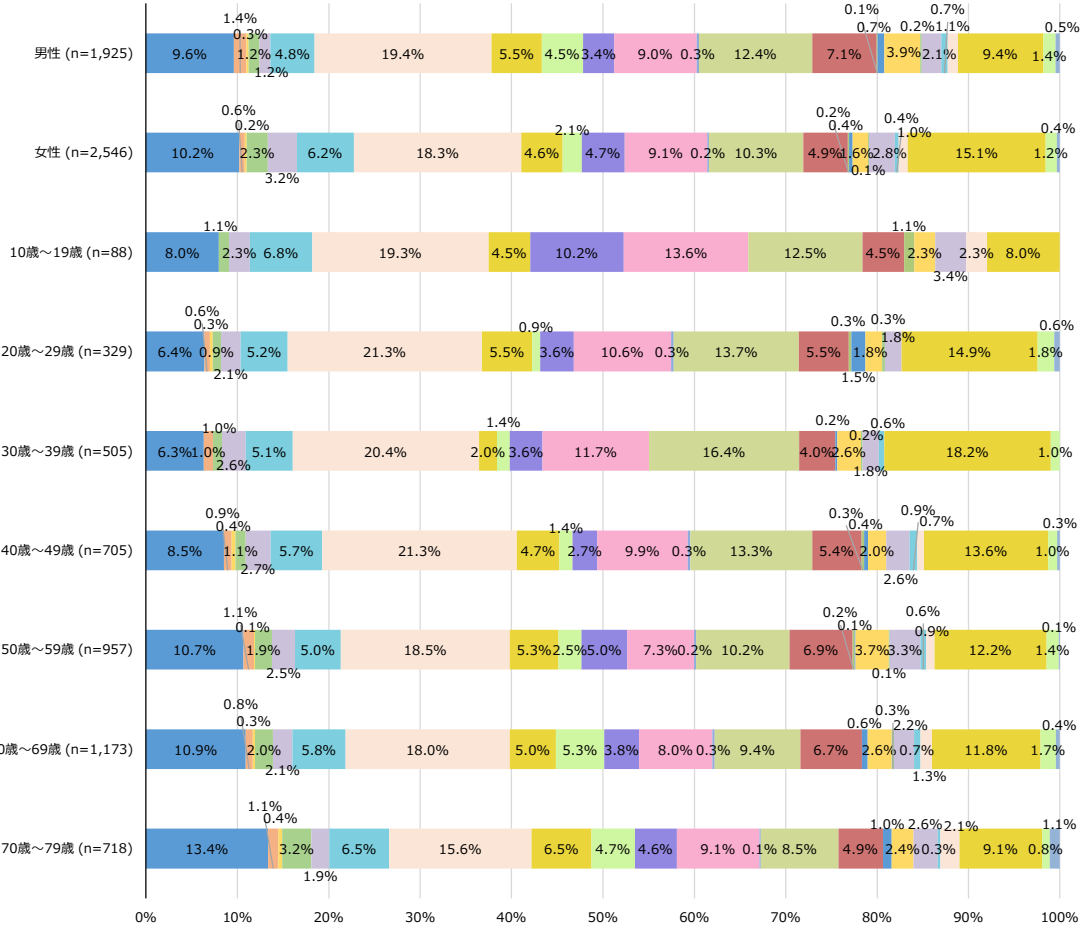
年代別では全世代で1位は「野球・ソフトボール」であるものの、2番目に多いスポーツは10代は「バスケットボール・ポートボール」、20～40代は「サッカー・フットサル」、50代以上は「陸上、マラソン、駅伝」と世代間で差が見受けられる。また「特に観戦しなかった」の割合が10代と70代では10%未満なのに対し、30代では18%と高くなっている。



【その他】

内容	回答数
相撲	12
プロレス	4
ボルダリング・クライミング	4
モータースポーツ	4
テレビ観戦	4
総合格闘技	3
スケートボード	3
太極拳	2
ブラジリアン柔術	1
合気道	1
ボディビル	1
クリケット	1
オフロードバイク・モトクロス	1
フラダンス	1
カーリング	1
ウインドサーフィン	1
ヨット	1
ビリヤード	1
耐久レース	1
子供たちの運動会	1
スポーツ吹き矢	1
自分でする呼吸法	1
TVの登山番組	1
五輪、W杯	1

- 陸上・マラソン・駅伝
- 体操（エアロビクス、新体操、トランポリン等）
- 野球・ソフトボール
- バレーボール・ビーチバレーボール・ソフトバレーボール
- サッカー・フットサル
- ボウリング
- アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃
- パラスポーツ（車いすバスケットボール・車いすテニス等）
- 無回答
- 自転車（BMX含む）
- ダンス・チアリーディング・バトントウリング
- テニス・バドミントン・卓球
- バスケットボール・ポートボール
- ラグビー・アメリカンフットボール・ラグビー
- ゲートボール
- スキー・スノーボード・スケート
- 特に観戦しなかった
- ローラースケート・インラインスケート・一輪車
- 水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等）
- ゴルフ・グラウンドゴルフ
- ハンドボール・ドッジボール
- グラウンドホッケー・ラクロス
- 柔道・剣道・空手・テコンドー・ボクシング
- サーフイン
- その他

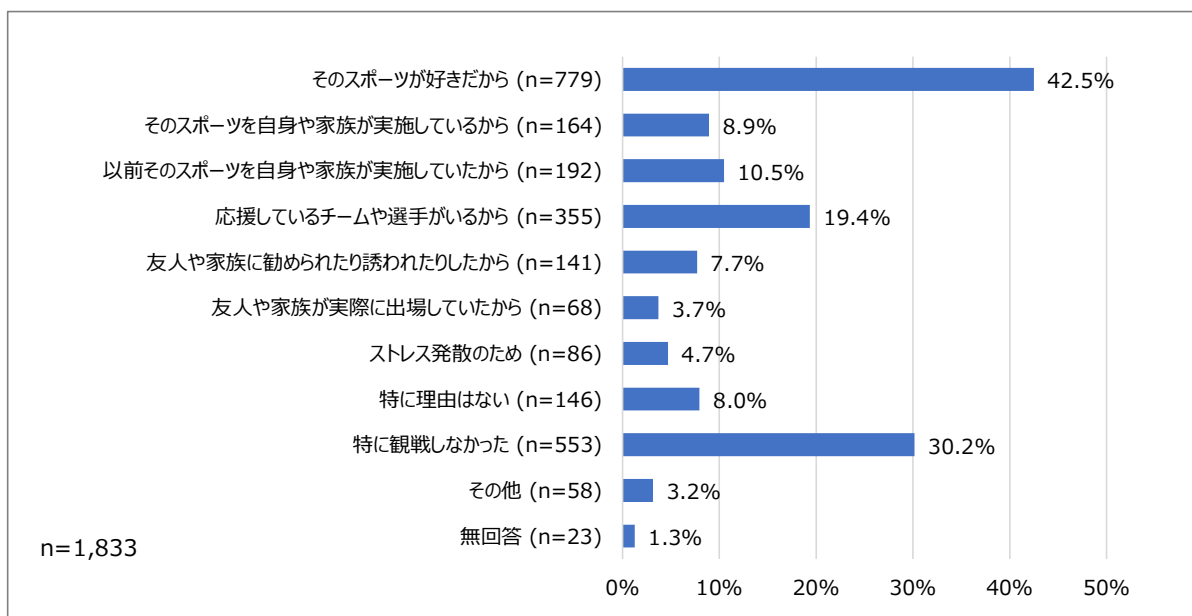


問 22 スポーツを観戦したのはどのような理由からですか。 (複数回答)

スポーツを観戦した理由については、「そのスポーツが好きだから」が 42.5%、「応援しているチームや選手がいるから」が 19.4%となっている。「以前そのスポーツを自身や家族が実施していたから」が 10.5%、「そのスポーツを自身や家族が実施しているから」が 8.9%となっており、「特に理由はない」が 8.0%となっている。

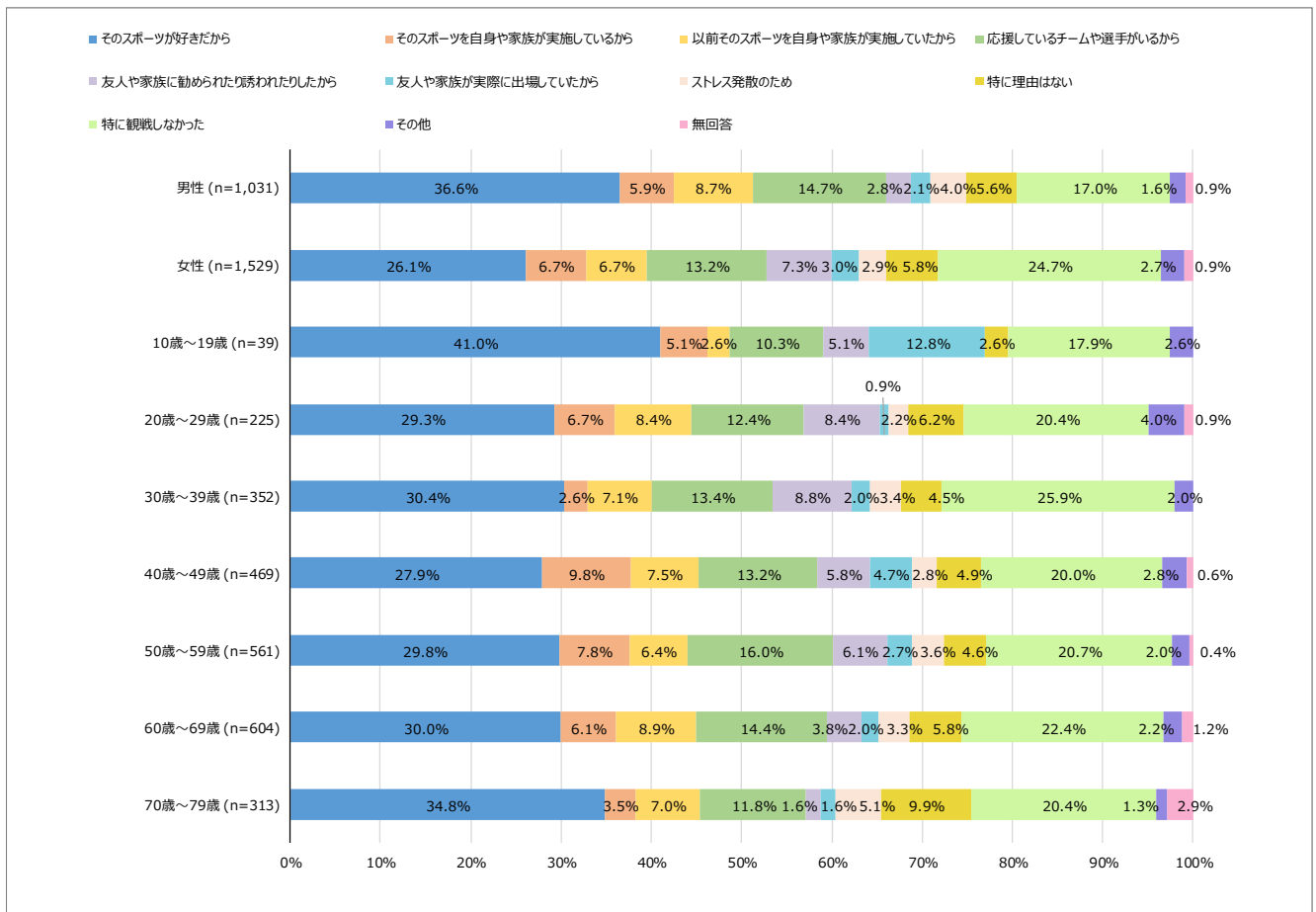
男女別で比較すると「そのスポーツが好きだから」では男性と女性で 10%以上の開きがある。一方で「友人や家族に勧められたり誘われたりしたから」の割合は女性の方が高く、全体として男性の方がより能動的にスポーツ観戦を行っている傾向が見受けられる。

年代別では 10 代と 70 代で「そのスポーツが好きだから」の割合が高く、20 代と 30 代では「友人や家族に勧められたり誘われたりしたから」が他の世代より割合が高くなっている。また 10 代では「友人や家族が実際に出場していたから」が他の世代より多いが、これは部活動の大会などで出場機会が他の世代より多いためと考えられる。



【その他】

内容	回答数
テレビでやっていたから	11
仕事	6
世の中が盛り上がっているから・話題になっているから	5
チケット・優待券をもらったため	5
選手が頑張る姿を見ると楽しい・感動できる	3
オリンピック、パラリンピック、ワールドカップが開催されていたから	2
国際大会で選りすぐりの選手が出場しているため	2
SNSの動画に出てきたものを観戦	1
TV観戦でき、プロのプレーが見れるから	1
TVで芸人の番組で紹介していたから	1
大きい大会だったから	1
日本が強い、または期待でき、応援したくなる	1
好きとまではいかないが興味があるから（日本代表として出場している）	1
貴重な機会、有名選手を見るため	1
自分ができなくても応援出来たり、体作り、アスリート意識など勉強になるから	1
都のイベントだった	1
会社がチームを持っている	1
部活動（大学）	1
母校が出場していたため	1
安くチケットを入手したから	1
家族が好きだから	1
勉強のおとも	1
休憩時間なので	1
レジャーの一環	1
スポーツ観戦が好き	1
楽しいから	1
骨折したため試合に参加できなかったため、代わりに観戦した。（1か月ほど）	1
コロナ	1
観戦の定義が分からない。テレビも含むのか？	1

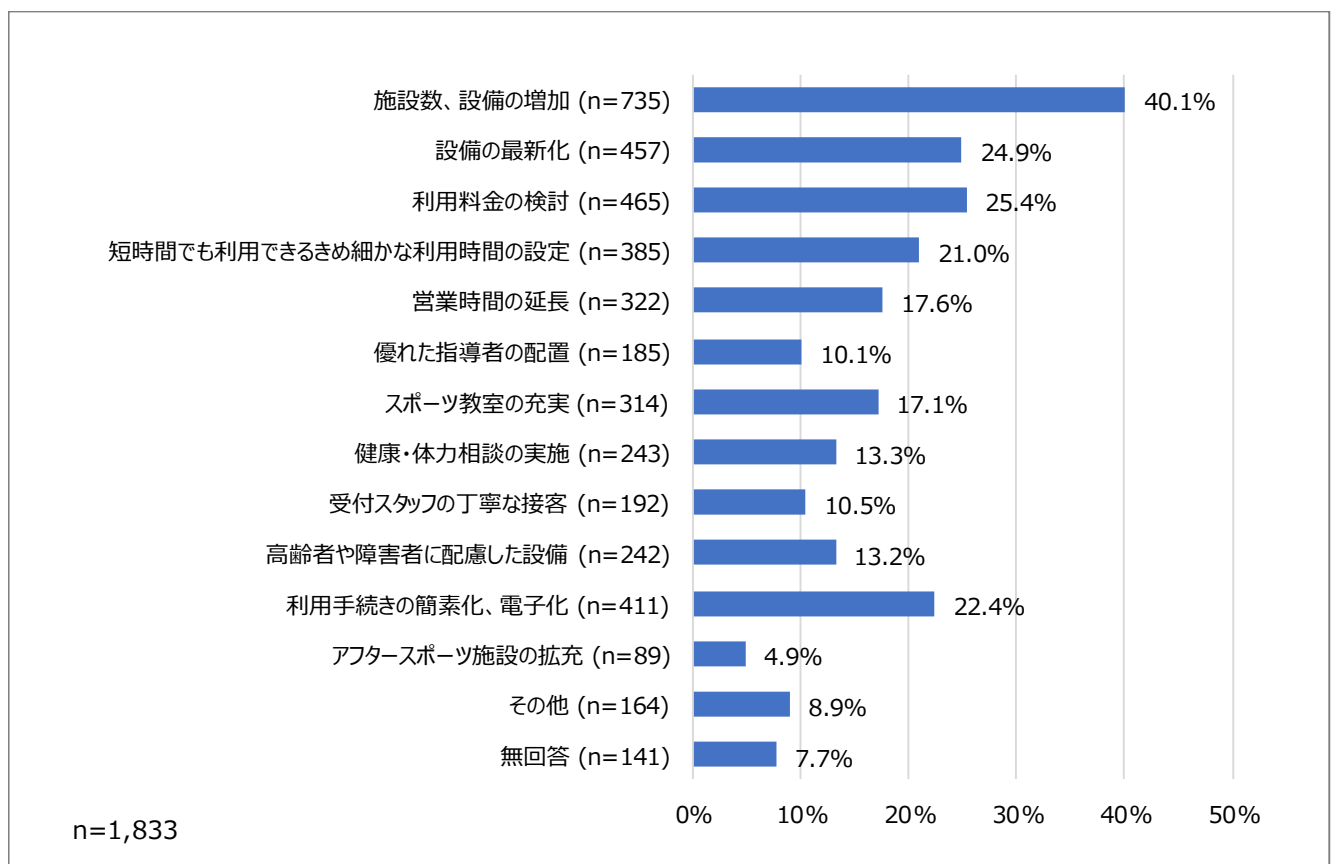


問 23 区立スポーツ施設の利用に際し、どのようなことを望みますか。（複数回答）

区立スポーツ施設の利用に際しどのようなことを望むかについては、「施設数、設備の増加」が40.1%、「利用料金の検討」が25.4%、「設備の最新化」が24.9%、「利用手続きの簡素化、電子化」が22.4%、「短時間でも利用できるきめ細かな利用時間の設定」が21.0%となっている。

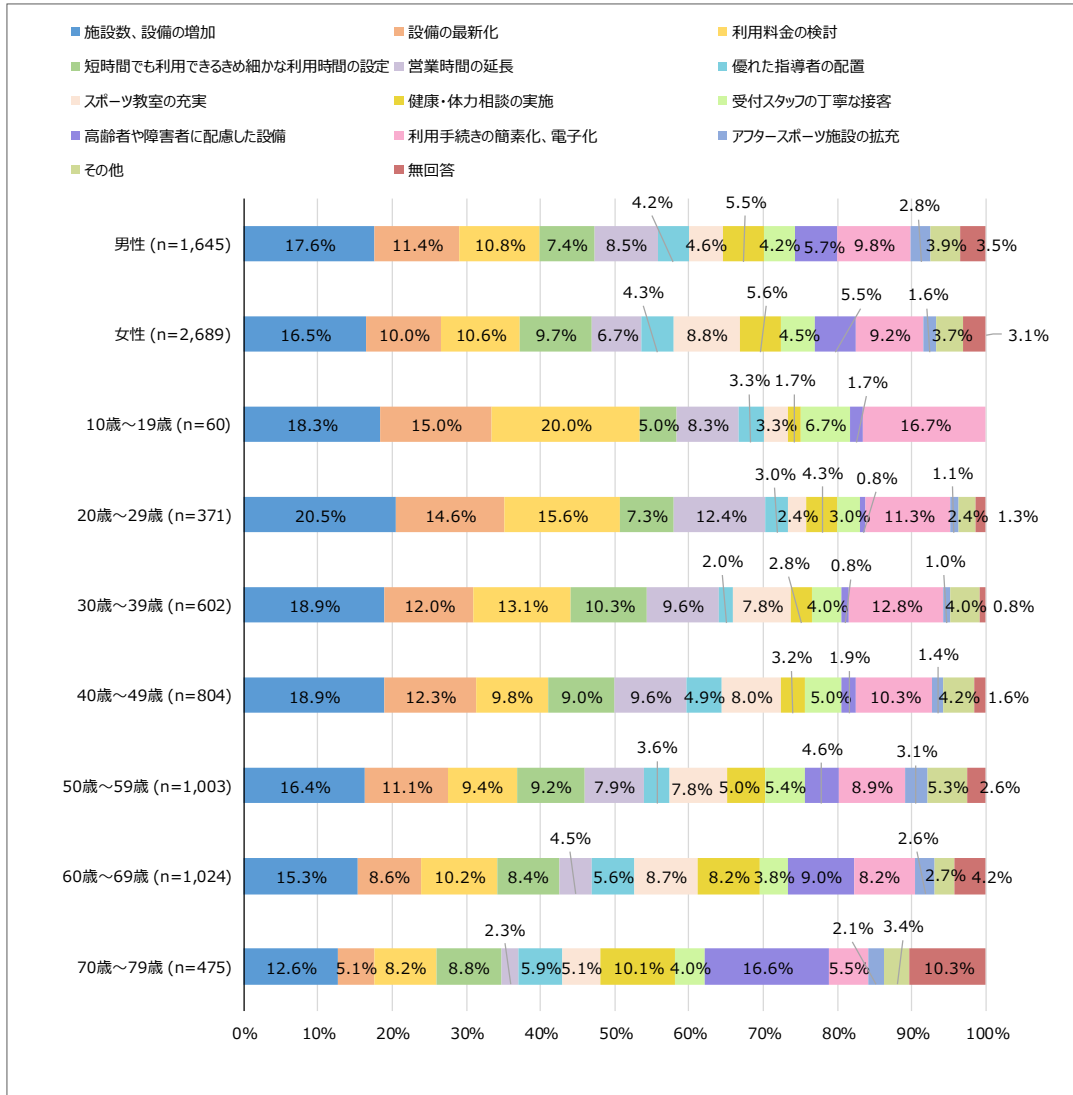
男女別、年代別に集計したところ、男性は10代から50代で「短時間でも利用できるきめ細かな利用時間の設定」が「営業時間の延長」より少なく、女性では30代以上で「短時間でも利用できるきめ細かな利用時間の設定」の方が多いと逆の傾向となっている。男性や20代では仕事の前後に利用したいという人が多く、30代以上の女性では育児や家事の合間に短時間利用したいという人が多い傾向があるのではないかと考えられる。

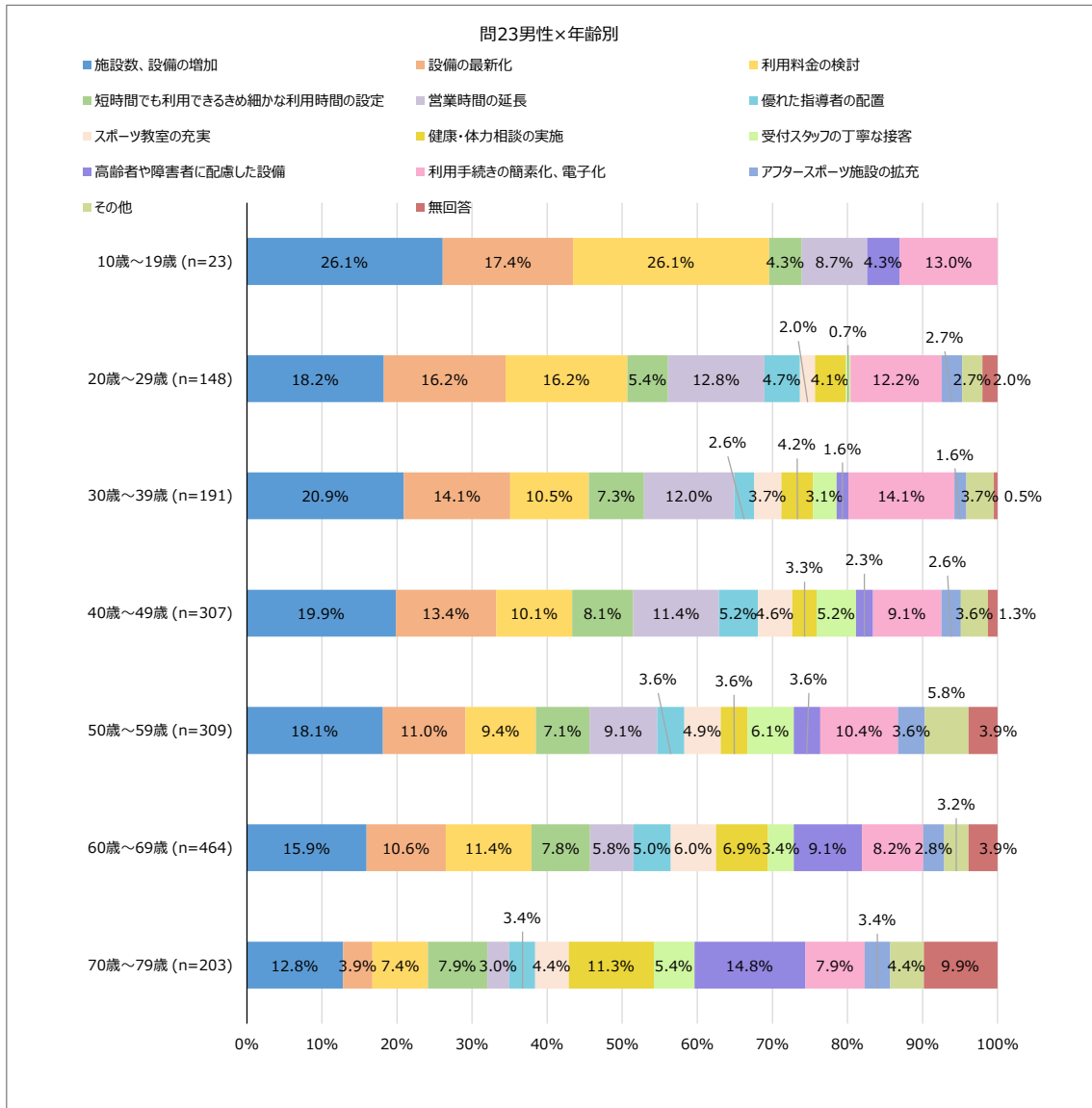
また、「利用料金の検討」は年齢の低い世代ほど、「高齢者や障害者に配慮した設備」は年齢が高い世代ほど、「スポーツ教室の充実」は男性より女性が、それぞれ多くなっている。

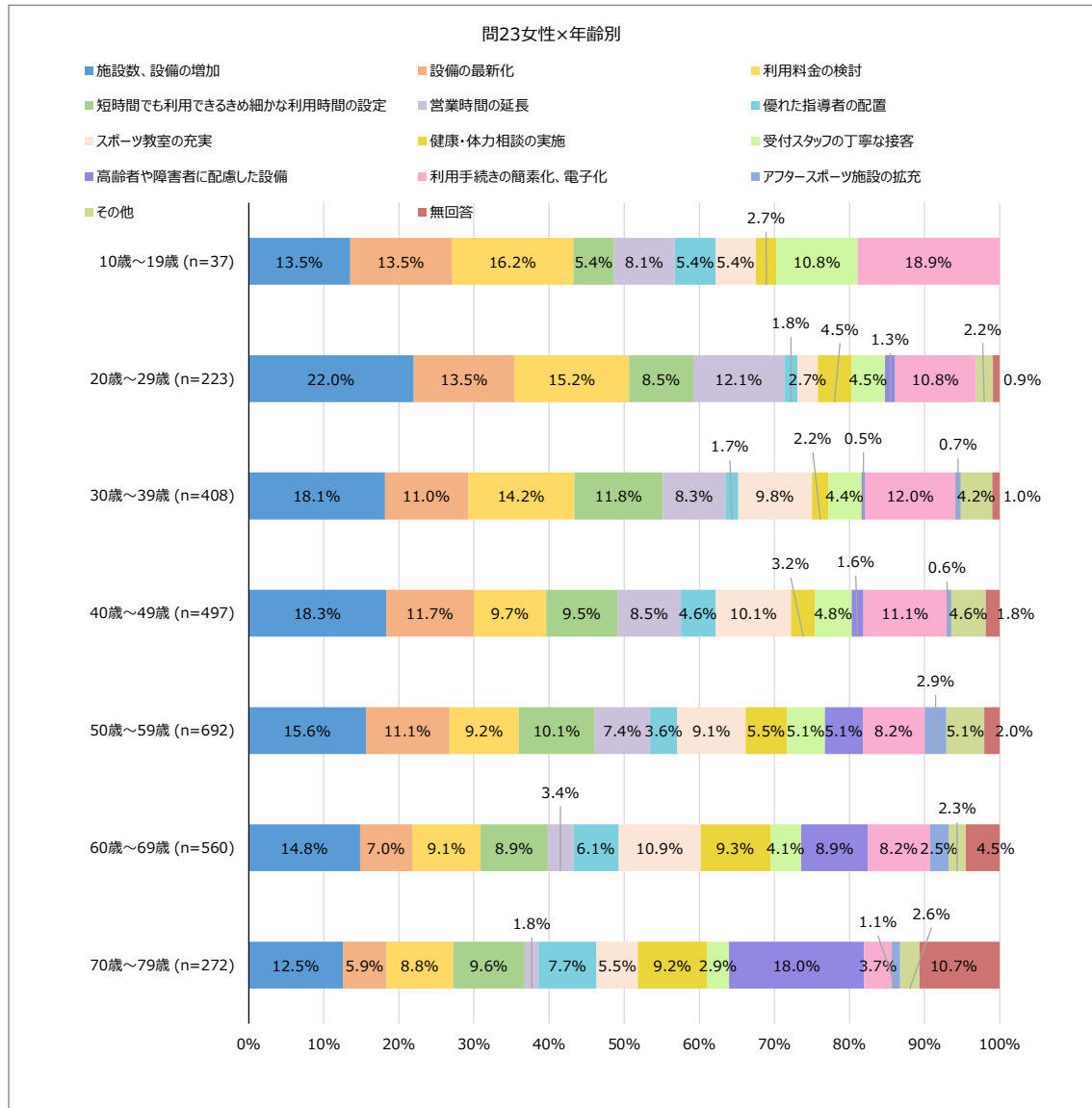


【その他】

内容	回答数	内容	回答数
特になし	25	高齢者向けのスポーツ教室が多く、働く世代が18時以降にしか使えないことの考慮が乏しい。	1
清潔さ、衛生管理	16	プログラムを増やしてほしい	1
利用してない、利用したいと思わない	11	ブラジリア柔術教室	1
近くにあること、アクセスの良さ	7	スポーツという手前の運動レベルの素人でも参加できるような機会の提供があると良いです。	1
施設や何をやっているのかが認知されていない。広報や周知をもっと行う	7	予約のオンライン化	1
わからない、考えたことがない	7	予約の可視化	1
子供でも楽しめたり、子供と一緒に利用しやすい	5	予約なしで利用できる	1
最近では利用していない（過去に利用したことはある）	5	登録条件の緩和	1
団体でないと予約できないので、個人でも予約できるようにしてほしい。	3	わかりやすさ	1
料金の低減	3	個人利用の簡素化	1
女性でも安心できる施設、女性専用の施設	2	一人でも利用しやすいこと	1
清潔感のある更衣室の充実	2	区民優先	1
予約の取りやすさ	2	施設はあっても倍率が高く参加が難しい	1
手続きの説明がわかりづらい	2	すでに出来上がっているグループには入りづらいので毎回入れ替え制だと良い	1
常連優遇をしない、ヘビューザーの抑制	2	日本人優先	1
施設についての詳しい利用案内の充実	2	施設がどこにあるかわからない	1
施設を利用した際の駐車場の無料化	2	取り合えずその施設でスポーツをしている様子を写真などで見てみたい。巢鴨体育館でヨガをしている様子など。	1
土日の営業の充実	2	見学会、体験会によるより利用しやすい雰囲気づくり	1
早朝に利用できるようにしてほしい5:00開	2	定員制の拡大	1
利用者のマナーの改善	2	混雑の緩和	1
感染症対策	2	子育てしている人にも使いやすい	1
シャワーなどの充実と清掃の徹底	2	託児	1
施設の広さ、ゆとりのあるスペース	1	コンセントの利用料をなくす。	1
区内に手軽に使える施設	1	池袋プールの夏季週末がもう少し空いてほしい。	1
男女別、女性専用エリアや時間帯	1	夏休みに子供が利用できる室内プールを増やしてほしい。	1
ボールを使える公園を増やす	1	個人利用時間の増加	1
区民プール等	1	南長崎スポーツセンターの朝活（7:00～9:00）の復活	1
自由な感じに過ごせるプール	1	会社帰り利用	1
スカッシュの設備を作してほしい	1	会社後に参加できる教室	1
子供大人使えるバスケのリング	1	営業時間は今十分な長さでやっていただいていると思っています。現状維持でOK。	1
ドッグランの増設	1	スマート時計着用の許可	1
公営ビリヤード場の設置	1	床の種類による制限をなくす。	1
エレベーターの設置	1	水泳後のシャワーの利用	1
換気の改善	1	60歳以上の野球チームの紹介	1
駐車場	1	一緒に行う仲間	1
豊島区のスポーツセンターの施設が古くて、特にプールです、特に狭くて、あまり気持ちよく水泳ができません。リニューアルしていただきたいです。あと、バスケができる場所や施設も増やしていただきたいです。	1	トイレがきれい	1
マンツーマンのインストラクターがいると良い	1	治安	1
パーソナルトレーナーを有料でいいので、おいてほしい	1	安全	1
初体験で関心のある方への配慮とコーチの配置	1	今のままで良い	1
維持コストを増やさない事	1	無駄な投資は不要	1
遊園地の復活	1	ただし財政と民間とのバランスに注意	1





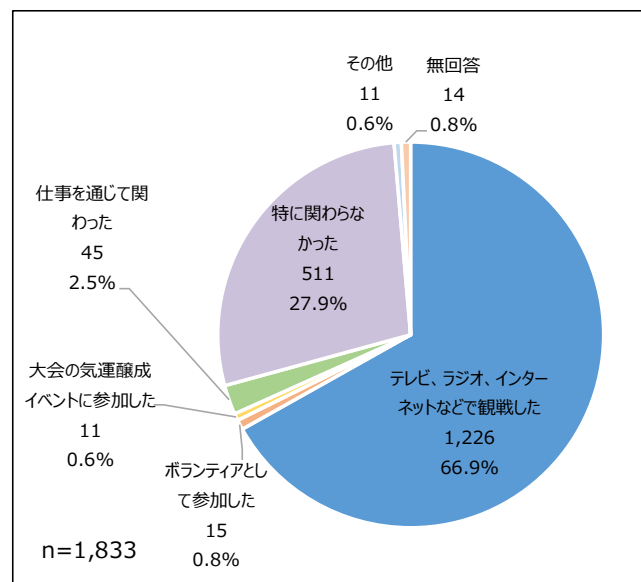


問 24 あなたは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にどのような形で関わりましたか。（単一回答）

東京2020オリンピック、パラリンピック競技大会にどのような形で関わったかについては、「テレビ、ラジオ、インターネットなどで観戦した」が66.9%、「特に関わらなかった」が27.9%、「仕事を通じて関わった」が2.5%、「ボランティアとして参加した」が0.8%、「大会の気運醸成イベントに参加した」が0.6%、「その他」が0.6%となっている。

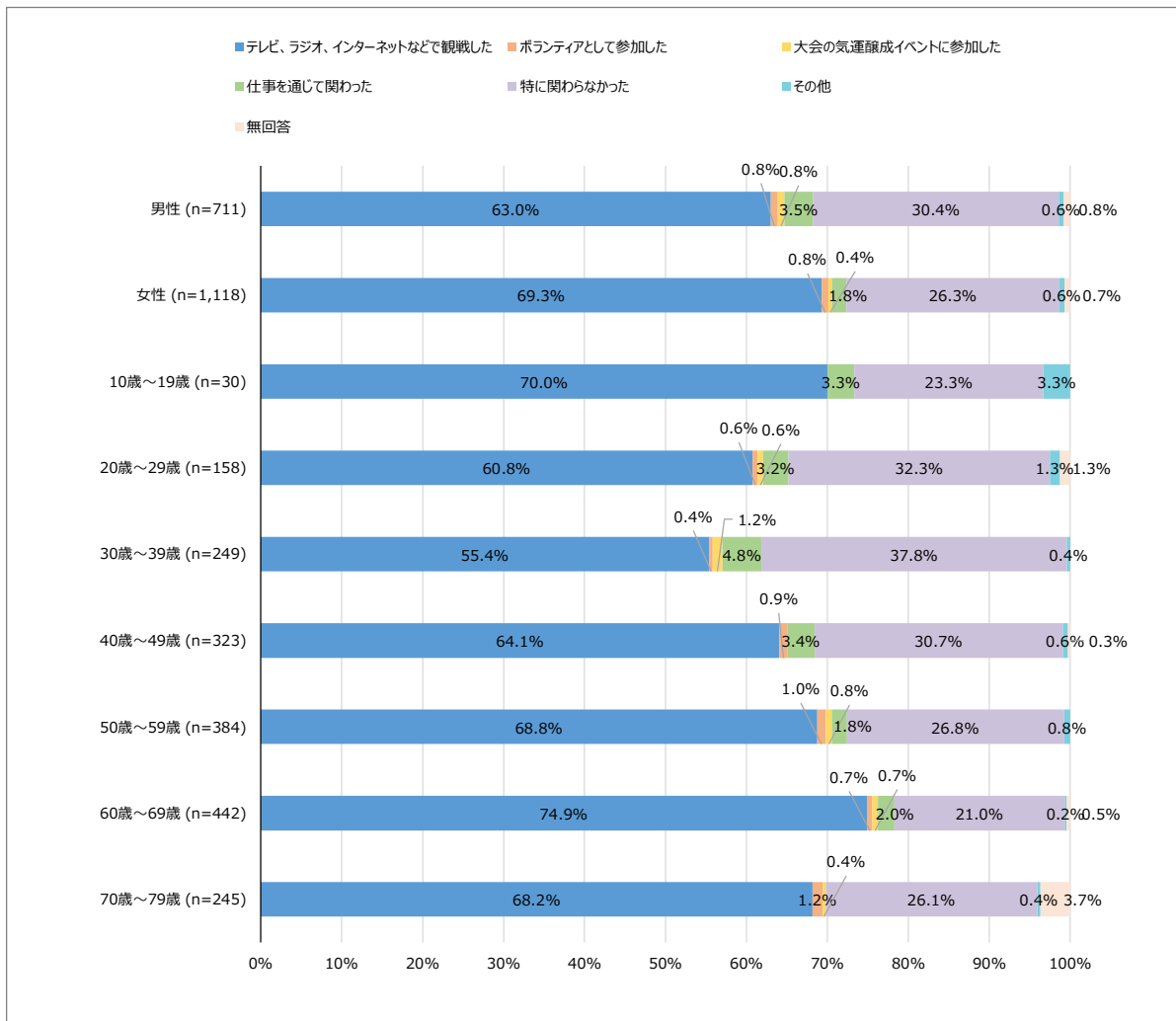
男女別では何かしらの形で2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加した人の割合は女性の方が高いが、仕事を通じて関わった人の割合は男性の方が高くなっている。

年代別では何かしらの形で2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加した人の割合は30代が一番低い、仕事を通じて関わった人の割合が一番高くなっている。反対に何かしらの形で2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加した人の割合一番高いのは60代となっている。



【その他】

内容	回答数
反対していた	3
ボランティアはコロナのため辞退した	1
ボランティアとして準備していたが中止になった	1
現地で観戦した	1
聖火を見に行った	1
バレーボールのチケットが当選していましたが観戦できなかった	1
学校のイベントとして	1
パラリンピックの歴史を学んだ	1

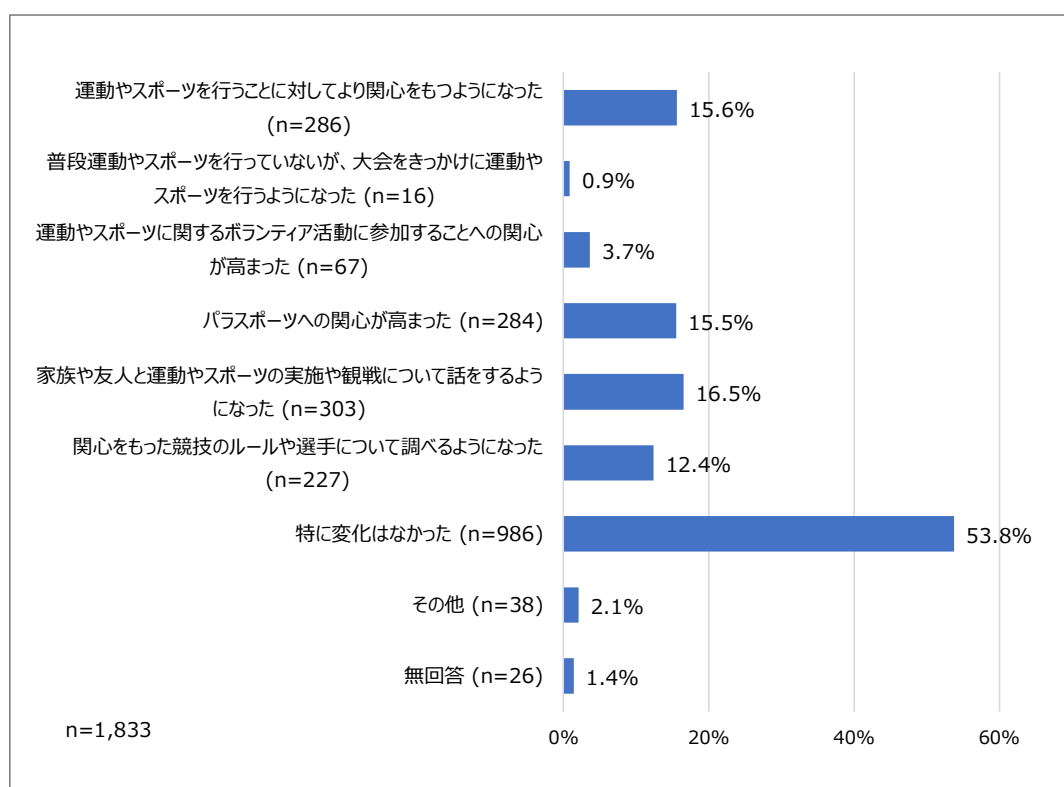


問 25 あなたは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を通じて、どのような変化がありましたか。（複数回答）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を通じてどのような変化があったかについては、「特に変化はなかった」が53.8%と半数以上となっている。それ以外の回答については、「家族や友人と運動やスポーツの実施や観戦について話をするようになった」が16.5%、「運動やスポーツを行うことに対してより関心をもつようになった」が15.6%、「パラスポーツへの関心が高まった」がそれぞれ15.5%、「関心をもった競技のルールや選手について調べるようになった」が12.4%となっている。

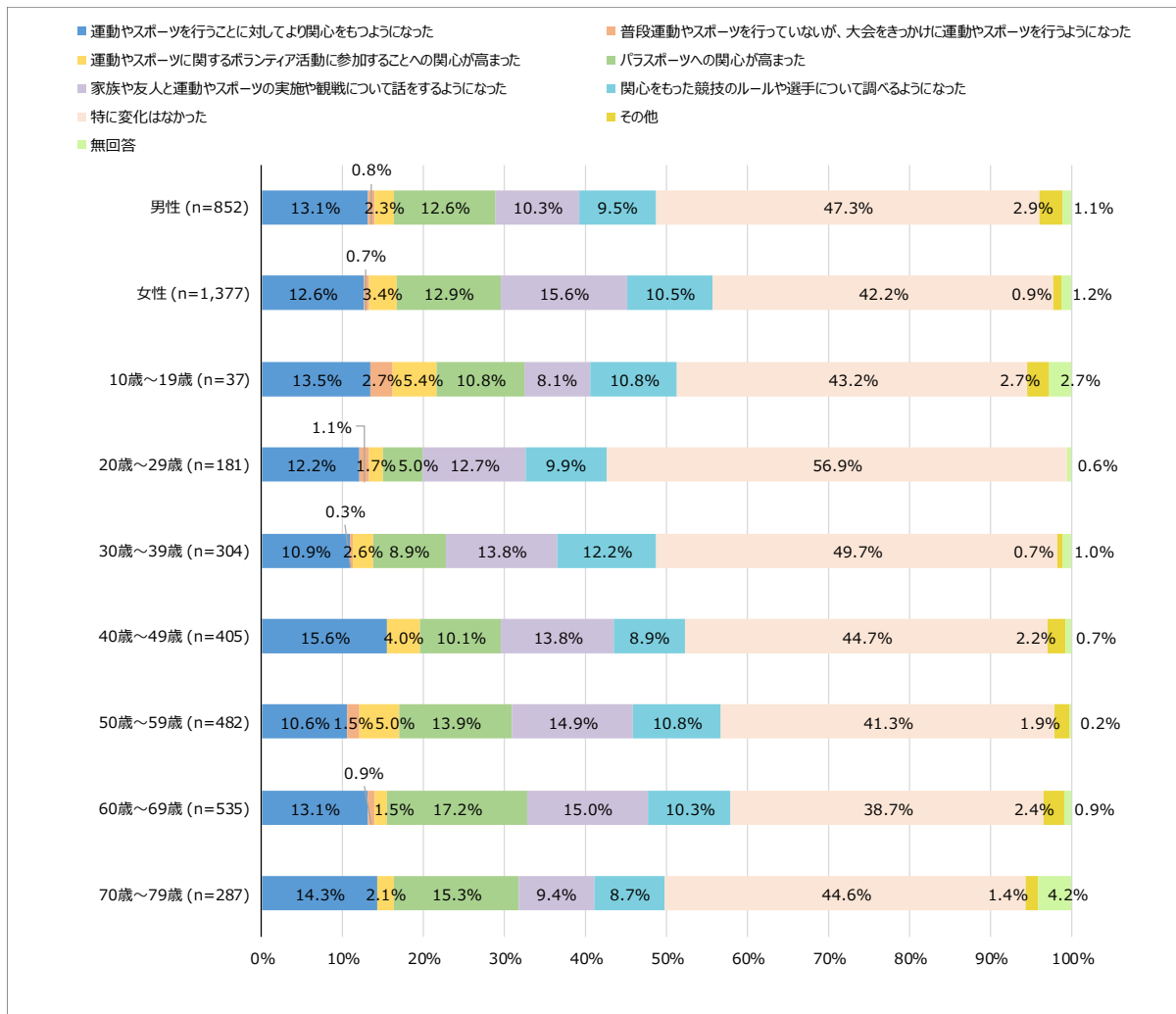
男女別で差がある項目としては「家族や友人と運動やスポーツの実施や観戦について話をするようになった」が女性で多くなっている。

年代別では「パラスポーツへの関心が高まった」について20代と30代で回答が少なくなっている。「特に変化はなかった」の割合は20代が最も高く、60代が最も低くなっている。



【その他】

内容	回答数
開催費の増大や汚職・不正問題で政府や大会組織委員会への不信感が高まった。	6
大会運営の不正などでスポーツそのものに関心を失った。	3
子供はスポーツ大好きになりました。	1
スポーツは世の中を明るくする	1
友好国と敵対国が分かった	1
大会後の体育館やスタジアムの利用状況	1
他国への関心	1
スポーツというのはやはり生きていくうえで必要と感じた	1
コロナで友人がなくなり、オリンピックは反対だったので、見るのも聞くのも嫌だった	1
国際交流、相互理解、日本文化の発信に興味を持った	1
障害者の意欲的活動に感激した	1
好き勝手反対運動していた活動輩により嫌悪感を覚えた	1
今まで知らなかった競技に関心を持つようになった	1
がっかりした	1
オリンピック開催に反対だった	1
日頃仕事を頑張ろうと思える	1
変化ではないが無観客はさみしい	1
スポーツがビジネスであり黒い世界であること	1
オリンピック以外の方法でアマチュアスポーツの発展を考えてほしい。	1
オリンピックは失敗	1
真夏の開催に反対	1
お金にかかわる問題でがっかりした。税金の無駄。日本で二度としないでほしい。	1
オリンピックに対する嫌悪感が増した。	1
コロナ下での大規模イベントについて考えた	1
インタビューなどで選手の方々からいろいろ学んだ	1

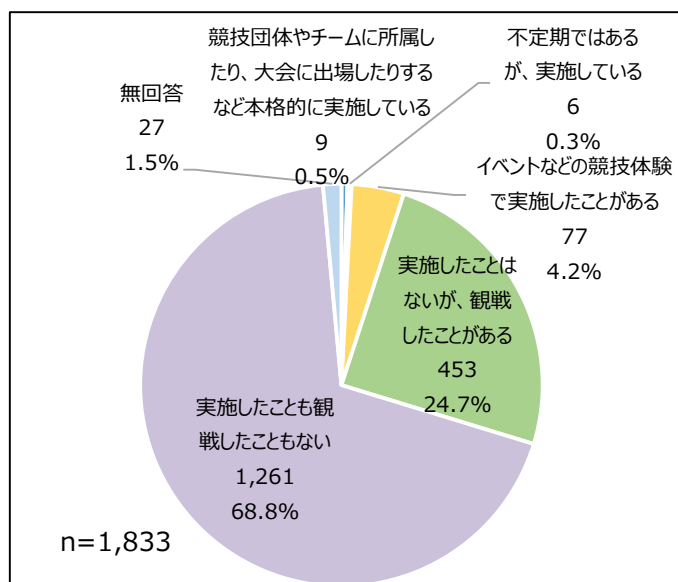


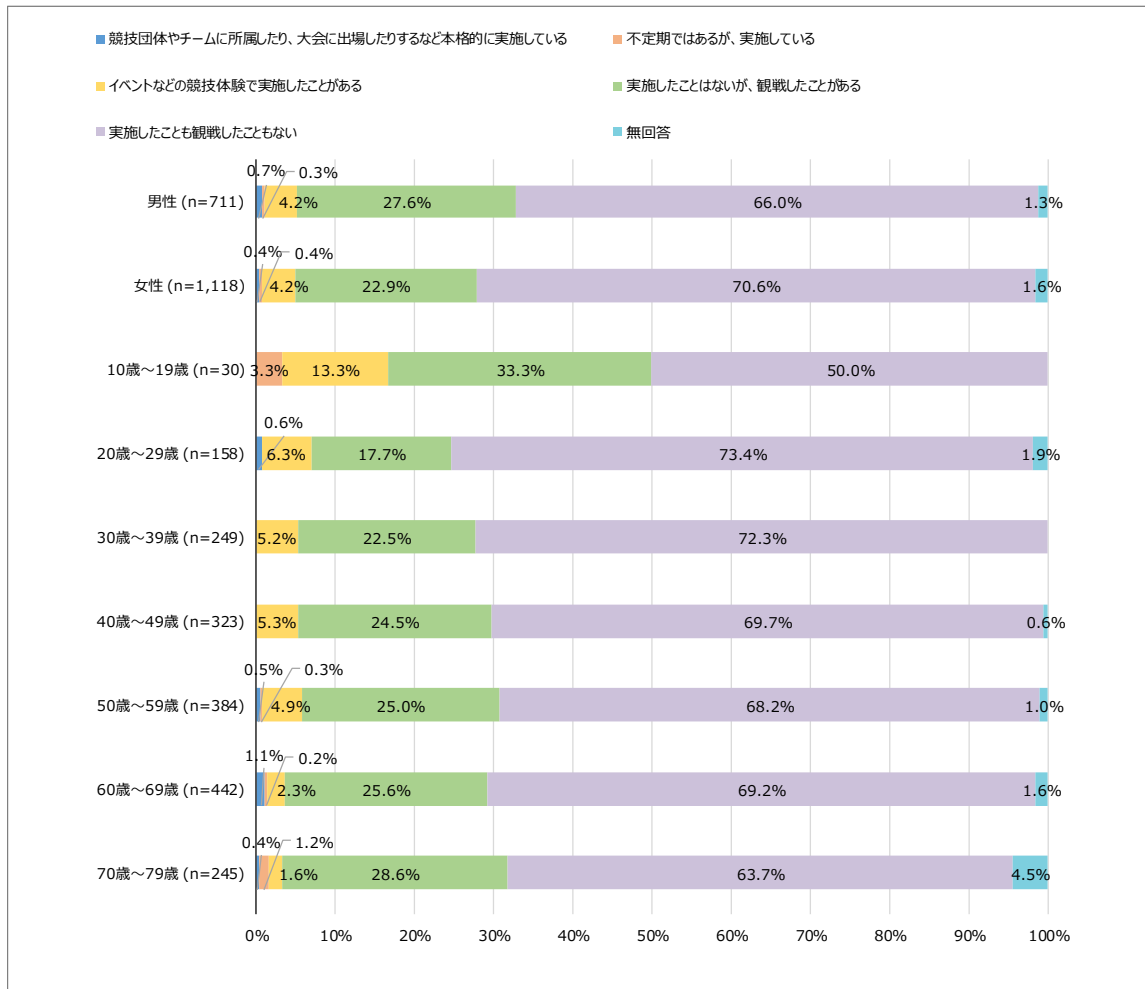
問 26 あなたはパラスポーツ（車いすテニスやボッチャ等の障害者スポーツ）を実施したり観戦したりしたことはありますか。（単一回答）

パラスポーツを実施したり観戦したことがあるかについては、「実施したことも観戦したこともない」と68.8%が最も多く、次いで「実施したことはないが、観戦したことがある」が24.7%となっている。「競技団体やチームに所属したり、大会に出場したりするなど本格的に実施している」が0.5%、「不定期ではあるが、実施している」が0.3%、「イベントなどの競技体験で実施したことがある」が4.2%となっている。

年代別では、「実施したことも観戦したこともない」の割合は20代が一番多く、次いで30代が多くなっている。問25と近い傾向で、20代と30代でパラスポーツへの関心が比較的低いことがうかがえる。

一方10代の回答数が少ないので参考的になるが実施したことがある、あるいは観戦したことがある人の割合が高く、パラスポーツへの関心が比較的高い、もしくはパラスポーツと接する機会が多いことがうかがえる。





問 27 あなたは運動やスポーツに関するボランティア活動に参加したことはありますか。

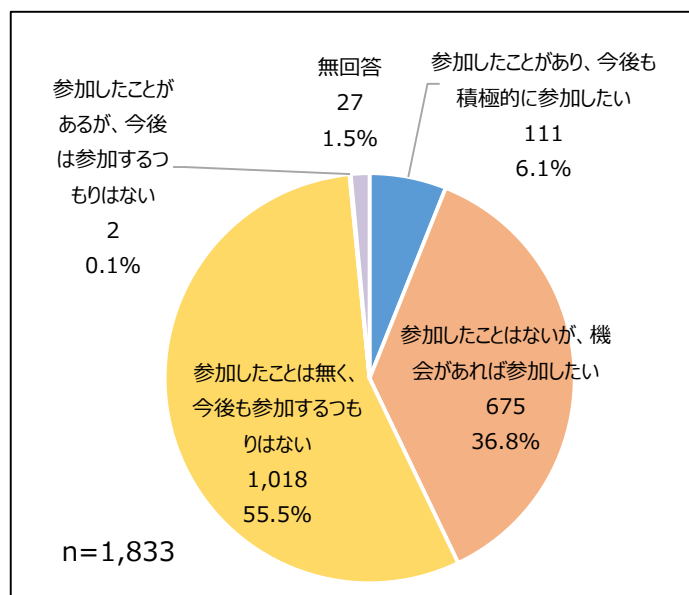
(単一回答)

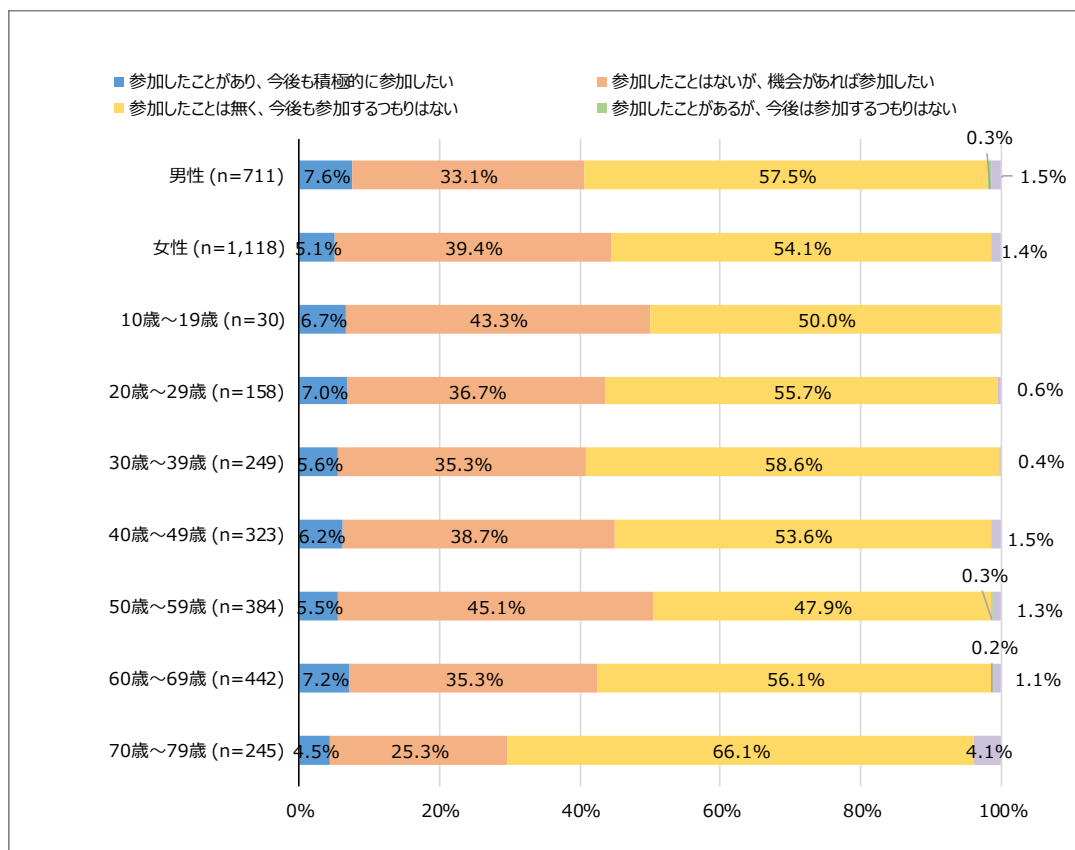
(用意していた選択肢に当てはまらない回答があったため、選択肢「参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない」を追加)

運動やスポーツに関するボランティア活動については、「参加したことがあり、今後も積極的に参加したい」が 6.1%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 36.8%、「参加したことは無く、今後も参加するつもりはない」が 55.5%、「参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない」が 0.1% となっている。

男女別では、「参加したことがあり、今後も積極的に参加したい」と「参加したことはないが、機会があれば参加したい」をあわせた『どちらかというに参加したい』との意向の人の割合では女性が若干多い。

年代別では 70 代で「参加したことは無く、今後も参加するつもりはない」の割合が他の世代より多くなっている。





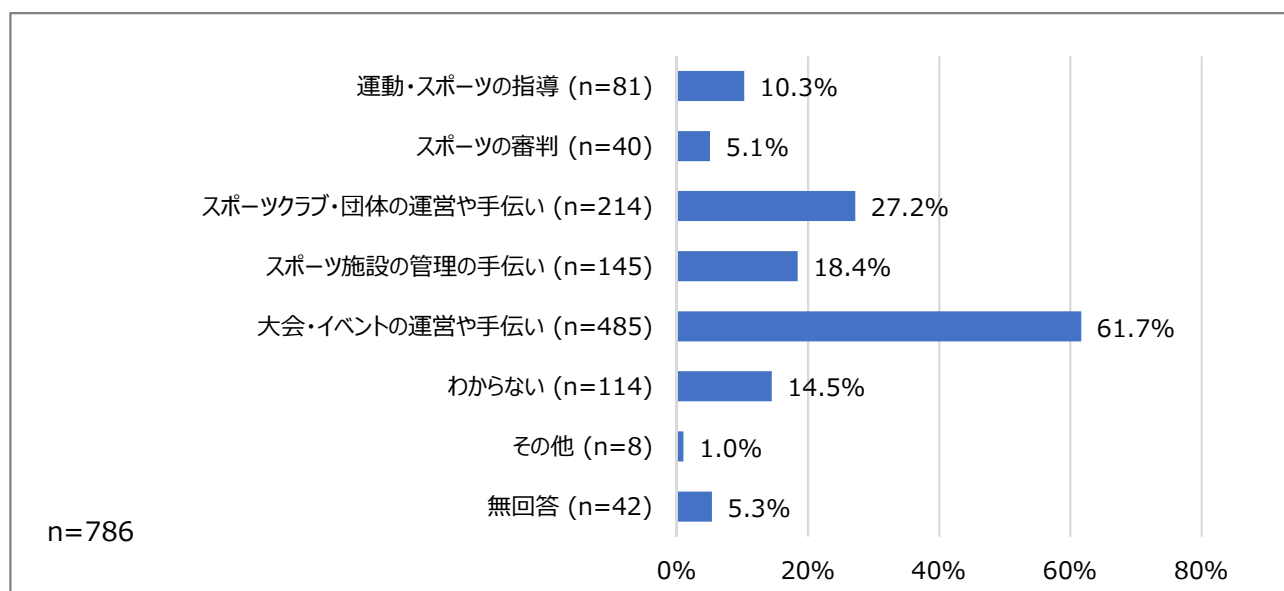
—問 27 で「1. 参加したことがあり、今後も積極的に参加したい」、「2. 参加したことはないが、機会があれば参加したい」と回答された方にお伺いします—

問 28 どのようなボランティア活動に参加したいと思いますか。(複数回答)

参加したいボランティア活動については、「大会・イベントの運営や手伝い」が 61.7%と最も多く、次いで「スポーツクラブ・団体の運営や手伝い」が 27.2%、「スポーツ施設の管理の手伝い」が 18.4% 「運動・スポーツの指導」が 10.3%、「スポーツの審判」が 5.1%となっており、スポーツの知識や技術がなくても参加しやすい活動の割合が高くなっている。

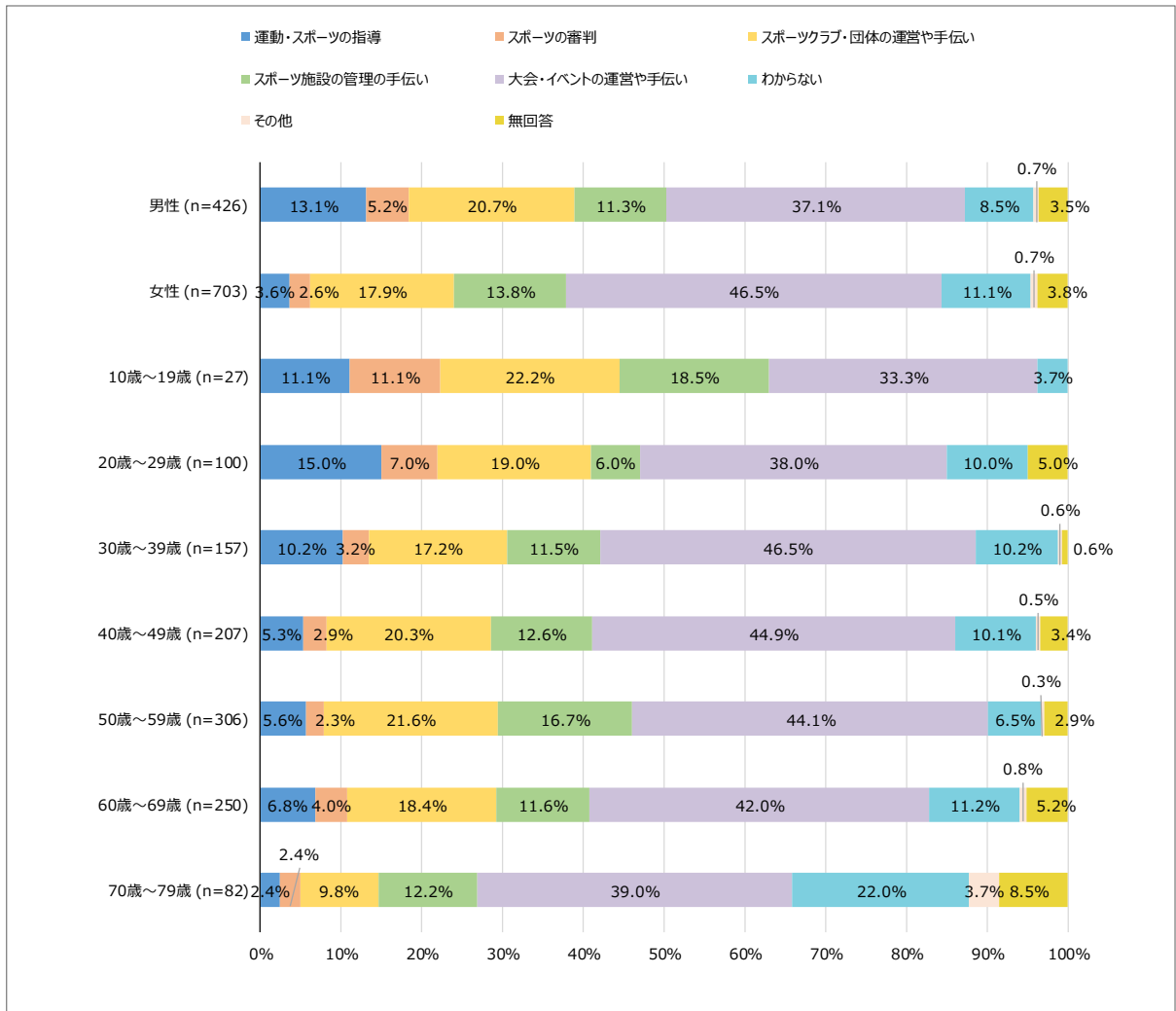
男女別では「運動・スポーツの指導」「スポーツの審判」とスポーツの知識や技術が必要な活動に参加したい人の割合は男性の方が多くなっている。

年代別ではスポーツの知識や技術が必要な活動に参加したい人の割合が年齢が低い世代ほど高い傾向がある。また 70 代では「わからない」と回答した人の割合が他の世代より多くなっている。



【その他】

内容	回答数
市民マラソンの観衆の整理のような	1
内容に見合う有償ボランティアなら参加したい	1
アシストという技術を持っているのでスポーツをする方に与えてあげたい	1
メディカルトレーナーなので参加者のケアなど	1
医療	1
ボーイスカウト	1
高齢なので参加が難しい、できることがあれば	1
お手伝いしたいがけがで腰を痛めたため今はできない	1

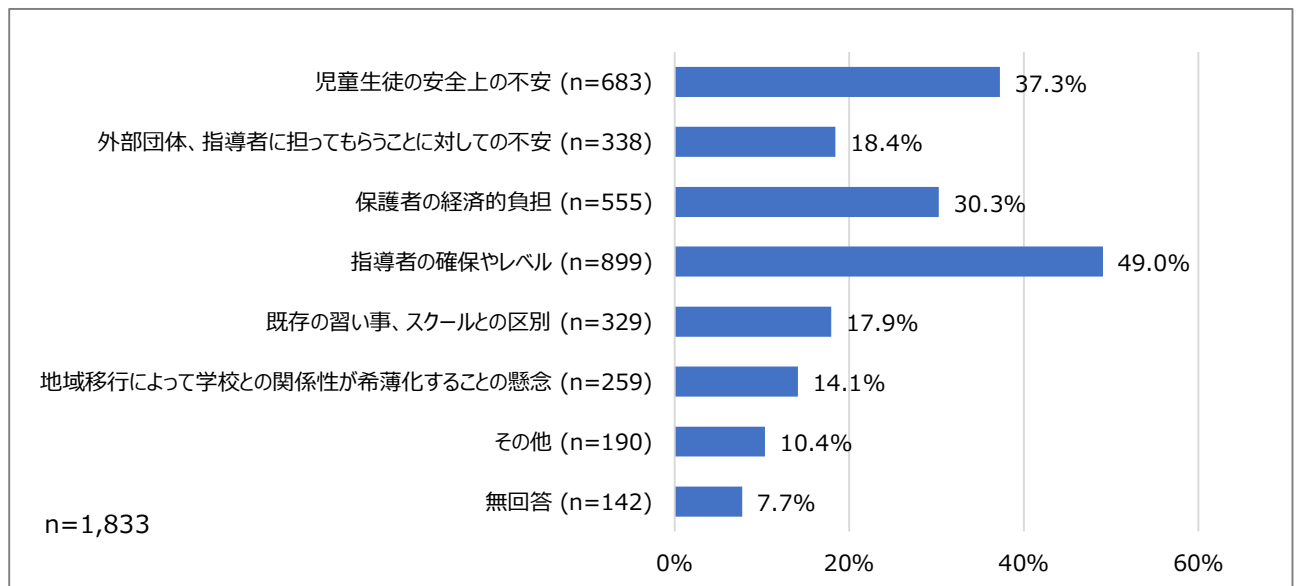


問 29 学校部活動の地域移行は令和5年度より3年間で段階的に実施することになっています。そのうえでどのような問題、課題があると思いますか。 (複数回答)

学校部活動の地域移行の問題、課題については、「指導者の確保やレベル」が49.0%と最も多く、次いで「児童生徒の安全上の不安」が37.3%、「保護者の経済的負担」が30.3%、「外部団体、指導者に担ってもらうことに対する不安」が18.4%、「既存の習い事、スクールとの区別」が17.9%となっている。

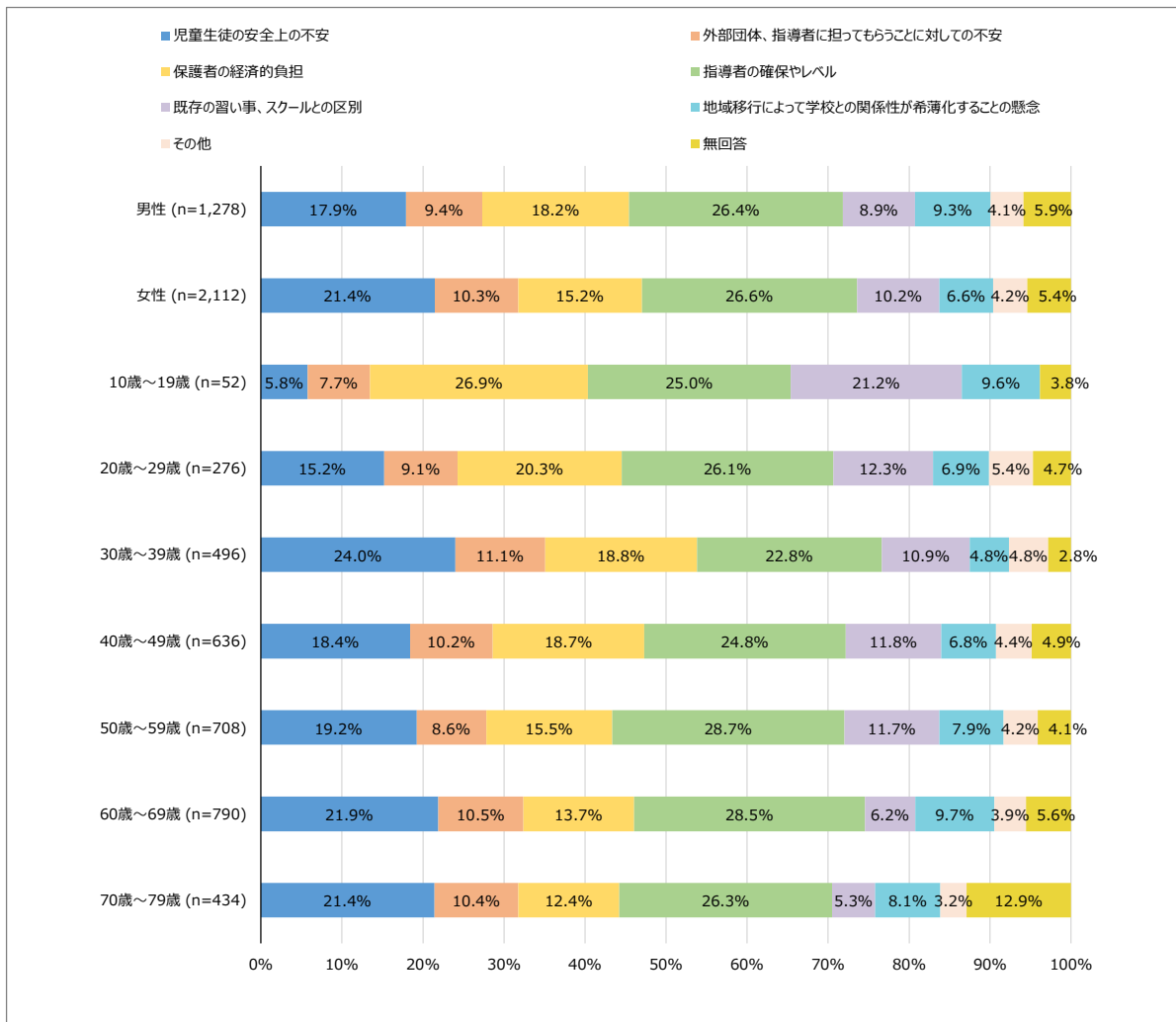
男女別では、「保護者の経済的負担」「地域移行によって学校との関係性が希薄化することの懸念」について男性が女性よりも多くなっており、「児童生徒の安全上の不安」について女性が男性よりも多くなっている。

年代別では年齢が低い世代ほど「保護者の経済的負担」「既存の習い事、スクールとの区別」が高い傾向にある。



【その他】

分類	内容	回答数
全体的意見	学校部活動の地域移行についてよく知らない、わからない	45
	教員の負担の軽減になり賛成	10
	やってみるべきと思うが、課題はやってみないとわからないと思う。	1
	課題はない、学校でやるより良い。	1
予算	予算や財源の適切な確保	4
	無駄な税金を使わないこと、親子にメリットがあれば親が負担すべき	1
外部団体、指導者に担ってもらうこと 対しての不安	責任の所在の明確化	5
	指導者からのパワハラやセクハラ、性犯罪に巻き込まれるのではないかと懸念	4
	一貫した指導が可能なのか。担当者がいつも同じ人であるか。	2
	教員免許がない方々が指導することに対して少し不安を感じる。教員の業務負担軽減のため外部団体への移行はおおむね賛成であるが、外部大会の引率等教員免許がないと行えない指導上の活動について学校との連携がどのようにされているか等課題。	2
	指導者の人間性	2
	生徒をよく知っている教員が重要	1
	指導者の子供理解度や子供との関わり方や接し方、技術が優れていても子供の心の理解度、学習障害の子供たちの理解度。必ず勉強してほしい。	1
	指導者によるやりすぎた指導	1
	外部団体・指導の児童に対する加害（性加害等）が行われないよう事前に適切な審査をした方が良い。	1
	心理面でのフォロー	1
保護者や家庭への負担	家庭の経済格差による子供への影響が心配。	2
	家庭環境によっては参加できない児童が増えるのではないかと	1
	保護者のボランティア強制をさけてください	1
	保護者の理解	1
	移動距離が増える	1
指導者のレベルや確保	指導者の方々が適切な待遇で扱われるか。	4
	兼業ではなく専門の指導者にして欲しい。	1
	ボランティアではなく指導者が仕事として確立できるか	1
	教員による指導力と総合的な面での負担が多く無理がある	1
地域移行によって学校との関係性が希 薄化することの懸念	学区ごとの格差が生まれそう	4
	部活動の存在意義がなくなるのでは？	3
	学校部活動は学校でやってもらいたい	1
	地域との関係を大事にすること	1
	学校と委託先との連携と情報共有	1
	行政としての教育の責任の放棄には反対	1
	すべての学校の学区に指導者が存在しているか	1
	施設が確保できるかどうか。	1
学校教育との関係性	子供の学習との両立	1
	生徒間で学校と部活動の優先順位に対立がおきないか心配。	1
	学校教育の一環として成立するのか不安	1
	受験の内申点への影響	1
	生徒が時間を持って余さないようある程度強制力が必要。	1
	生徒の楽しみが減る	1
	生徒数が少なく部活の種類が少ない。	1
	子供の運動不足、スポーツをする機会の減少	1
	そもそも部活動は教育に必要なのか	1
	⑥の懸念ではなく、希薄化して地域活動になればよいのでは	1
その他	豊島丘がN混んで賞を取った際に垂れ幕を用意すべきではないか	1
	騒音苦情や気温等環境的不安	1
	中途半端なことはやめればよい	1

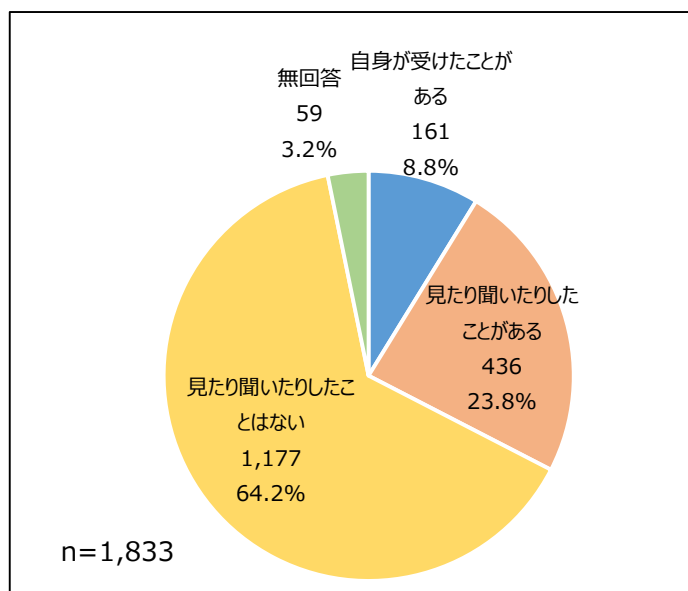


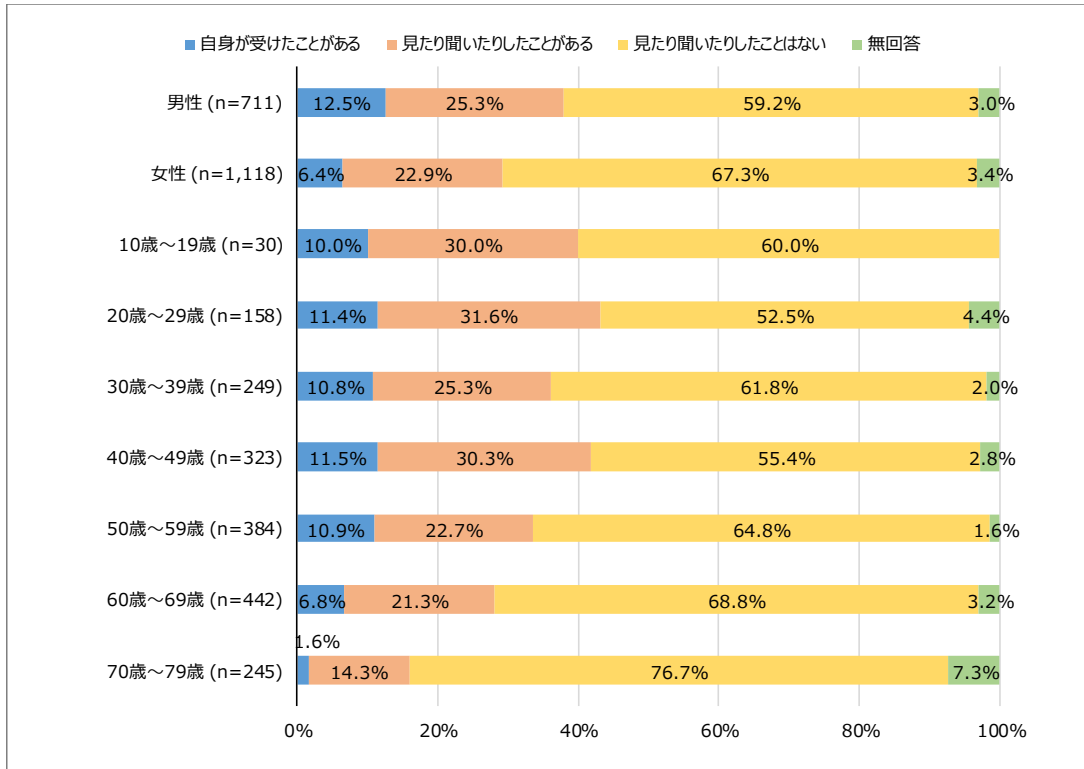
問 30 近年、運動やスポーツの実施現場で、行き過ぎた指導などによる体罰やハラスメントなどが問題になっています。あなたの周辺でこうした問題を実際に受けたことまたは見たり聞いたりしたことがありますか。 (単一回答)

運動やスポーツの実施現場で体罰やハラスメントを受けた・見たり聞いたりした経験については、「自身が受けたことがある」が 8.8%、「見たり聞いたりしたことがある」が 23.8%、「見たり聞いたりしたことはない」が 64.2%となっている。

男女別では、「自身が受けたことがある」の割合が男性の方が高くなっており、男性に対して体罰やハラスメントが行われていることがより多い傾向が見受けられる。

年代別では、50代以上の世代で年齢が高いほど体罰やハラスメントを受けたり見聞きしたことのあつる人の割合が少なくなっているが、いまでは体罰やハラスメントにあたることでもその時代では当たり前のことであり問題と認識していたのではないかと考えられる。





—問 30 で「1. 自身が受けたことがある」、「2. 見たり聞いたりしたことがある」と回答された方にお伺いします—

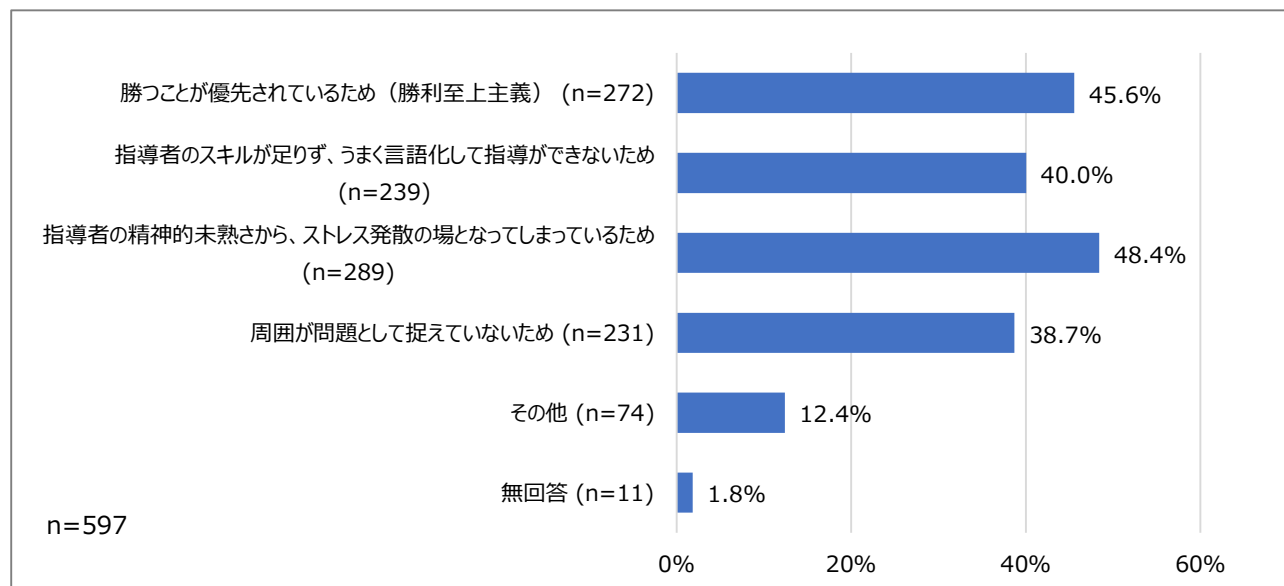
問 31 なぜそのような問題が起こってしまうと思いますか。（複数回答）

体罰やハラスメントが起こってしまう理由については、「指導者の精神的未熟さから、ストレス発散の場となってしまうため」が 48.4%と最も多く、次いで「勝つことが優先されているため（勝利至上主義）」が 45.6%、「指導者のスキルが足りず、うまく言語化して指導ができないため」が 40.0%、「周囲が問題として捉えていないため」が 38.7%となっている。

その他の回答では「昔は当たり前だった」「古い考え方が残っている」などの回答が多くなっている。

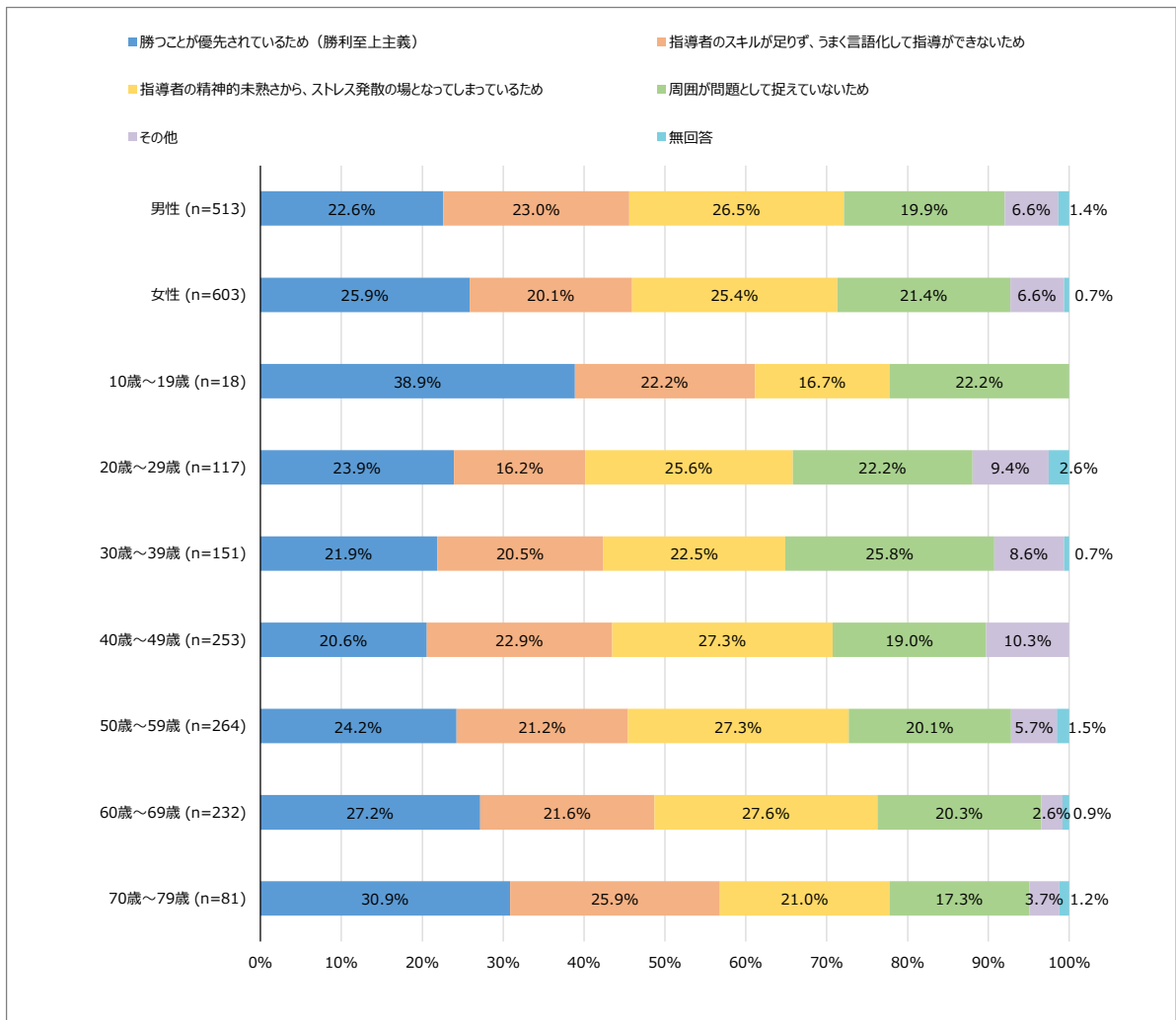
男女別では、「指導者のスキルが足りず、うまく言語化して指導ができないため」の割合が男性の方が高く、「勝つことが優先されているため（勝利至上主義）」の割合が女性の方が高くなっている。

年代別では、10代の回答数は少ないので参考的ではあるが、「勝つことが優先されているため（勝利至上主義）」の割合が高くなっている。



【その他】

分類	内容	回答数
体罰、ハラスメントが起こってしまう理由	昔はそれが当たり前だったから。	12
	指導者自身が体罰を受けて指導されてきたため、特にいけないことだと思っていないと感じる	10
	古い考え方がいまだに残っている	6
	閉鎖環境で上下関係が絶対的なものになっている	7
	レベルと指導の差があっていない	2
	スポーツ界における精神論・根性論の文化が根強いから。	2
	周囲（保護者）も体罰を問題視していなかった	1
	子供への支配欲	1
	学校の教師が社会を知らず一般常識が欠如しているため	1
	指導者の偏った考え方や方針	1
	指導する個人の性格	1
	厳しさの勘違いや圧力をかければよいことを聞かずに思っているから。	1
	人間性に問題のある教師が多すぎる	1
	教員免許に適正審査がないこと	1
	洗脳的な指導方法（生徒本人も問題とその当時にとらえられない）	1
	良い指導者不足、育成の未熟さ	1
	保護者からの要望が強すぎ従っている	1
	指導が完璧にワンマンになってしまっており、他の大人がどんなことが起きているのかを全く把握していないため。	1
	新しい時代の指導方法を模索するべき	1
	文化として定着してしまったため	1
児童が「暴力はいけない」と声を上げやすい雰囲気を作られていない場合があると思います。	1	
信頼関係の欠落、コミュニケーション不足	1	
子どもが反抗できないため	1	
時間がない中でそのようなことをさせられている方	1	
日曜日も部活をする	1	
体罰、ハラスメントに肯定的、あるいは許容してしまっている意見	指導を受ける側の問題	8
	体罰は必要、ゼロにすることへの賛否あり	2
	マスコミの取り上げにより知られていること	1
	登山部時代、体力の向上強化は自身と仲間の命を守ると考えていた。	1
	今は気にしすぎている。昔と違う。勝つことは良いことだと思う。日本は評価や否定が多い。	1
	ある程度は仕方ない。	1
	相性、子供の対応	1
	受け手の感覚	1
今の時代子供が大人に対して何をしても許されると思っていて、大人と子供、またはその親の立場が逆転しているからです。	1	

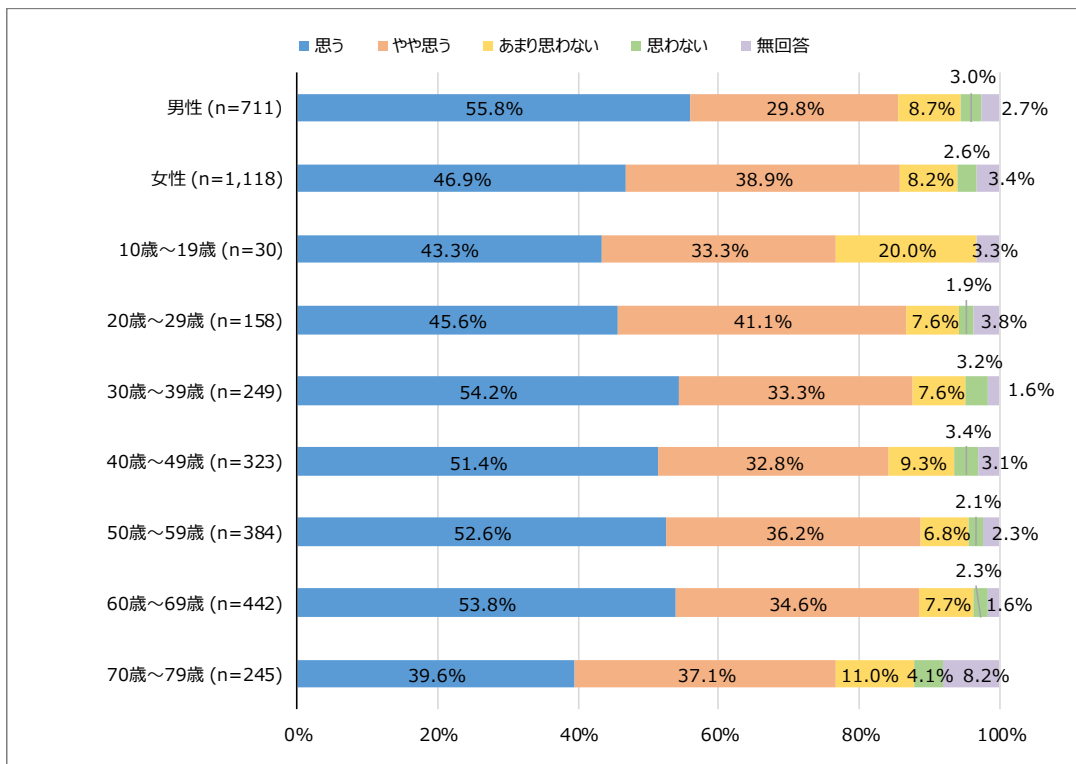
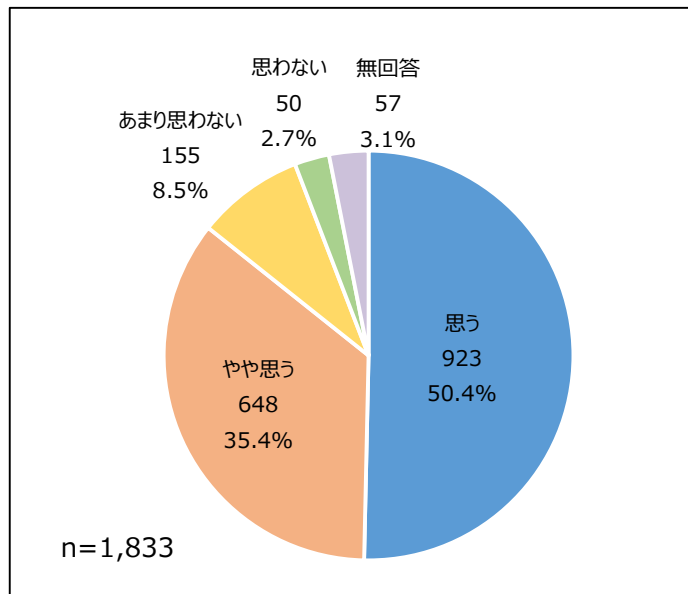


問 32 家庭の経済格差によってスポーツへの取組環境に差が生じ、スポーツ格差につながると思いますか。（単一回答）

家庭の経済格差がスポーツ格差につながると思うかについては、「思う」が 50.4%、「やや思う」が 35.4%、「あまり思わない」が 8.5%、「思わない」が 2.7%となっている。

男女別では、「思う」と「やや思う」をあわせると、男女で差はない。

年代別では、70代で「思う」の割合が低くなっている。



—問 32 で「1. 思う」、「2. やや思う」と回答された方にお伺いします—

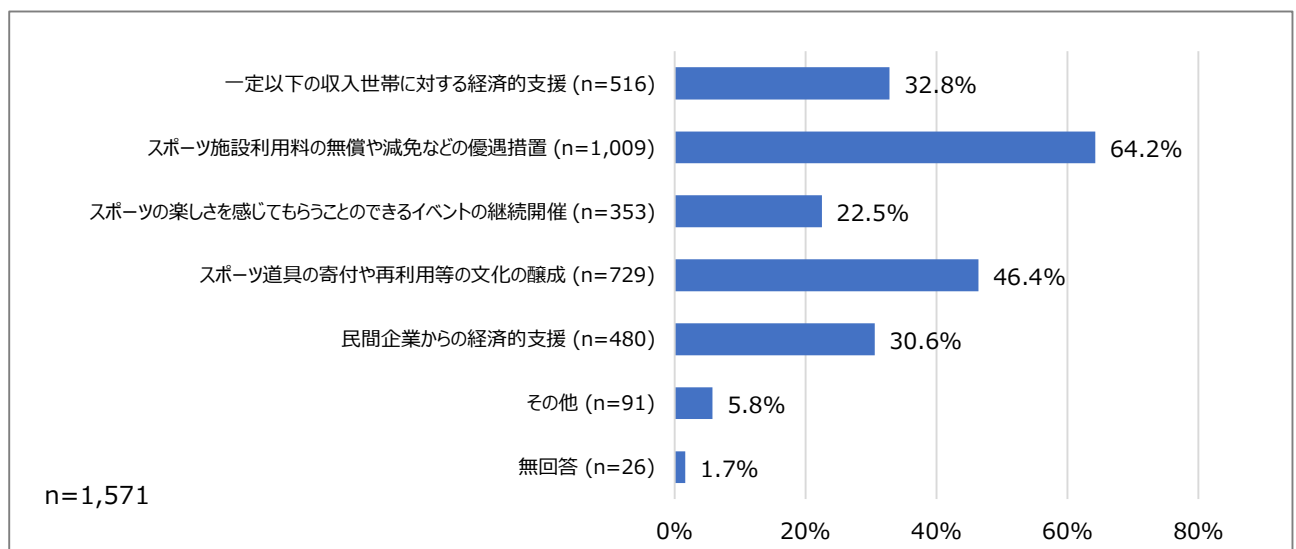
問 33 経済格差によるスポーツ格差を生じさせないために、どのような対策が必要だと思いますか。

(複数回答)

経済格差によるスポーツ格差を生じさせないための対策については、「スポーツ施設利用料の無償や減免などの優遇措置」が 64.2%、「スポーツ道具の寄付や再利用等の文化の醸成」が 46.4%と直接スポーツや運動をすることに繋がるような経済的な支援の割合が高く、「一定以下の収入世帯に対する経済的支援」が 32.8%、「民間企業からの経済的支援」が 30.5%とスポーツ以外の経済的な負担に対する支援策が続いている。「スポーツの楽しさを感じてもらおうことのできるイベントの継続開催」は 22.4%と、経済的な支援に比べると低い割合となっている。

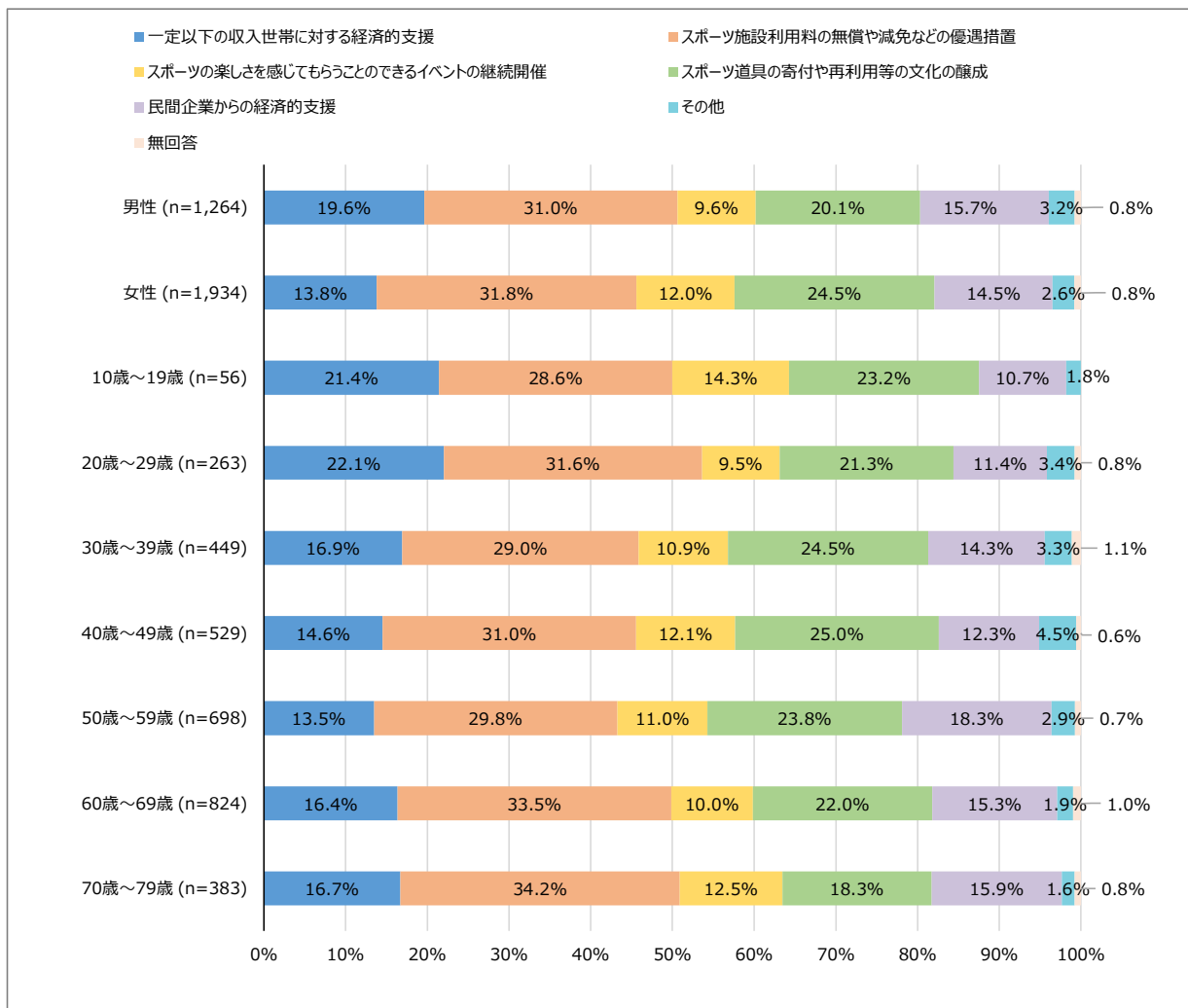
男女別では、「一定以下の収入世帯に対する経済的支援」の割合が男性の方が高く、「スポーツの楽しさを感じてもらおうことのできるイベントの継続開催」「スポーツ道具の寄付や再利用等の文化の醸成」の割合が女性の方が高くなっている。

年代別では、30歳未満で「一定以下の収入世帯に対する経済的支援」の割合が高くなっている。



【その他】

内容	回答数
不要	6
能力ややる気のある子供に優先的に支援する。	4
学校でのスポーツ活動を充実させる。	3
格差はしょうがない	3
わからない	3
優遇されていることが目立たないような対策、利用料の低価格化	2
親の見学、当番や送迎など負担の軽減	2
公園などの場所の提供	2
お金のかからないスポーツもあると思うし公共の施設など今は充実していると思う	2
経済的に苦しい家は親が理解を示さない。大人の意識改革が必要	2
ヤングケアラーの対策	2
国家による経済的支援	1
外国は個人任せではなく国費で人材を育成している	1
貧乏な家庭は最新のラケット等がなかった	1
一定以下以外でも区民は安く施設も増やして、子供と大人は利用できる施設を分けてほしいです。	1
減税	1
経済的支援は不公平なので無償や減免等の優遇措置に関しては反対。	1
道具、ユニフォーム、遠征費の負担軽減のため団体の補助金支給をする。世帯支給は意味がない。	1
施設利用者や指導者への報酬を学校や区などが補填する。一定以下の収入の世帯に対する支援は結果的に不平等になり対象外世帯（主にギリギリ対象外の世帯）との軋轢になりかねない。	1
優秀な指導者による指導支援、経済的に困窮している世帯は優秀な指導者にアプローチできる機会が少ない。	1
予算に応じて支援、特に能力のある子へ。全員参加の場合はお金がかからないスポーツでやればよい。	1
富の再分配 消費税をやめる	1
収入が低くてもスポーツが出来るよう個別で支援したい	1
高所得者といわれる人も優遇がなく逆格差になっていると思う。	1
1が重要だと思うが財源があるとは思えない	1
税金を使わない支援であるべき。民間に知恵がある。	1
1～3を実施しても保護者の送迎がないと難しいし、共稼ぎの負担も大きいから学校での情報提供や機械提供が必要。	1
子供が多いため送迎が負担になってしまう。（金銭的にも時間的にも体力的にも）→習い事はさせてあげたいが1人1人にいくつも習い事をさせるのは厳しい。	1
遠征しなくても練習できる施設の充実	1
スポーツ、習い事のベーシックサービスとする仕組みづくり	1
そもそもの「きっかけ」を与える機会を作る。才能があったとしてもそれに触れるきっかけさえないまま人生が送られてしまうこともある。	1
スポーツに限らず経済格差により子供にいろんな経験をさせたくてもそれができない現状がある。	1
無料体験や道具の貸与	1
リサイクル用品の活用	1
低価格で指導者に指導してもらえる機会の提供	1
公園で自由にボール遊びができる環境づくり。高齢者優先で子供たちの遊びに制限がかかっている。校庭開放は良い取り組み。パラマキは不要。	1
公園での運動(ボール遊びなど)が出来ないのはおかしい。	1
無償の施設や教室を増やす	1
地域内で自由に無料で利用できる施設	1
スキー、スケート等身近なスポーツは収入格差となるので冬のスポーツはイベントとして区が行うと参加しやすい	1
プロの指導は費用が高い	1
指導者や団体が高額請求しないこと	1
学校の授業の一環としてみんなでプロスポーツ観戦の機会を作る	1
体育や部活動など格差なく受けられる際の指導の質を向上させる。	1
学校施設の利用と部活動、クラブチームの連携	1
学校部活動の地域移行への支援	1
教育とし無償化、レベルに合わせた指導の導入と機会の平等	1
必須単位とすれば親も参加させると思われる。	1
親が興味がなく外から帰ると嫌な顔をしたのでしようとも思わなかった	1
親の収入があってもその運動を続けさせてもらえない環境である場合も多い。可能性がある、スポーツが好きである、そんな子供たちがスポーツを継続できるような環境を整えてほしい。	1
スポーツに対しての考え方を改める、指導者がよりスポーツの厳しさを伝えるようにする等	1
本人の工夫	1
ヨーロッパのような自治体を中心とした地域スポーツクラブの支援	1
区などの地域ごとをグループ化して区としての大会。区として競技や球技などの選手を育てていく活動。	1
公共スポーツ施設でもよい指導者の充実を図る	1
行政ができる事を積極的に情報発信（学校、家庭へ）	1
子供に直接情報が伝わる工夫	1
夜遅くまで働かなければならない職場環境などの改善。集まることできない。	1
いずれの世代でもスポーツをすることでメリットがある。将来の介護、医療負担の軽減のために投資するべき。	1
政治家への優遇措置の撤廃、無駄遣いを減らす	1
議員たちの積極参加による相互理解	1
1～5の施策が効果があるとは思わずかといってほかに浮かばない、深刻な問題。	1
マスコミのスポーツに関する報道の禁止	1
むしろ格差が生じるのがスポーツなのでお金持ちに支えてもらうより仕方ないかと	1
スポーツ以前に経済格差がありすぎる	1



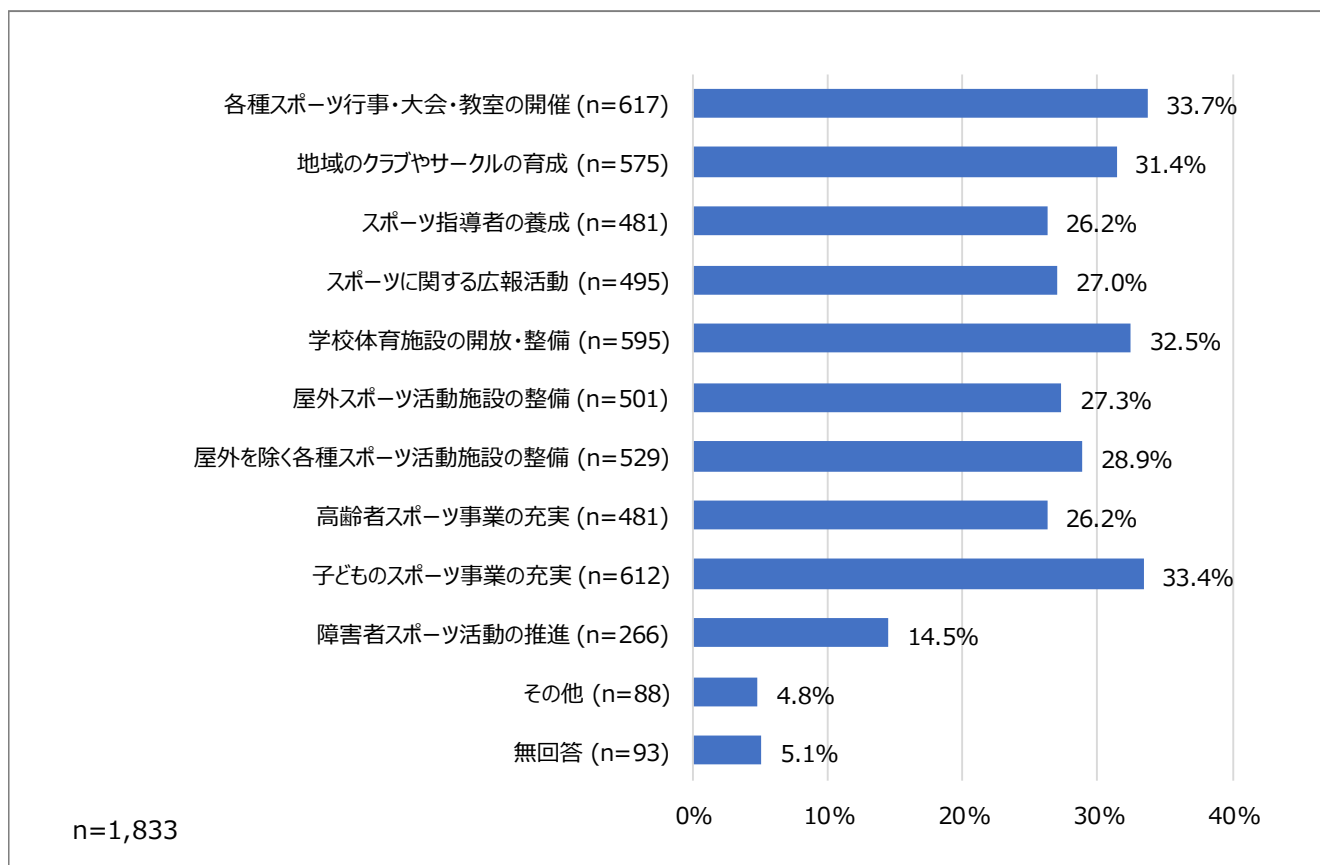
問 34 豊島区の運動やスポーツの振興を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(複数回答)

豊島区の運動やスポーツの振興を図るために必要なことについては、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が 33.7%、「子どものスポーツ事業の充実」が 33.4%、「学校体育施設の開放・整備」が 32.5%、「地域のクラブやサークルの育成」が 31.4%と続くが、「障害者スポーツ活動の推進」以外の回答はどれも 30%前後の近い数字となっており、どの施策とも必要だと認識されていると考えられる。

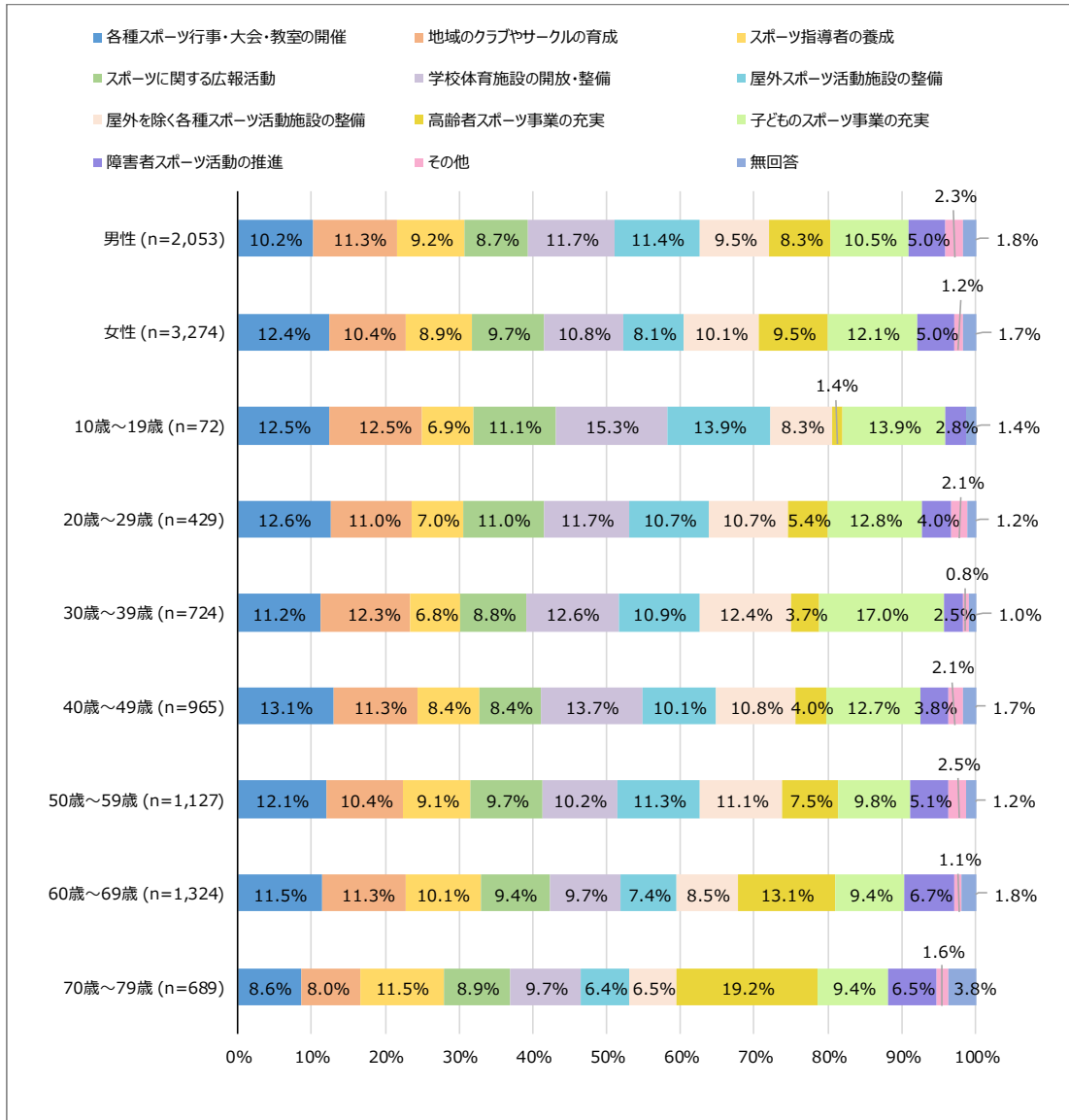
男女別では「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」「子どものスポーツ事業の充実」は女性の方が割合が高く、「屋外スポーツ活動施設の整備」は男性の方が割合が高くなっている。

年代別では「学校体育施設の開放」「スポーツ活動施設の整備」「子どものスポーツ事業の充実」は年齢の低い世代で割合が高い傾向があり、「高齢者スポーツ事業の充実」「障害者スポーツ活動の推進」では年齢の高い世代で割合が高い傾向がある。



【その他】

分類	内容	回答数
広報	SNSでの告知	1
	やたらと競争させるのではなく体を動かすことの楽しさを伝えること。	1
	とにかく興味を引いてもらうことだと思います。	1
	豊島区の情報（スポーツ以外でも）が分かるアプリがあると嬉しいです。	1
	年代別推奨スポーツの広報、健康長寿スポーツの充実	1
	施設やイベント会場への送迎手段の補助や説明	1
民間や他の行政との連携	プロチームの誘致または設立	2
	医療施設とタイアップし、健康増進への動機づけを図ると良いのではないのでしょうか。	1
	民間のスポーツ関連施設と連携で身近なものになること	1
	近隣区との連携	1
	行政と教育機関の連業、地区のイベントへのサポート	1
	豊島区には多くの大学があるのでスポーツで良い成績を残して貢献してくれると思う。	1
	スポーツ選手を呼ぶ	1
施設の整備	公園等で球技をできるようにしてほしい	4
	スポーツ施設の増加、トレーニングジムの増加等	3
	気軽に参加できるスポーツ施設	2
	サッカーグラウンドを増やしてほしい。	1
	使いやすいバスケのコートがたくさんあると良いです。	1
	公園や広場の充実	1
	公園に健康器具等を設置して	1
	既存の公園で子供が遊べるようにすること。大人や高齢者に偏っているように見えます。	1
	遊び場所や空地	1
	区立体育館が狭すぎるので民間へ移行した経緯がある。もっと充実させてほしい。	1
	区立でも室内プールがあると良いです。	1
	年齢別に使用できる施設、プールが欲しい。	1
	家の近くにあるように小規模施設を増やす。（ボルタリングできる小部屋など）	1
	公的体育館で個人での予約枠を設定してシニアでもコートが使えるようにしてほしい	1
	フルタイムの会社員が区のスポーツ施設を利用しやすいように、営業時間を21時までにしてほしい。	1
	ランニングやウォーキング後に仕事や用事に向かえる為の駅前シャワー室などの設備	1
	体育館を利用したいが遠くて大変。池ビズは近いので地下の体育施設をもっと活用してほしい。	1
	高齢者と乳幼児活動施設の一体化による運動能力向上の推進	1
	全種類は無理なので数種類のスポーツに絞って集中的に活動施設の整備と拡充を行っていく。	1
	1人でも使いやすい環境	1
「器」を充実させることが大切	1	
施設は作っても使われなければ無駄。不要。	1	
施設は十分にあるのでは？税金の無駄遣いにならないように。	1	
イベントなど	スポーツの無料体験	1
	有料での都内散策等	1
	レベルに合わせたスポーツ事業の充実	1
	健康促進の特化したパーソナルなサポートやサービス	1
	外国人が分かりやすく参加しやすいスポーツ開催	1
	区の体育館での講演の充実	1
	近くの区民センターで筋力体操をやっているがもう少しレベルをアップしてもらいたい。多少体力がある人は少し物足りないかと思う。無理な方はそのままでもいいと思う。できる範囲でお願いします。	1
経済的支援	経済的支援	1
	生活費の補助	1
	週1の無料券があれば嬉しいかもしないです。	1
子どもへの支援	一日中運動をして勉強は少しの時間という学校があってもいいと思う。	1
	義務教育の体育の授業での適切な指導、各競技の入り口としての役割※例、早く走るための正しいフォームやコツなどきちんとした技術を学べると運動が苦手な子供の意識も変わると思います。子どもが一人で、又は友達とだけでスポーツに取り組める環境作り	1
その他	分からない	4
	特になし	2
	スポーツをしない人に対する意識改革	1
	長年の認知活動にも影響するでしょうがスポーツ振興をうたう=予算、取り組みの実行、継続が大切かと。	1
	利権を生まない構図	1
	スポーツをしている人の見える化	1
	eスポーツについても積極的に取り組んでほしい。	1
	お金を使わないで、知恵を使う。	1
	行政として振興をリードする必要はない	1
	豊島区は頑張っていると思う	1
	集団の人間関係	1
	障害者なので自分から参加することは無理	1
	特になし、他区に比べて施設は充実してる方だと思う。	1
不要	1	
スポーツに興味がない	1	



問 35 最後に区のスポーツ施策に関してご意見やご希望がありましたら、ご自由にお書き下さい。(自由意見)

意見集約を以下に示す。

項目	内容	回答数
スポーツ施策全体について	高齢者向けなど特定の人々ばかりに偏らせず、幅広い世代や属性の人たち向けの施策や利用促進をしてほしい	12
	スポーツ施設やイベント会場への移動方法の整備（高齢者は移動が大変） イクバスのようなアクセス便があると良い	4
	区民が公共・民間のスポーツクラブの利用する際やスポーツ観戦をする際に利用できる補助（安価な回数券やクーポンなど）があると良い	4
	子どもへの施策に優先的にお金と手間をかけてほしい	3
	スポーツ施策の目的と目標を明確に	3
	プロチームの創設や誘致をしてほしい。①東京のプロチームは多摩地区を拠点にしていることが多く、観戦に行きづらい。②豊島区で育った子供が将来区を出ても、豊島区に足を運ぶきっかけになる。③スタジアムを作れば、アイドルコンサートなど豊島区の他の施策にも活用できる。	3
	子供たちへの公平なスポーツ機会の提供や、見込みある学生への援助に税金を有効活用してほしい	2
	スポーツの強制（無理やりな勧誘）はせず、各々のペースで出来れば良い	2
	経済的な理由でスポーツを始められなかったり諦めてしまわないように子供たちへの支援が必要	2
	豊島区を本拠点としたスポーツがあれば関心が高まると思う	2
	プロスポーツのスタジアムの建設でスポーツへの関心が高まり、周辺への経済的効果も見込めるのでは。	2
	老若男女がそれぞれの体力レベルに合ったスポーツを楽しめる施策を企画してほしい	1
	ファミリーばかりでなく独身の人も目を向けてほしい	1
	高齢者のために子供を追い出すことのないようにしてほしい	1
	子供たちの運動不足を解消する施策の検討をお願いしたい	1
	高齢者スポーツ事業の充実	1
	親の所得格差の子供への影響を縮小するような施策をしてほしい	1
	企業協力でのイベントを開催することで区、企業、区民三方にとって利益があるものとなるよう願っております。	1
	人気作品とのコラボをしてほしい（例：ちいかわ）	1
	他の自治体の成功事例を参考に、目に見えてわかる取り組みで皆を巻き込み意識喚起を行ってほしい	1
	区民がメリットを感じ利用しやすいと良い	1
	生涯スポーツを通じて健康でいられる期間（健康寿命）を延ばす人が少しでも増えるよう、より身近に感じられるような施策を期待	1
	家賃負担がスポーツへの経済的障害になっているので、家賃補助をしてほしい	1
	地域型総合スポーツクラブの育成とそのための活動拠点の確保が必要	1
	武道の強化	1
	豊島区のスポーツ関連のイメージの象徴が欲しい	1
	特定のスポーツに注力して豊島区をそのスポーツの聖地にする。世界中からトップアスリートが集まり、また関心を持った人たちがそのスポーツをやるきっかけにもなる	1
	体験格差解消のため、青少年へのスポーツ施策に公費を割り当てていくべき	1
	アニメコスプレとコラボしたスポーツがあれば豊島区らしいかもしれない	1
	プロスポーツの大会実施	1
	国際試合の誘致	1
	競技以外の体力がつくもの、たとえば写真を撮りながら歩いたり清掃活動したりも無名のスポーツとして考えてほしい。無名のスポーツに名前をつけて豊島区発症のスポーツとしてPRするのもいいかもしれない。	1
	一番は一人しかいない。そんな競争のスポーツに意味はない。区がやるべきは、体を動かすことを促すことでその喜びをもっと研究すべき。勝負は二の次三の次	1
池袋一極集中を避けて各町に人を集める施策をお願いします	1	
プロ野球観戦に行けるキャンペーン	1	
スポーツをやりたいけどできない人へのサポートが必要	1	
大きなeventの時だけ注目されるスポーツが多いので興味が持続可能になるようにしてほしい	1	
学校開放の国体登録に際し1種目のみしか名前登録ができないことに疑問を感じる。いろんな種目、団体に属してよいと思うがそれはその人の可能性であり参加者名簿にも名前を書けないと言われ不思議に思っている。本当にスポーツ課としてそのような指導をされているのか。また、学校によって対応の差がある。本来目的のスポーツ推進にならないのではないかと？	1	

項目	内容	回答数	
スポーツ施策全体について	全面的に区がスポーツ事業に支援する必要性を感じます。	1	
	遊び感覚で参加できれば運動不足の解消にもつながる。アイデアやユーマアが大切。	1	
	「スポーツ」より健康増進の面を重視して施策を行ってほしい	1	
	障害者スポーツの番組を民放でももっと取り扱えば興味が持てる	1	
	民間でできることは民間に任せ、行政は補助的な役割をすべき	1	
	スポーツが贅沢なものになっている。誰でも始めてみる機会があれば間口が広がる	1	
	全年代で運動不足を感じる	1	
	経済的支援は不要	1	
	ボランティアなどにも参加してみたい	1	
	豊島区は比較的施策が充実していると感じる	1	
	時間に余裕のある高齢者こそ体力の維持、自律した生活が継続できるよう、体を動かすような一人	1	
	運動が苦手な人も楽しみながらできるスポーツやゲームがあれば心身ともに少しづつ豊かになると思う。	1	
	スポーツを通して地域に関わりが持てるようになれば良いと思う	1	
	スポーツすることが特別な事でなくなると良いですね。	1	
区民がスポーツに興味を持たせるための施策が不足している	1		
区の広報について	情報発信の手段	広報が足りず情報が少ない。スポーツ施策や施設、イベント等の広報活動をもっと積極的に行ってほしい。(広報誌だけでなくHPやSNSの他、看板や張り紙等目につきやすい形で)	24
		情報を見つけやすく、投稿もしやすい場所があるとそれだけでも活気付くと思う。	1
		SNSを使った区報の運用方法だと広がりやすいのでは。	1
		区報などを郵送して情報を送ってほしい。	1
		受け身の人たちでも情報を得られるよう、誰の目にも留まる形での広報をしてほしい。	1
		スーパーマーケット等誰もが利用する施設に広報誌を置いて配布したり、情報を掲示してもらえると良い。	1
	発信してほしい情報の内容	スポーツ施設の場所や使用法を知らない。	4
		スポーツ施設のPR	4
		としま広報などで高齢者でも手軽に参加できる運動や体操、教室等の情報などであると良い。	3
		正確で見やすい最新情報発信。 (池袋スポーツセンターのHPの記事内容が誤っていた)	2
		区内のスポーツ施設の場所や使用条件(資格、費用、時間など)の一覧表があるとありがたい。	2
		マイナーなスポーツ(モトクロス、エンデューロ等)も新聞や会報で取り上げてほしい。広報しないと認知されない。	2
		スポーツの楽しさや健康への良さをしっかりアピールして意識改革を促すことが必要。	2
		体育館やグラウンドの所在地の地図が欲しい。	1
		施設や教室の申込方法が分からないので情報が欲しい。	1
		どこに問い合わせをすればいいかが分からない。	1
		施設の体験キャンペーンをやって施設をPRしては?	1
		スポーツ教室の情報の細やかな開示(新規の開設や閉鎖など)	1
		区内の食などのポイントを紹介する地図や写真を区のサイトにアップして、区民に散策してもらおうのはどうか。	1
		健康維持や増進につながる手軽なスポーツを広めることが大切	1
子どもが公園などで遊ぶことについて住民の理解を得られるよう情報発信してほしい。	1		
教育について	学校等で、子供たちに様々なスポーツを体験し興味を持ってもらえるような指導、教育をしてもらえるとありがたい	3	
	部活動の外部移行は素晴らしい。外部移行に伴って発生する業務が教師の負担にならないよう効率的な導入を。	2	
	各スポーツとも生徒を多く募り、裾野を広げたスポーツ教育を行ってほしい	1	
	学校教育の一環として、体育以外でもいろんなスポーツを知るきっかけづくりをしてほしい	1	
	安全のためなど理由のあるものを、全員一律を優先して禁止したりしない教育をお願いしたい	1	
	基本的な姿勢や立ち方、歩き方、体のほぐし方など「体の使い方」を指導してほしい。	1	
	貧困、経済格差のためスポーツが出来る余裕がない家庭のために学校でフォロー	1	
	若い世代が楽しく体を動かせるよう授業や部活が私たち世代といい意味で違う方向に変わってくれると良い	1	
	学校部活動の地域移行のスケジュールは知りませんでした。教育での過剰労働軽減のためには重要だと思いますので、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。	1	
	学校部活動の地域移行という取り組みがあることをこのアンケートで初めて知った	1	
	学校の水泳の授業も外部のスポーツクラブに委託したほうが良い	1	
	子どもの頃に密にスポーツに関われれば成人病予防など将来に向けての対策になると思う。	1	

項目	内容	回答数	
教育について	学校のクラブ活動に保護者が意見を言いつぎると教師が指導しづらいと思う	1	
	15歳以下の世代のスポーツ育成に課題があると思う。12歳以下までの成長を継続できるような育成環境の構築を望む	1	
	子どもたちにはいろんなスポーツを体験してもらって、自分に合ったスポーツを始めてほしい	1	
	体罰は中学の頃、今はないです	1	
	子供の中学でのスキー教室の時ヘルメットが禁止だった。安全上の理由があるものを一律性優先で禁止するのはいかかかなと思う。なお、スキーウェアも全員レンタル必須だったがゼッケンがあるのだからこれもいすぎだと思った。	1	
	幼少期にどのようにスポーツとかかわるかによってスポーツに対するイメージが定着すると思う。親しめるか否かが決まるのではないか？	1	
	適切で丁寧な指導を行える優れた人材の確保	4	
指導者について	学校部活動の地域移行に合わせた指導者の育成	3	
	指導者・インストラクターが辞める場合は後任の確保と引継ぎでプログラムが消えないようにしてほしい	2	
	子どものクラブチームの指導者のバワハラがひどかった、勝利主義になっていた	2	
	学外でスポーツを教えられよう人材が必要	1	
	地域移行は良い取り組みだと思うが、どの程度で指導者としてやっていけるかのOKを出すか難しいかと。ある一定の講習などが必要なのではと思います	1	
	退職した学校関係者の中には能力のある指導者が居るので、その方たちを活用すると良い	1	
	無料のスポーツ教室などの指導者は大学生でも十分。ボランティアではなくアルバイト料は払う。	1	
	環境や設備の充実だけでなく関わる人たちの資質も大切	1	
スポーツ施設について	スポーツ施設の整備	球技ができる場所が少ない、球技ができる公園やグラウンド、ボール広場などを増やしてほしい	29
		子どもたちが体を動かして遊べるスペースが少ない、子供たちが安全に思いっきり遊べる場所の整備	21
		区の施設が遠い・立地が悪い。家の近くや駅の近くなど利用しやすい場所にスポーツ施設が欲しい(カバー範囲の拡大)	17
		スポーツ施設数が少ない・増やしてほしい	14
		野外施設は季節や天候で利用できなくなるので、天候に左右されずに利用できる屋内施設をもっと増やしてほしい	7
		野外のグラウンド等が少ない、公園や屋外スポーツ活動施設等の整備の充実	6
		緑道公園などの、散歩やジョギングなど手軽に運動ができる場所が欲しい	6
		豊島体育館のような大きなスポーツ施設(体育館、グラウンド等)を増やしてほしい	4
		子育てしながらでも子供を連れていきスポーツをすることができる環境を作してほしい	3
		常連さんが独占したりせず、一人でも気軽に利用できるようにしてほしい(雑司ヶ谷のテニスコート等)	3
		ウォーキングやランニングがしやすいよう歩道の拡大やウォーキング・ランニングコースの整備	3
		自転車使用促進のためのインフラ整備、自転車道、自転車優先の歩行者天国	3
		民間のスポーツジムのように、街中駅近で短時間でも手軽に利用できる区のスポーツ施設があると嬉しい	3
		区の施設の規模が小さく、利用者数に対して狭いと感じる。	3
		年齢性別問わず運動しやすい公園が増えると良い	2
		代々木公園や駒沢公園のような、ランニングやウォーキングコースが整備され気軽に出かけて運動が楽しめるような大きな公園があれば周辺からも人が集まると思う。	2
		緑の多いスポーツ施設	2
		屋内で子供が気軽に体を動かせる場所が欲しい	2
		民間施設(ビル等)の屋上を区の屋外スポーツ活動施設として活用するなど施設数を増やす(フットサルなど)	2
		新たな施設などの整備はやめてほしい(建設費や維持費がかかる)	2
		老若男女誰もが利用しやすい施設に	1
		民間施設は充実しているが、経済的負担の少ない区の施設を充実させてほしい	1
		未就学児向けの遊具や遊び場が多く、小学生が親子で楽しめる屋外、屋内施設が欲しい	1
		未就学児と障害者向けの施設が足りない(プールが良い)	1
		忙しい中学生にスポーツの楽しさと集まれる場所を与えてほしい	1
		施設によっては年上の人たちが独自のルールで施設を私物化し利用しづらい場所がある。若者も積極的に使いやすい場所があると良い。	1
		本格的なスポーツ施設でなくても、ちょっと体を動かしたいときに気軽に使える施設がほしい	1
		スポーツ施設がアメリカに比べて貧弱すぎる	1
		多岐にわたるスポーツ設備は整備も管理も大変。施設の充実より安心してウォーキングやジョギング出来る場所の確保を優先してほしい	1
		自然の中で遊べたり過ごせる環境を作してほしい	1
		池袋駅西側にも緑のある公園や広場などの野外スペースを充実させてほしい	1
		一年中スポーツが出来る屋内施設が欲しい	1

項目	内容	回答数	
スポーツ施設について	スポーツ施設の整備	動物と一緒に運動ができる設備の増設	1
		自由に走れるトラックのあるグラウンドなど、気軽に使える施設を作ってほしい	1
		区の屋外施設が区外にあり遠くて不便。近場で屋外施設を整備してほしい	1
		区民広場は近くて便利	1
		近くにプレイパークがあり伸び伸びと楽しそうに体を動かしている子供がおりとても健康的に見える。	1
		西巢鴨体育館が取り壊されるのであれば代替施設が欲しい	1
		多岐にわたるスポーツ設備は整備も管理も大変。施設の充実より安心してウォーキングやジョギング	1
		スポーツ施設よりも基礎体力や運動の入り口として公園の整備や設備の充実を図ってほしい	1
		社会人も使える施設を増やしてほしい	1
		雑司が谷のプールのように予約不要の体育館があると良いと思う	1
		おむつの取れていない子供でも遊べる水場がほしい	1
		豊島区にない海や山、土地も少ないので、他の市町村と提携して施設を利用できるようにできないか	1
		新しい箱を作るよりたくさんある民間施設を活用し、行政からは金額補助や健康管理プログラム提供などの支援をしてほしい	1
		土地が高いため無理なスポーツ設備の整備は不要（大人はやりたければ遠出してスポーツを楽しめる。	1
		使用制限がある施設もあり、競技力向上が思うようにでない	1
		真夏どうするか、暑すぎて部屋にこもると思うので区民ひろばを広めに作るとか	1
		具体的な施設の種類の	テニスコートが少ない・増やしてほしい（夜間照明付きの施設もあると良い）（土日の予約が取れない）
	プール施設が不足している。プールを増やしてほしい。		7
	卓球やバドミントン		3
	バスケットボールができる施設		2
	一人でできる屋外バスケットやテニス壁打ち練習などが出来る施設		1
	公共のトレーニングジム		1
	高齢者が楽しめるジム		1
	ボルダリング、ヨガ、ストレッチ等一人でできる運動を仕事の後に行えるような場所		1
	卓球などゆっくりゆったり出来るスポーツの施設		1
	野球		1
	インドアテニスコート		1
	西巢鴨のテニスコートを残してほしい		1
	豊島区民テニス場は区民への開放がないので困っている		1
	ゴルフの練習場		1
	スポーツクライミング、スケートボード		1
	風呂付の室内プール		1
	50mプール		1
	大塚周辺にプールのある区の施設が出来たらうれしい		1
	豊島体育館のような、場所もいいし広いのにプールのない体育館があるがもったいない		1
	スケボーやBMXといった新しいスポーツを体験できる環境が欲しい		1
	高齢者も参加できるEsports施設	1	
	施設活用方法の拡大	学校のプールや体育館、グラウンドが関係者以外にも使えるようになると良い。（特に長期休暇中の開放や民間スポーツ教室への貸し出しなど）	14
		廃校跡地のグラウンドやプールをスポーツ施設として活用してほしい。	3
		自由に使える施設が少ない、個人でも自由に使える体育館等があると良い。	3
		公園に屋根や日影になるものが欲しい。夏は暑くて外で遊べない。	3
		夏場は暑いので学校の体育館を開放してスポーツの習い事を出来るようにしてほしい。	2
		学校部活動の地域移行に合わせた学校の利用方法の枠の拡大。	1
		学校体育施設の開放は防犯上不安	1
		屋外プールを使用させてほしい。	1
	学校以外にも家の近くの一室に運動設備を置くなどして近くで手軽に利用できると良い。	1	
	施設内の設備の改善	古い設備の最新化、劣化の改善 （豊島体育館の器具やジムの老朽化、施設のベンチが危険、清潔感がない、雑司ヶ谷体育館）	9
衛生管理を徹底して施設を清潔にほしい（感染症対策、シャワーのカビやトイレのにおい）		4	
プールは女性や子供が使いやすいよう水深を分けたり更衣室を作ってほしい（犯罪抑止、トラブル軽減）		3	
体育館の換気・空調設備を整えてほしい（雑司ヶ谷体育館、夏場エアコンが効かず暑い）		3	
近接区と連携して、近くのスポーツセンターをできるようにしてほしい。		2	
公園に大人が利用できるような、例えばぶら下がり鉄棒やウエストを細くできるような器具など体力強化できるような設備があれば良い		2	
新しい公園などを作るのが難しいなら今ある公園にスポーツ設備を整備すると良い	2		

項目	内容	回答数
スポーツ施設について	スポーツの後に飲食できるといい	2
	スポーツ施設や近隣で託児所があるとありがたい	2
	施設のバリアフリー化（年齢や障害に関係なく使いやすい施設）	2
	公園に鉄棒、雲梯を必ず設置するようにしてほしい	1
	小さな公園でも高齢者が簡単に運動ができる器具などがあると良い	1
	公園外周にやわらかい地面のジョギングロードが欲しい。都電沿いにもあると豊島区らしくていいのでは。	1
	要町の暗渠がウォーキング利用に最適だが、老朽化が気になる。簡単な体操器具やベンチを設置して利用しやすくしてほしい	1
	親子一緒に入れる更衣室があると良い	1
	スポーツ後にシャワーを使えると良い	1
	シャワーを利用する際、ソープ使用も認めてほしい。	1
	巣鴨体育館のベンチプレスを復活させてほしい	1
	南長崎スポーツセンターのジムの競技場に面した窓ガラスにロールカーテンやブラインドで目隠しをしてほしい	1
	南長崎スポーツセンターの飲食スペースを増やしてほしい	1
	体育館の天井の高さを高くしてほしい	1
	整備の進んでいる公園に自由に使えるスポーツ用品の設置	1
	学校のプールを屋内化してほしい	1
	区民プールでは幼児プールでのおむつ着用を許可してほしい	1
	区民プールでスマートウォッチを利用できるようにしてほしい（他区では飛散防止カバーを付けていれば使える）	1
	豊島体育館のトレーニングルームがもったいない、もっと充実させてほしい。そのためにも有料でのパーソナルトレーナーを配備してほしい	1
	区のスポーツ施設での、マンツーマンインストラクターコースがあると良い	1
	スポーツ施設でのマシンの使い方がわからないが、質問しにくいので使い方見本を動画で流してほしい	1
	スポーツ施設でのマシンに不慣れな人に向けてのインストラクターがいてくれると良い	1
	各々が目的に応じて、安心安全に行えるように施設の整備と指導者が更に身近な存在であつたら嬉しく思う	1
	豊島区スポーツセンターの筋トレマシンの種目のバランスが悪い。足トレのマシンを増やしてほしい。	1
	気軽に使えるマシンなど増やしてほしい	1
	設備、施設的环境向上のため、定期的なメンテナンスをお願いします（総合体育場の野球場において、グラウンドの赤土が足りてない）	1
	公園への足つば、ホットヨガ設備の設置	1
	公園等空き缶のポイ捨てなどがあり汚い	1
	ゴルフ練習場が1Fにあると良い	1
	売店など、スポーツ利用以外の目的で気軽に利用できる施設を併設すれば、スポーツとの距離を縮め興味を持ってもらいやすくなるのでは	1
	ナイター設備を充実させて夜間開放出来るようにしてほしい	1
	総合グラウンドの設備の件、樹木の剪定・雑草の駆除・人工芝の手入れ、駐輪場・駐車場の拡大	1
	巣鴨体育館を利用したいが駐車場がないのが不便	1
	池袋スポーツセンターを利用してみたいが、なんか建物が暗い感じで（節電のため？）なんとなく申込みがひける	1
	雑司が谷体育館も区民が低価格で多様なクラスを設け、使用可能な時間帯にも幅を持たせて利用できるような見直ししてほしい。トレーニングマシンの導入もお願いします	1
	区内の公園はきれいだった	1
	巣鴨体育館、リフォームして近代的になり親しみやすくなった	1
	豊島区の公園は防災や見た目を重視しすぎていて運動能力を向上させられるような遊具や設備が不足していると思う	1
	ジムなど台数が少ないので待つ時間が長い	1
	施設利用の無料化や利用料金の低減、民間のジムなどを利用する際の補助や割引などで負担なく利用できるようにしてほしい。	28
	区立のわりに利用料金が安い。	3
	施設の利用頻度に波があるので月額制ではなく1回あたりの料金設定で気軽に使えると良い。	3
	フィットネスクラブや施設を無料で体験できる優待券があると嬉しい。	1

項目	内容	回答数	
スポーツ施設について	施設の利用料金について	区内のどのスポーツ施設でも利用できる共通定期券月額3~4000円くらいで使い放題だと利用しやすい。	1
		2時間400円等料金を設定することで混雑しすぎないのでは。	1
		区のトレッドミルは時間制限があり使わなくなった。料金を上げるか年齢別の料金制度にしても良いのでは。	1
		豊島区立池袋スポーツセンターは民間スポーツクラブのような感じで、利用料は割安でありがたい。	1
		利用しやすい値段なら利用したい	1
		豊島区は無料で広場などでスポーツが出来るのは良いと思う。	1
		スポーツをやることでポイントがたまりそのポイントで何らかの利益が得られると良い	1
	施設の利用時間に関して	仕事前や仕事帰りに利用できるよう、利用時間を早朝や夜遅くまで拡大してほしい	11
		区民が優先して使えるようにしてほしい	3
		落合南長崎のスポーツセンターの朝活を復活させてほしい	2
		節電は日中の照明を減らすなどで対応できるのでは。	2
		公園は年齢や運動能力別の層に分けて場所や時間帯を指定して使えるようにすると良いのでは	2
		24時間利用可能な民間ジム施設が利用しやすいので、区民が安く利用出来る提携割引等があると嬉しい	1
		ひろばの利用が昼は無料なのに夜は有料なので、夜も無料にしてほしい	1
	施設や教室の予約	豊島体育館の中学生以上の利用時間が13:00-15:00で長期休み以外は中学生が利用できないので改善してほしい。	1
		スポーツ施設の予約が団体でしか取れないのがとても不便なので、個人で予約を取れるようにしてほしい	7
		利用手続きの方法を簡単にわかりやすくしてほしい。	5
		予約が大変、キャンセル待ちや抽選待ちでなかなか利用できない	3
		屋内スポーツ施設は常連利用者が組織的に予約をしたり、スペースを占拠したりするなど、少数の新規利用者が利用しにくい状況を作っていると感じる。税金による公共の施設であるならば、公平に誰でも利用できるようにルールを決めたり、予約の仕組みを見直してほしい	2
		施設予約、運営体制を一元化してほしい	1
		施設の予約期間を見直してほしい	1
		予約方法がよくわからないのでweb等で簡単に予約できるようにしてほしい。	1
		次回の予約日を記録してもらえると嬉しい	1
		施設が混雑している場合、同じ人ばかりが利用しないよう新規の利用者が使いやすくなる調整をしてほしい	1
		テニスコートの登録者が多くカードが作れない	1
		体育施設共通カードについて、作成した施設だけでなく、どの施設でもチャージできるようにしてほしい	1
	その他	南長崎スポーツセンター、区の境界近くの為豊島区外の利用者が多い。区民優先の教室もあるが、時間によっては区民も区外も同時に整理券を配布するので、遠くの豊島区民より近隣の区外の人整理券をもらいやすくなっている。	1
		時間に関係なく区民が優先的に利用できるようにしてほしい。	1
		個人でコートを確保するには毎月21日の9:00にサイトにアクセスする必要があるがなかなかつながらずに結局予約できない。この21日9:00の争奪戦は区内在住・在勤と区外が一斉スタートだが、せめて区民は少し早くアクセスさせてほしい。他区の人が利益目的で利用しているケースも散見し納得できない	1
		区内の施設が少なく、学校開放もなかなか取れないので場所の確保が難しい。他の区や都の施設を利用しているが利用料や移動費用が負担になっている	3
		子どもたちが公園など外で遊んでいる姿を見なくなった。	3
		区の体育館を利用するには多様性が欲しい。ご近所に利用している人がほとんどいない。	1
		初めてでも事前に施設の利用方法が分かるような事前説明をHPなどで見られると良い	1
		同じ時間の利用者に話しかけられるのが苦手なので1面ごとに利用出来ると嬉しい	1
		すでに以前から参加している人で輪ができていたので入りづらい	1
		いつも同じ人が利用している	1
大きな施設はいくら立派になっても近所の人にしかメリットがないので、もっと身近な公園などの改善を優先すべき		1	
施設の整備より簡単なトレーニング等体を動かす大切さを教えることが重要	1		
区の施設の使い方等がよくわからないので利用しづらい	1		
東京体育館は都度利用ができるフィットネスやジムがあり、高齢者も自身に合わせた参加が可能で、みんなが健康促進に活用できる良い施設	1		

項目	内容	回答数
イベントや教室について	子ども大人も高齢者も楽しめるイベントや企画があると良い	10
	親子で一緒に楽しめるイベントや教室が欲しい	6
	一人や初めてでも下手でも気軽に参加できるものがあるといい	5
	スポーツはやりたいがやり方が分からない、という人は多いと思う。初心者でも気軽に参加できるような教室や無料体験会があると良い（広報含む）	5
	常連さんが独占するのではなく、様々な人が参加しやすいような工夫が欲しい	5
	子供向けスポーツ教室の無償化や低料金化	4
	場所と講師が居れば開催しやすく、参加するのにも特に道具などがいらぬストレッチ、ヨガなどの教室をもっと実施してほしい	4
	既存の公園を活用した、気軽に参加できるイベントがあると良い。ダンスや体操、筋トレ、卓球など手軽な運動を行ってほしい	4
	平日昼間は学校や仕事があり参加できないため、平日の夕方以降夜間や土日祝に利用できるスポーツ教室を多く用意してほしい	4
	自宅でも手軽にできるストレッチ、ヨガ、体操などをオンラインで配信	4
	遠すぎると行くのが大変なので、近所の身近な場所で開催してほしい	3
	高齢者が参加しやすいイベントや教室を充実させてほしい	3
	各種スポーツのレベル別の教室を開催して欲しい	3
	各町内毎に毎朝公園でラジオ体操を行うのはいかがでしょうか	3
	参加しやすいものがあれば参加したい	3
	子ども、高齢者以外のスポーツ教室の開催	2
	ソフトテニスサークルがあると嬉しい	2
	人気のある講座はいつも満員なので回数を増やしてほしい	2
	教室の利用料金が高いので安くしてほしい	2
	同世代と関われるスポーツのイベントがあると嬉しい	2
	ダイエットのアドバイスを受け健康を意識できるチャンスがあればうれしい	2
	パブリックビューイングを開催してほしい	2
	すでに以前から参加している人で輪ができていますので入りづらい	2
	子供向けに年齢別で色々なスポーツ教室があったらいい	1
	スポーツが苦手な子供でも楽しく学び自信をつけられるような教室を充実させてほしい	1
	無料保育の間に、スポーツができるイベントなどがあればうれしい	1
	子育てしながらでも参加できる教室やイベントが欲しい	1
	子供向けのクラブやサークルを充実させてほしい	1
	特定のクラブチームではなく子供たちがもっと気軽に自由に参加できるスポーツ教室イベントを増やしてほしい	1
	大人でもふらっと参加できるようなイベント	1
	誰もが知っている場所で開催してほしい	1
	近隣民間施設とのコラボイベントや、民間施設の指導者を公共施設にも招いて指導してもらおうのどうか	1
	夏は暑いので屋内で体を動かせると嬉しい	1
	スポーツ選手向けのリンパマッサージの教室がない	1
	巣鴨体育館での水中ウォーキングの教室（経験者）	1
	子どもの相撲教室がほしい	1
	子どもの体操教室がほしい	1
	子供向けのプール教室がほしい	1
	子供向けのフラッグフットボール教室の開催	1
	65歳以上の体操教室に参加しているが男性の参加者が少ない	1
	区のフリーダイビングを安く高齢者向けに	1
	子どものクラブチームに子供たちが集まらない	1
日本の伝統的な武道に気軽にチャレンジできるような場を充実させて欲しい	1	
区立小学校で優秀な先生をお招きしてリーズナブルなレッスン料でヨガやストレッチなど指導していただきたい	1	
社会人向けにボクシングなどストレス発散になるスポーツが気軽にできると良い	1	
区内を探検しながら、各所のポイントをウォーキングやジョギングやマラソン、サイクリングでゲットするイベント	1	
ウォーキングイベントの開催を希望	1	

項目	内容	回答数
イベントや教室について	目白ロードレース以外の大規模なマラソン大会があると良い	1
	屋内で子供が体を動かせる機会が欲しい	1
	60歳以上で構成する野球チームのことを知りたい、できれば参加したい。	1
	サークル、団体が公表されていないせいかわかりづらい	1
	サークルなどのチラシは見るが飛び込むには勇気が必要。もっとオープンにたくさんの人が参加できるようにしてほしい	1
	スポーツ教室を少人数化、回数を増やしているんな時間帯で多く行ってほしい	1
	専門家の意見や参加がると楽しそう	1
	公園などで予約不要で年齢性別問わず参加できるスポーツイベントを開催してほしい	1
	他の区と対抗でのスポーツ大会をやってはどうか	1
	大会もレベル分けて参加のハードルを下げる	1
	競技性のないスポーツを楽しめる場がほしい	1
	障害者の方とコミュニケーションが取れるスポーツ交流の場があると良い（特別な機会ではなく、日常的な交流）	1
	高齢者も安心して参加できるスポーツの町対抗戦の普及を望む	1
	実際にあるのかもしれませんが、専門家監修による家庭内で行える簡単な体操の冊子を無料配布してほしい。（きっかけになる、時を選ばず実行できる、絵図がありわかりやすい、スマートフォン版・動画もある。記録ができる）	1
	盆踊りをスポーツととらえてそこから始めてみては？今でもすでにあちこちの地域で年齢、性別関係なく参加者も多い。新しいスポーツ教室でお金をかけるのは今の時代違う気がするので、盆踊りを広げてほしい。みんなが笑顔になれる。「駒込おんど」は今も学校で教えているのでしょうか？地域ならではの踊りがあると愛着もわくのでは？	1
	水泳大会やプールでのイベントの充実	1
	ロードバイクに関する大会イベントを開催してほしい	1
	パラスポーツの体験ができる機会があると良い。パラリンピック後はほとんどなかった。	1
	服装制限を設けないでほしい	1
	プログラムが先着順なのでもっと公平に参加できるようにしてほしい。	1
	豊島区のゴルフ競技大会がいつも水曜日なので参加できない。年2回あるのだから1回は曜日を変えてほしい	1
	既存のイベントに参加しやすいようにサポートするべき	1
	スポーツ大会に有名人を呼んでほしい。一緒にスポーツをしたい	1
	プロスポーツ選手を招いた体験会をやしてほしい	1
	有名選手を指導者として呼ぶイベントでは撮影会・握手会ようになっており、またあまり指導者としては指導が上手くなかったため、有名選手でなくても良いのでは？と感じた	1
	ダイエット効果のあるスポーツをしたい	1
	以前にスポーツ教室を利用して、また利用してみたい	1
	もっと気軽に子供にスポーツに触れさせてあげたい	1
	イベントだと気後れして参加しづらい	1
	区の会報に載っているがあまり参加したいと思わない	1
	民間の子供向けスポーツ教室を利用しているが、料金が高く経済的に不安	1
	子供向けのイベントは人気ですぐに埋まってしまう	1
	自分んに合ったレベルの社会人クラブチームを探すのが難しい	1
豊島区キッズチアサークル「清和サンシャイン」では今も指導者による子供および保護者へのパワハラが行われています	1	
子どものクラブチームでの試合会場への移動費など経済的負担が大きい	1	
総合体育場でのテニスイベントが無くなった	1	
参加できそうなプログラムがなくあきらめた	1	
利用者への対応やサポート	区の施設利用者のマナーが悪い。団体で通行の妨げになったり夜間の騒音等、常連客内での不必要なルールを他の客にも強要するなど。注意するスタッフも常駐していない。	5
	区のスポーツ施設のスタッフの私語や不親切な説明・注意など、スタッフの態度が悪いので改善してほしい。	3
	マシンに座っているだけや休憩やスマホで長時間占領している人がいるので、インストラクターが注意してほしい。	2
	より親切的な障害者への対応	1
	介護者への件線的なサポートが欲しい	1

項目	内容	回答数
利用者への対応やサポート	参加手続きの煩雑さやお役所的な対応を減らし、気楽に参加できるようにしてほしい	1
	校庭開放の利用者のマナー改善。サッカークラブがグラウンド整備をしておらずほかのスポーツのけがの原因になっている。	1
	ユニフォームなどの無料レンタル化してほしい	1
	プールでの子供用の時間割を作してほしい	1
	まだ使えるスポーツ用品をうまく再利用して、子供たちが気軽にいろんなスポーツに触れる助けにほしい	1
	関心のある活動を検索する際にキーワード一つでさまざまに展開して速やかに実施現場にアクセスできるシステムが欲しい。情報へ行きつくまでに手間がかかりすぎると意欲も消えていく。新たに参加しやすいルートが欲しい。	1
	区の検診時にリハビリのような運動の指導をしてもらえるとありがたい。	1
その他意見やコメント	税金の無駄遣い、増税はしてほしくない、スポーツに税金を投入しないでほしい	4
	健康寿命や体力向上、メンタルヘルスの維持のためスポーツは重要	2
	子どもの体力低下が心配	2
	治安をよくして安心して外で遊んだりできる住環境を整えてほしい	2
	少数派の意見も取り入れてほしい	1
	スポーツ以外でも心身の向上に向けた取り組みを行ってほしい	1
	文京区の方がすべての区民にかかる活動が充実している。区民の生活の安定充実福祉を一番に考えてほしい	1
	経済格差に関して、単純な補助金の給付ではなく、もっと建設的な施策を行ってほしい	1
	スポーツ振興より根本的な生活レベルの向上に予算を使ってほしい	1
	スポーツより、ほかの区より遅れている音楽施設の拡充を	1
	スポーツ大会などの開会式等での来賓挨拶の廃止	1
	スポーツより豊島区として子供に関するお金をかけてほしい	1
	強制的な雰囲気にはしないでほしい	1
	まず土地も遊ばせることが必要では？この社会は遊んでいない。不可能となりつつあると思います。	1
	クラブに所属などしていない子供がスポーツを体を動かす遊びをする環境が少なく、その習慣がないまま成長してしまうのが問題	1
	子どもがいると、なかなか大人メインのスポーツができない	1
	知り合いがいなくてなかなか始められないと思う	1
	スポーツを始めるにはお金がかかる。この問題を解決することが先決、スポーツどころではない。	1
	持病がありスポーツができない	1
	わざわざ運動しようとするハードルが上がってしまう	1
	朝通勤時に歩いたりしたいが汗をたくさんかいた後に人に会うのをためらってしまい運動ができない	1
	仕事家事育児で自身がスポーツをしたり観戦したりする余裕がなく、また子供にスポーツを習わせる時間的経済的余裕がない。スポーツに対するイメージもよくない。	1
	物価高。貧困世帯の増加、あるいは中間層の減少により昭和末期に比べてスポーツに取り込む余裕、積極的に楽しもうという意識の低下を感じる。特に児童・青少年は二極化。よくスポーツに親しむ層とそうでない者。将来の健康増進・社会保障費抑制の観点からも回遊的な層を楽しくどう取り組んでもらうかが焦点だと思う。	1
	コロナで長い間閉じこもっていた方々が何をするか自分自身で決められないと思う	1
	スポーツが好きではない理由に、体育会系の上下関係の気持ち悪さがある。	1
	なんでこんなにスポーツやらせたいのですか？老後のために軽い筋トレができる場などのほうが個人的には必要なのですが・・・	1
	性犯罪の起こりにくい環境を皆で作りたい	1
	金銭的問題が何をしても発生するだろうから必ず予算的な面の確定が必要ではないか	1
	健全な精神は健全な肉体に宿る	1
	全体的な生活の底上げが必要だと考えることが増えた	1
スポーツを通じて身体的にも精神的にも健やかに保つことができるよう振興を願っています。	1	
スポーツを通して豊島区民は精神的、体力ともに生き生き街が明るく活気あふれる豊島区でありたい	1	
「健康を維持、増進するため」のスポーツは楽しくない。楽しいスポーツが結果として健康につながるのなら良いが。	1	

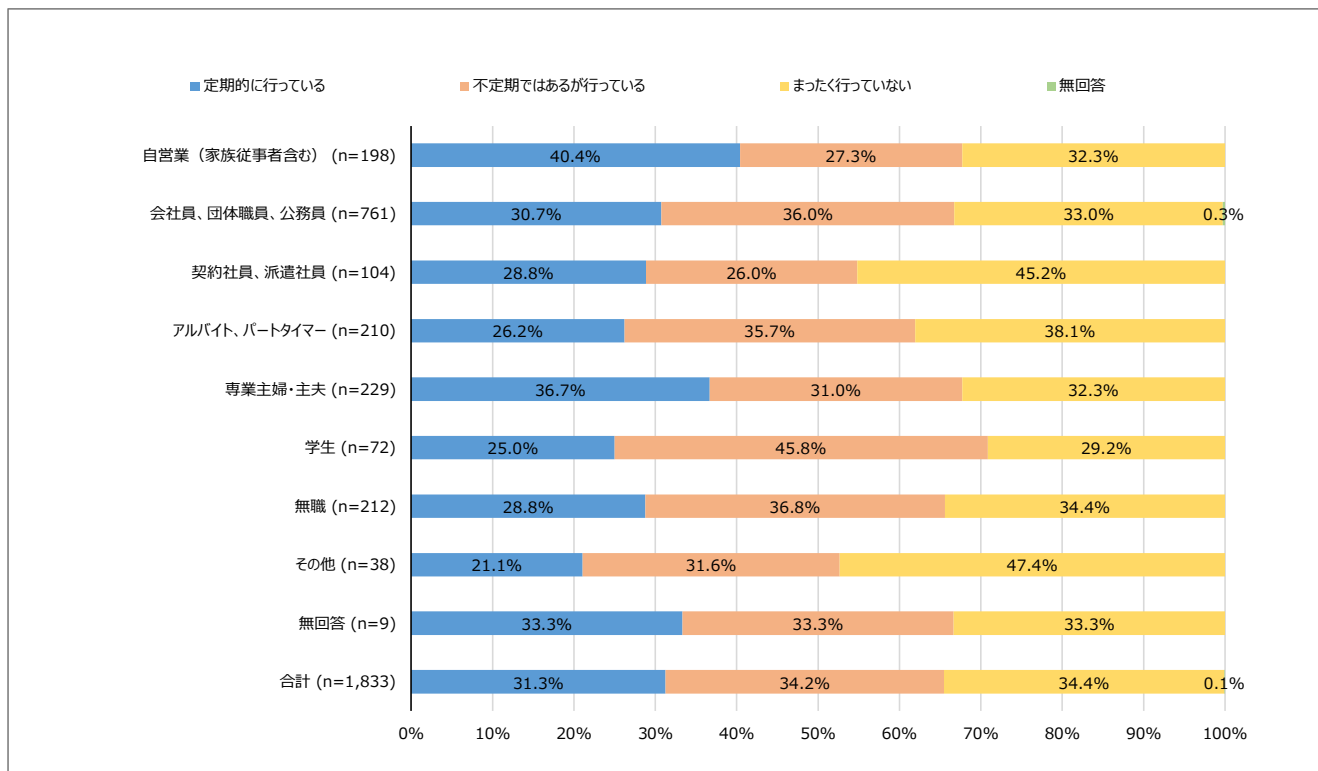
項目	内容	回答数
その他意見やコメント	全体的によくわかっていないので意見を言うことはできない。利用しようと思う人だけが積極的に理解しようとしてしまうのは仕方がない。ではどうしたらスポーツの輪が広がるのか？挨拶から始まる地域の活性化が一人一人に生じるようにしたい。	1
	前区長の長きにわたった「文化芸術創造都市」政策のため他のことがおざなりにされた。特に福祉やインフラ設備はおざなりの極み。新区長にはこれらの政策を改め誰でも身近に体を動かせる公園の設備に力を入れてほしい。	1
	SDGs未来都市というバカげた汚名は返上し本当に区民国民のためになる施策を進めて欲しい。スポーツ推進は素晴らしいですがその根本となる区の考え方がSDGs賛成、オリンピック万歳ではだめでしょう。新区長には冷静な視点を持った政治を望む。	1
	池袋にヨドバシが出来てバイト先の西武が無くなると唯一の運動機会がなくなる	1
	中央区の行政と比べると人数、広さ、充実さが明らかに違う。もっと真剣に区民のことを考えていただきたい。	1
	アンケートはweb上で行うなどデジタル化した方が良い。	10
アンケートについて	このような意識調査があるのは良い。	2
	アンケートを取ったという形だけではなく活かしていただきたい。	2
	質問の意図が分からない設問があった。(学校部活動など唐突)	1
	スポーツ観戦にはテレビやニュースも含むのかわからなかった。	1
	こういうアンケートはもっと多数から意見を募るべき。	1
	返信用封筒が小さくこの原稿を入れるのが困難だった。	1
	紙のアンケートは回答者が偏るので結果に疑問が残る。	1
	区のスポーツ推進は何を目的としているのか、冒頭でその説明があればアンケートの主旨も理解でき、後半のアンケートの質問ももっと解答しやすかった。	1
	協力者には何かの対価があってもいいと思う。	1

2.3 クロス集計

クロス集計結果を示す。

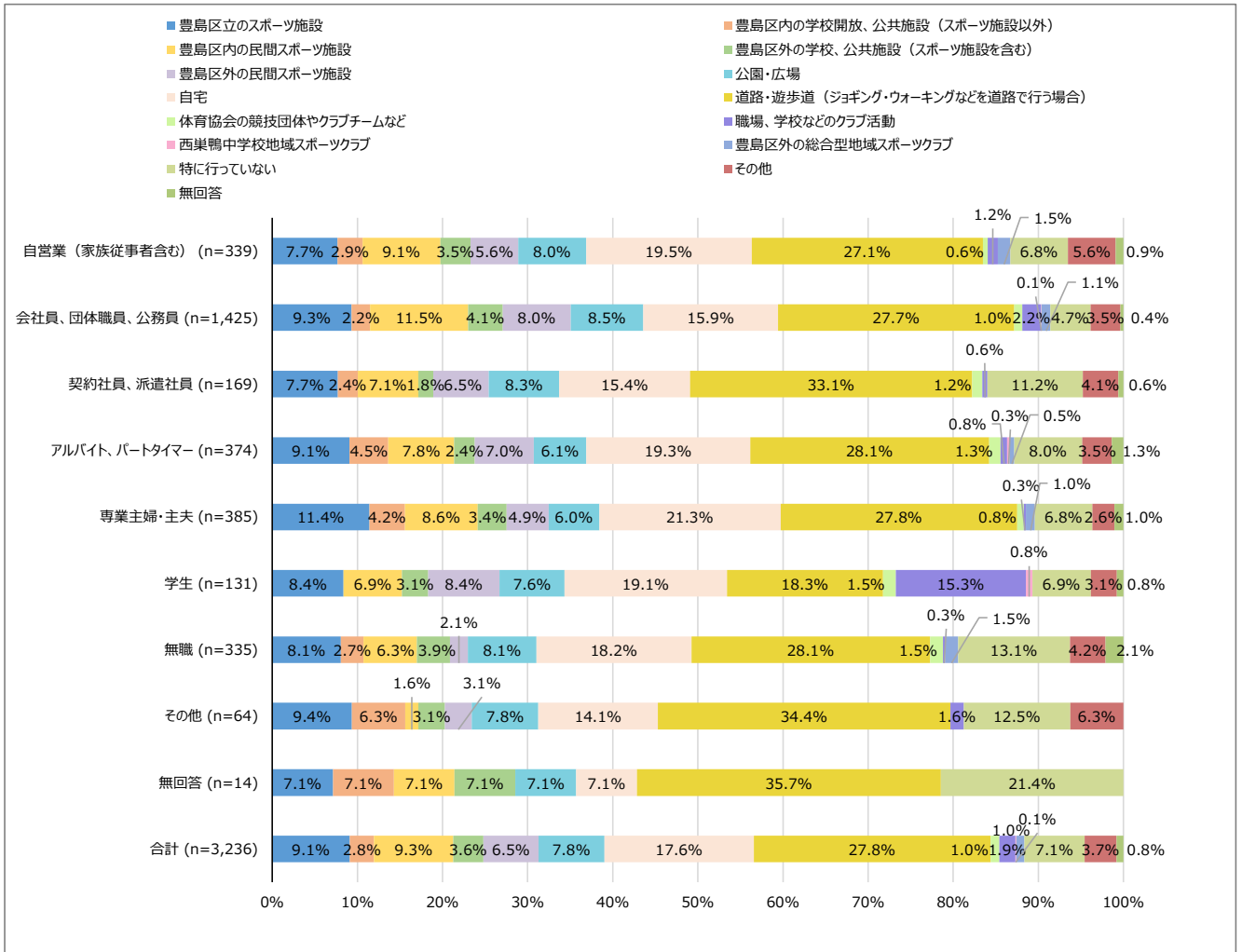
【問3 職業×問10 運動実施状況】

職業別では「学生」が運動を定期的に行っている者が最も少なく、次いで、「アルバイト・パートタイマー」、「契約社員、派遣社員」が続いている。「学生」は不定期とはいえ運動の機会も多いことから、「アルバイト、パートタイマー」、「契約社員、派遣社員」の運動実施状況が低いといえるだろう。



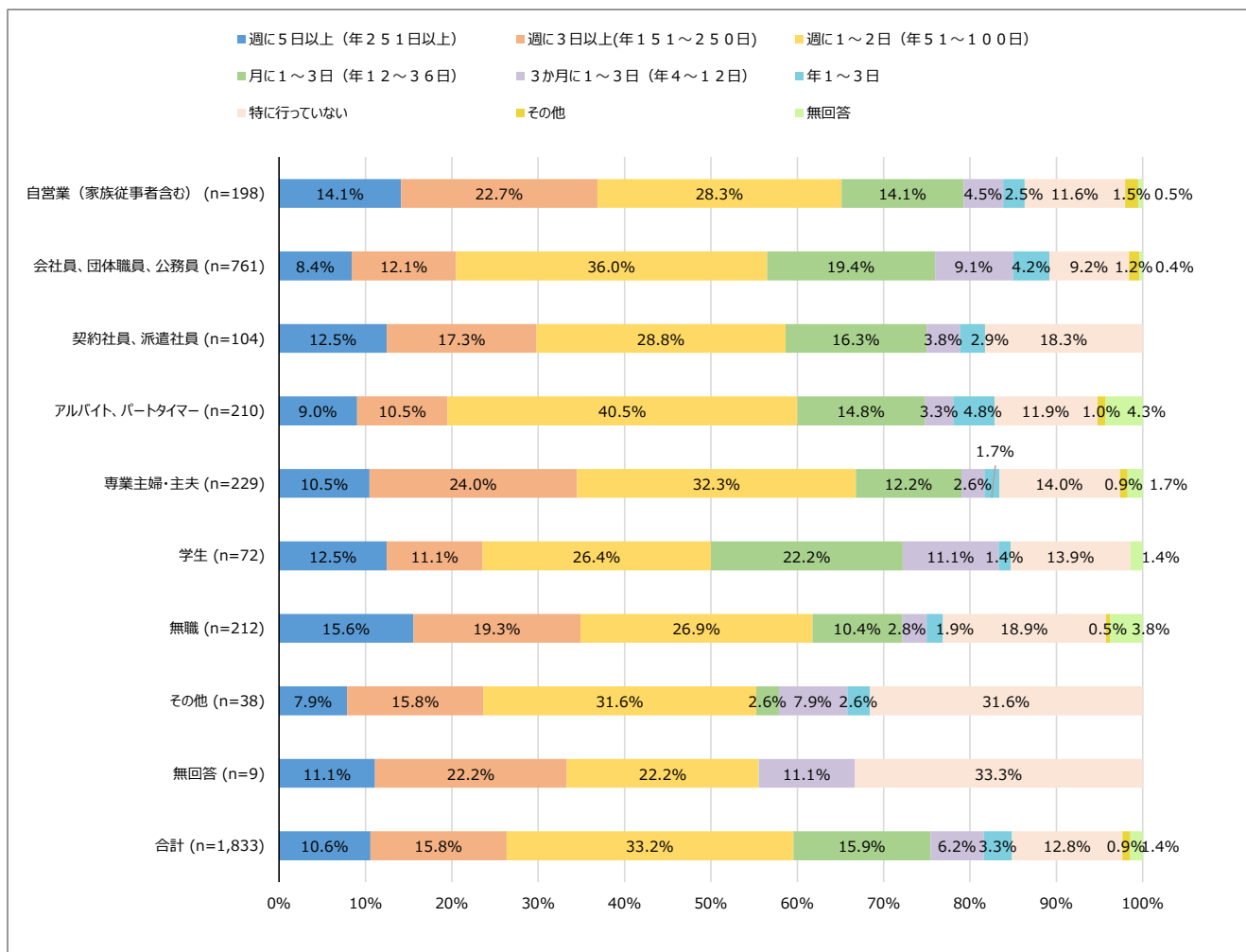
【問3 職業×問15 どこで運動を行っているか】

運動実施場所で最も多いのは「学生」を除いたすべての職業においてジョギングやウォーキングを「道路や遊歩道」で行う場合であった。「学生」は「自宅」が多い。また、どのような職業においても、区内外のスポーツ施設や公共施設を使う者が3割から4割程度存在し、幅広い職業の方が施設を利用している。



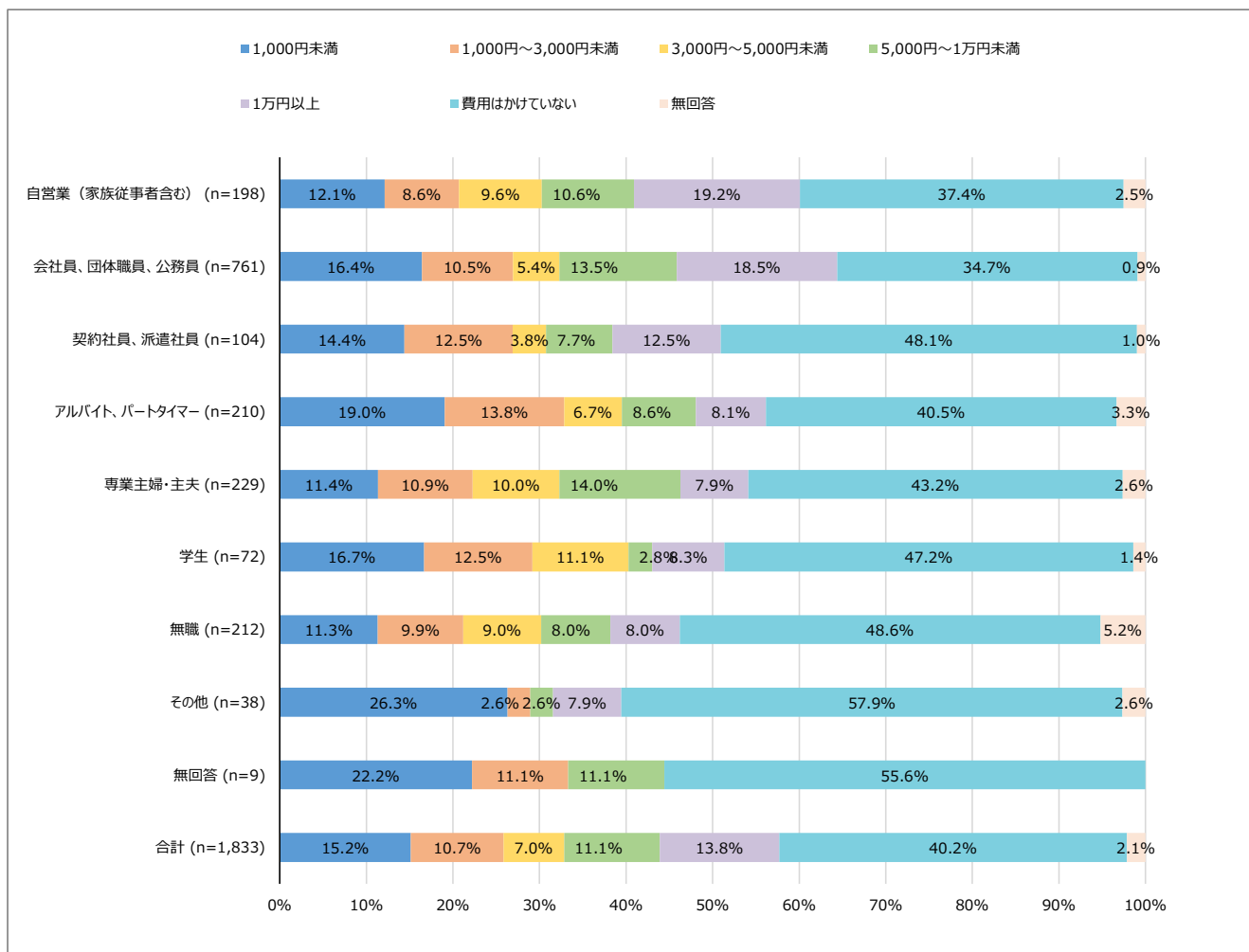
【問3 職業×問18 どれくらいの頻度で行っているか】

どのような職業においても毎日のように運動している方から特に行っていない方までいることが分かる。「その他」、「無回答」を除いたすべての職業において、運動頻度が「年4~12日以下」の方が2割以上を締めており、こういった職業においても運動不足が一定割合いることがうかがえる。



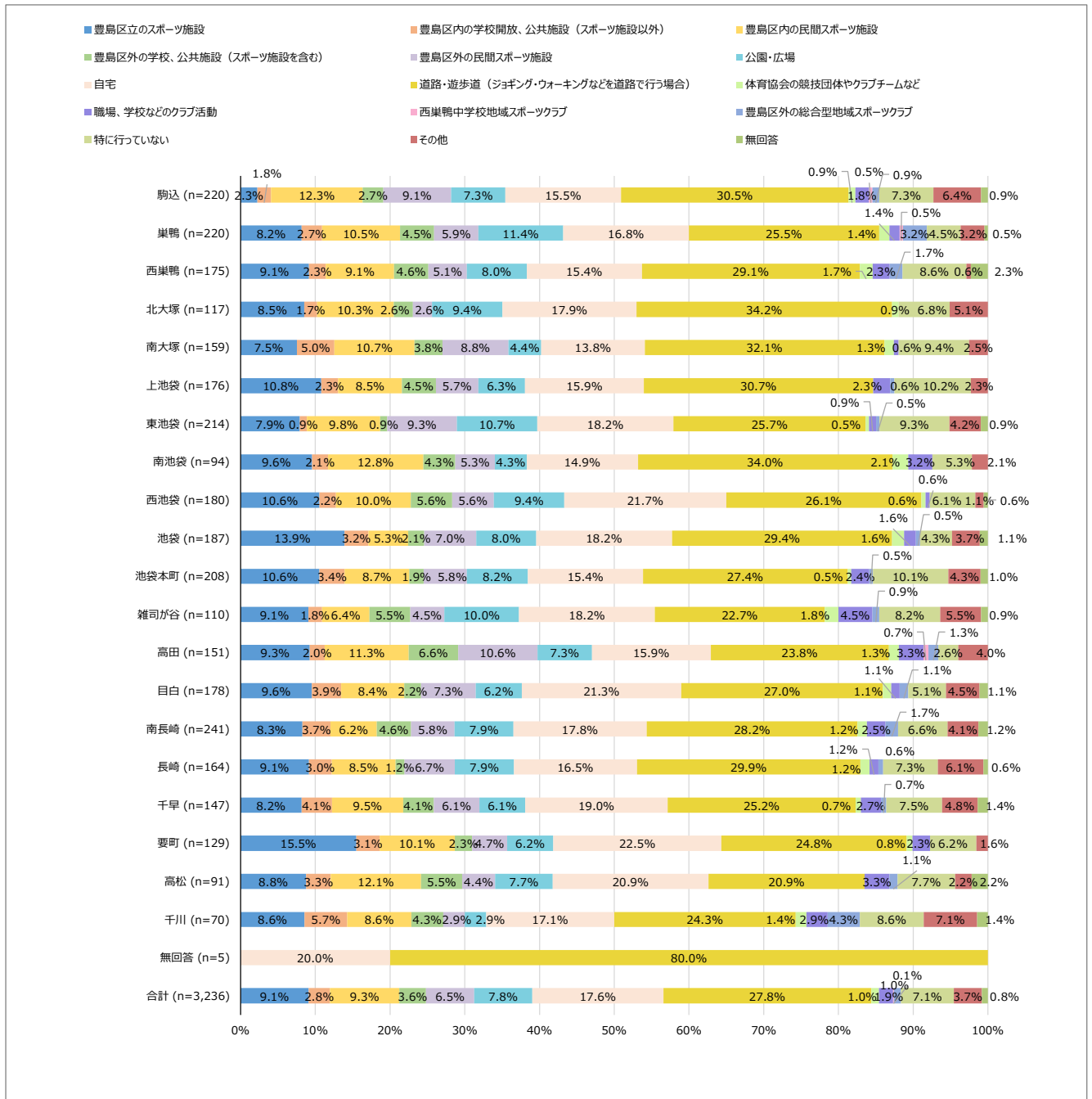
【問3 職業×問19 1か月あたりにかける費用】

職業別にかけている費用が最も少ないのは、その他、「無回答」の方を除くと、「無職」であり、次いで「学生」、「契約社員、派遣社員」の順となっている。逆に、毎月1万円以上掛けているのは、「自営業」が最も多く19.2%、次いで「会社員、団体職員、公務員」の18.5%となっている。



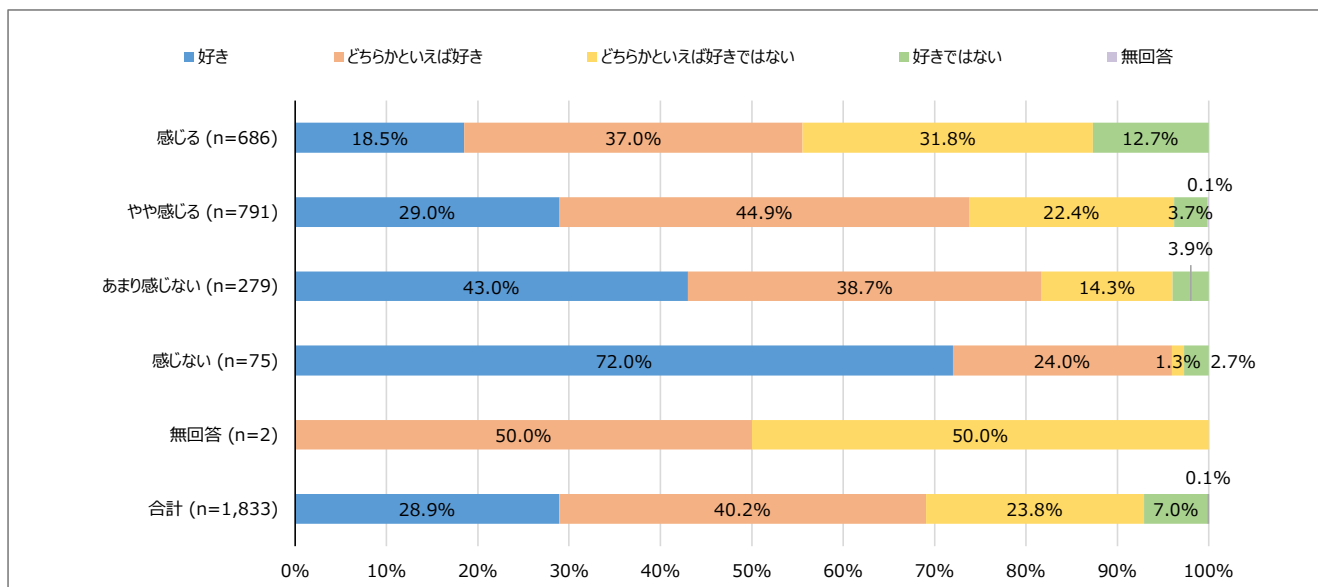
【問4 住まい×問15 どこで運動を行っているか】

地域別における運動場所で最も多いのは、すべての地域で「道路・遊歩道」であり、次いで「自宅」であった。豊島区内外の「スポーツ施設・公共施設」を使っているのが最も多いのは「高田地区」の47.1%であり、もっとも少ないのは「千川地区」の33.0%であった。3割から5割の方が区内外の「スポーツ施設・公共施設」で汗を流していることが想定できる。



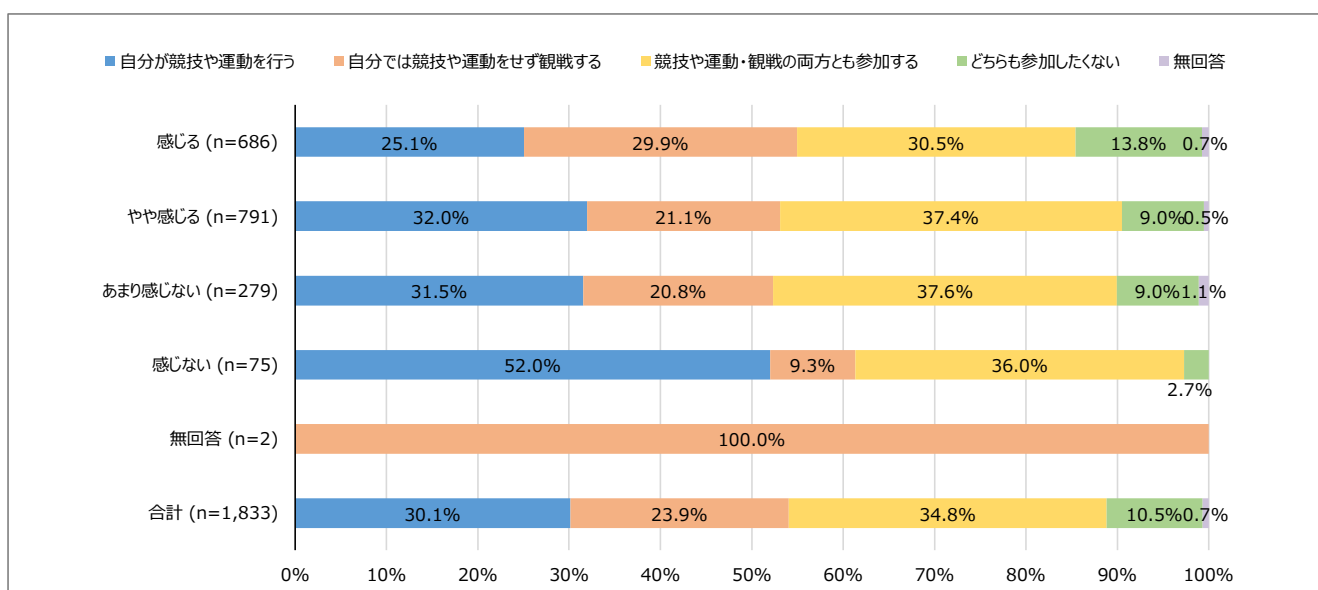
【問6 運動不足×問7 体を動かすことは好きか】

運動不足を「感じない」「あまり感じない」方の多くは、運動が「好き」「どちらかといえば好き」なことが多いことがわかる。一方で、運動不足を「感じている」人は、運動の好き嫌いに関係なく存在していることがわかる。運動が好きな人向け、運動が好きではない人向け、それぞれに運動機会を作ることが必要と考えられる。



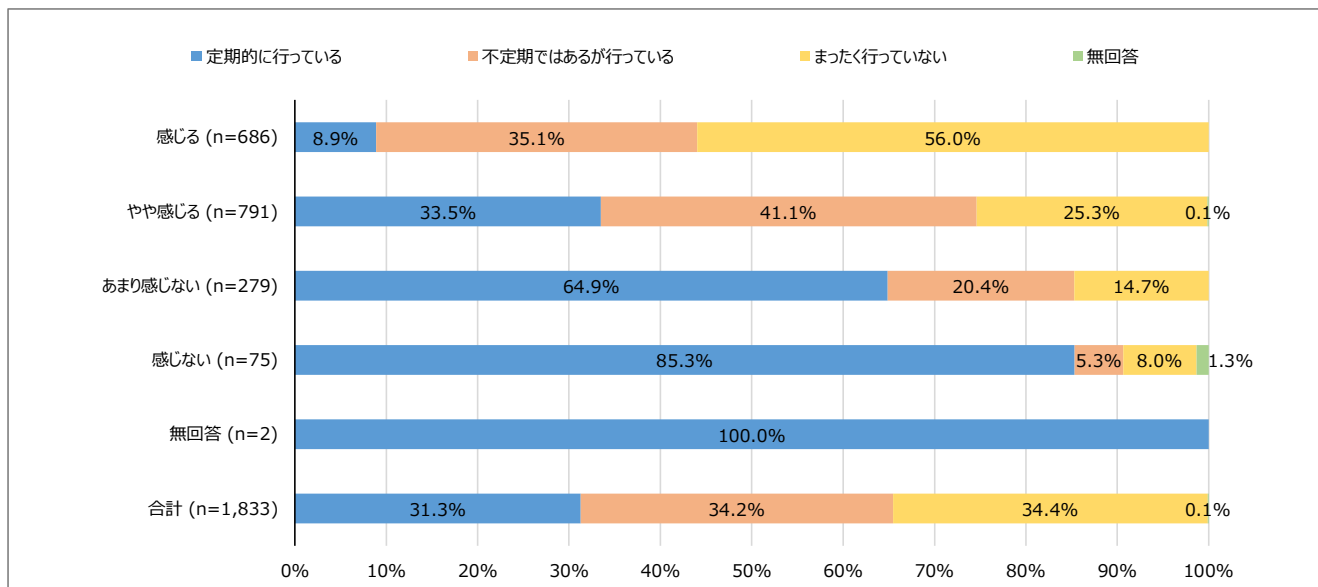
【問6 運動不足×問8 スポーツに参加するとしたら、どのように参加したいか】

運動不足を「感じていない」方は、自らが運動する機会を作っていることが88%となっている。



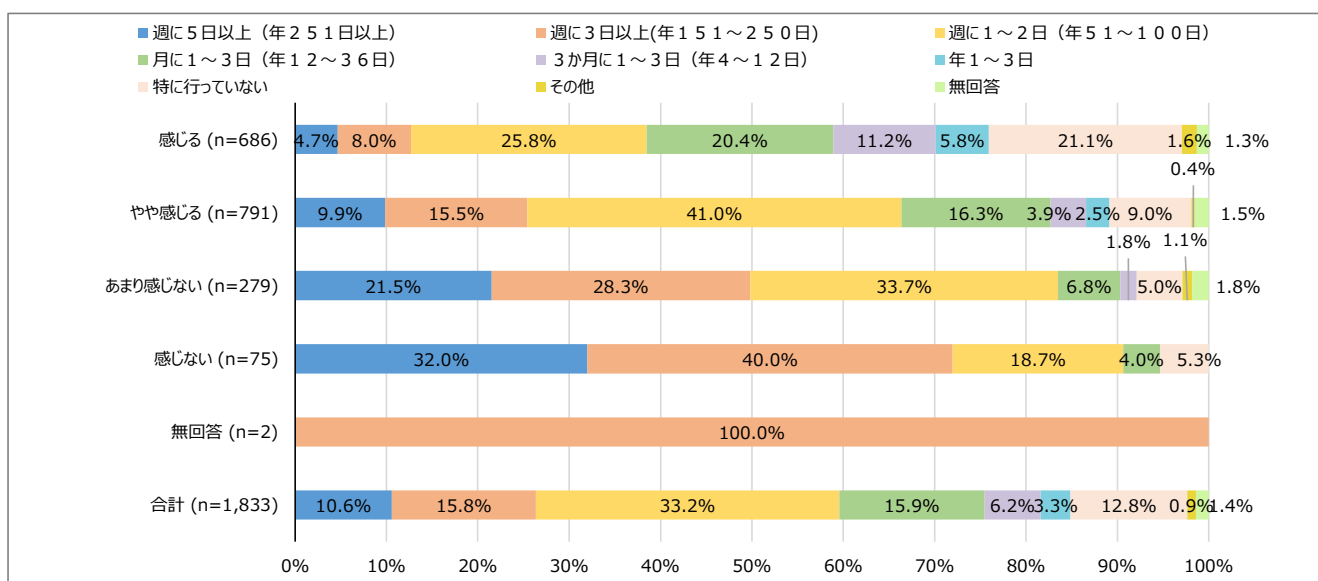
【問6 運動不足×問10 スポーツの実施状況】

運動不足とスポーツの実施状況は相関関係といえる状況にあり、運動不足を感じる方はスポーツを定期的に行っていないことがわかり、運動不足を感じない方はスポーツを定期的に行っていることがうかがえる。



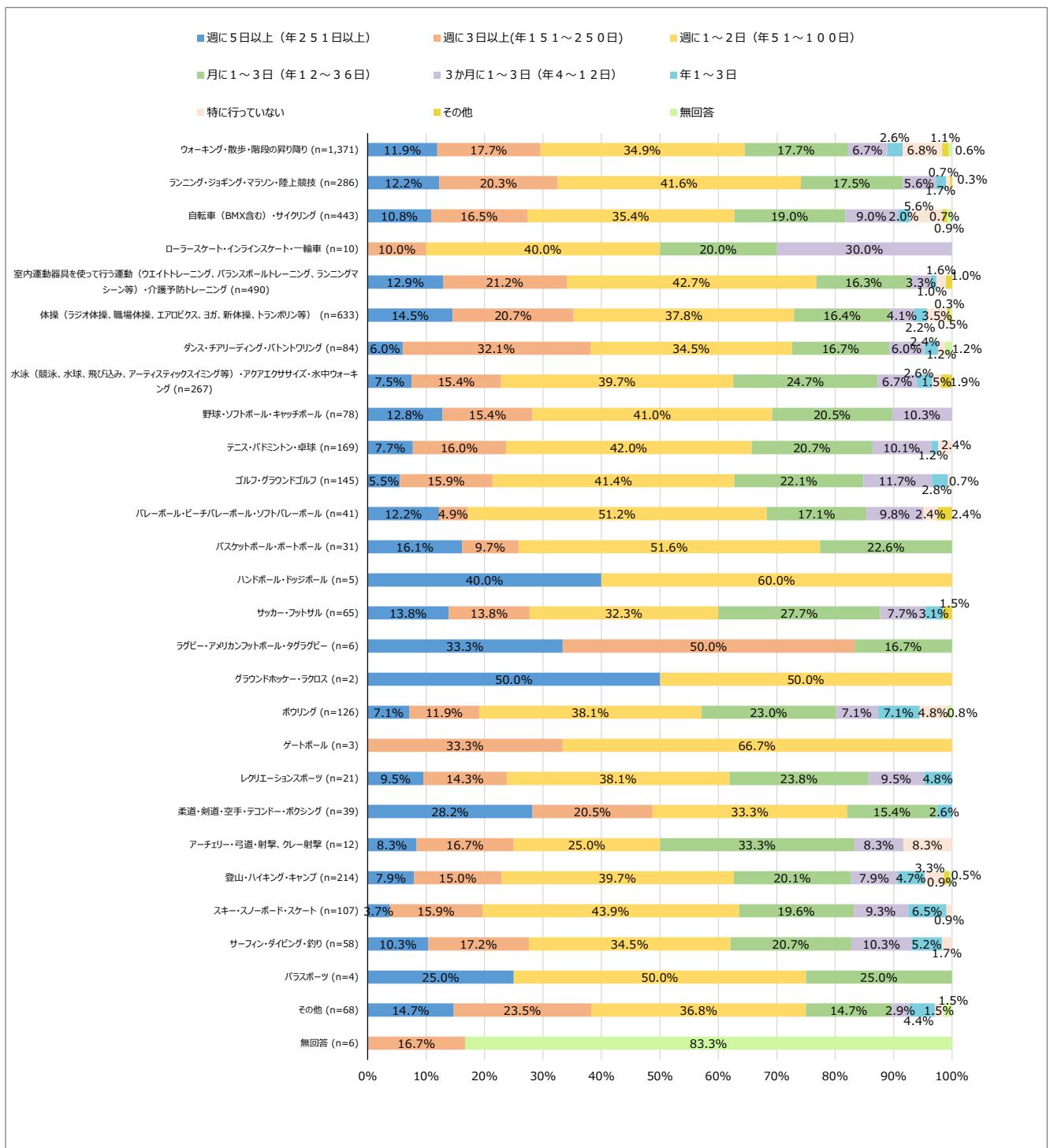
【問6 運動不足×問18 どれくらいの頻度で行っているか】

運動不足とスポーツの実施頻度は相関関係といえる状況にあり、運動不足を感じる方はスポーツを高い頻度では行っていないことがわかり、運動不足を感じない方はスポーツを高い頻度で行っていることがうかがえる。



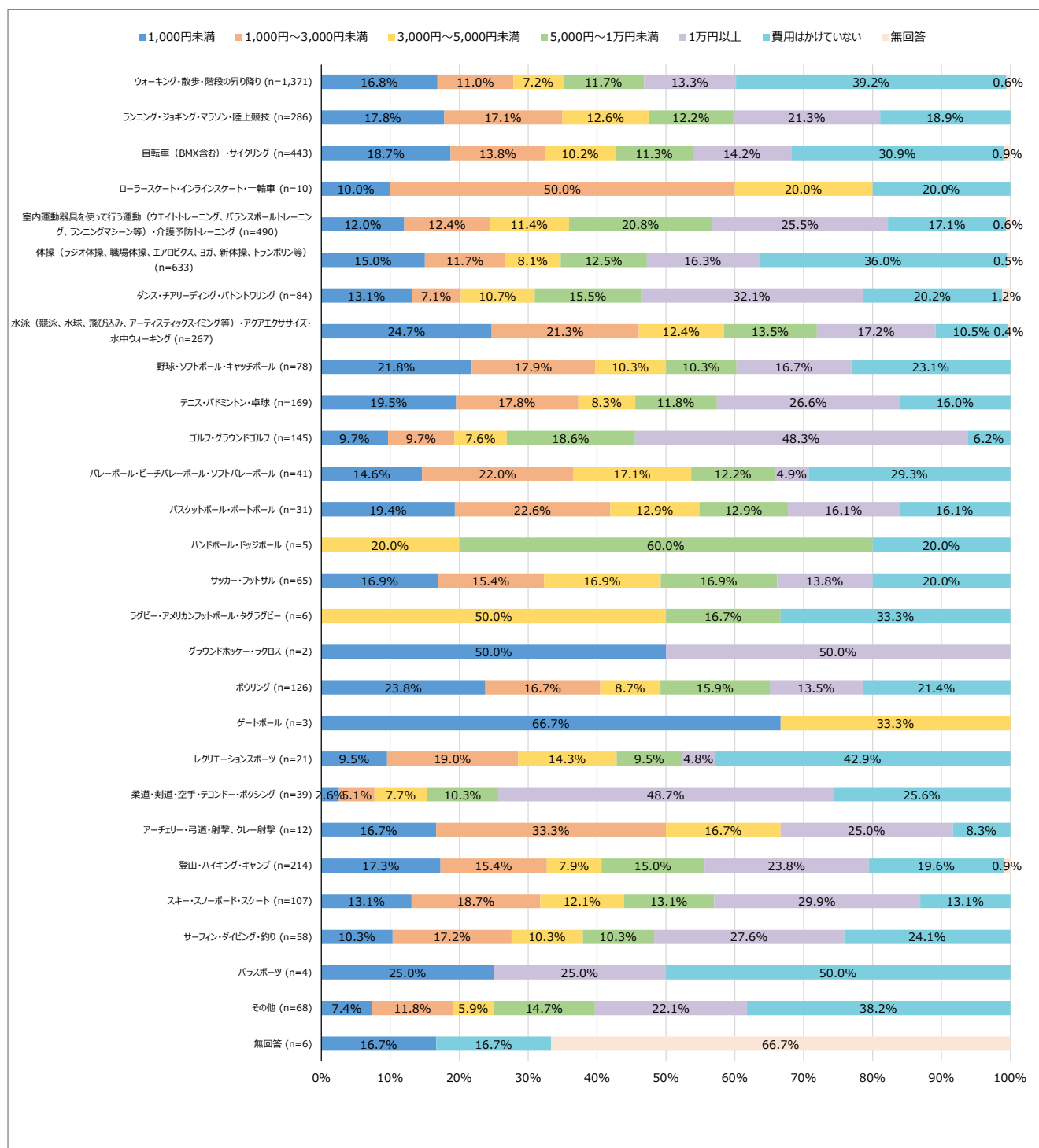
【問 13 この 1 年間で行った運動×問 18 どれくらいの頻度で行っているか】

n 数の最も多い「ウォーキング・散歩・階段の昇り降り」では、週に 1 日以上実施している方が 64.5%、次に多い体操では、73.0%と高い頻度で運動を行っている。



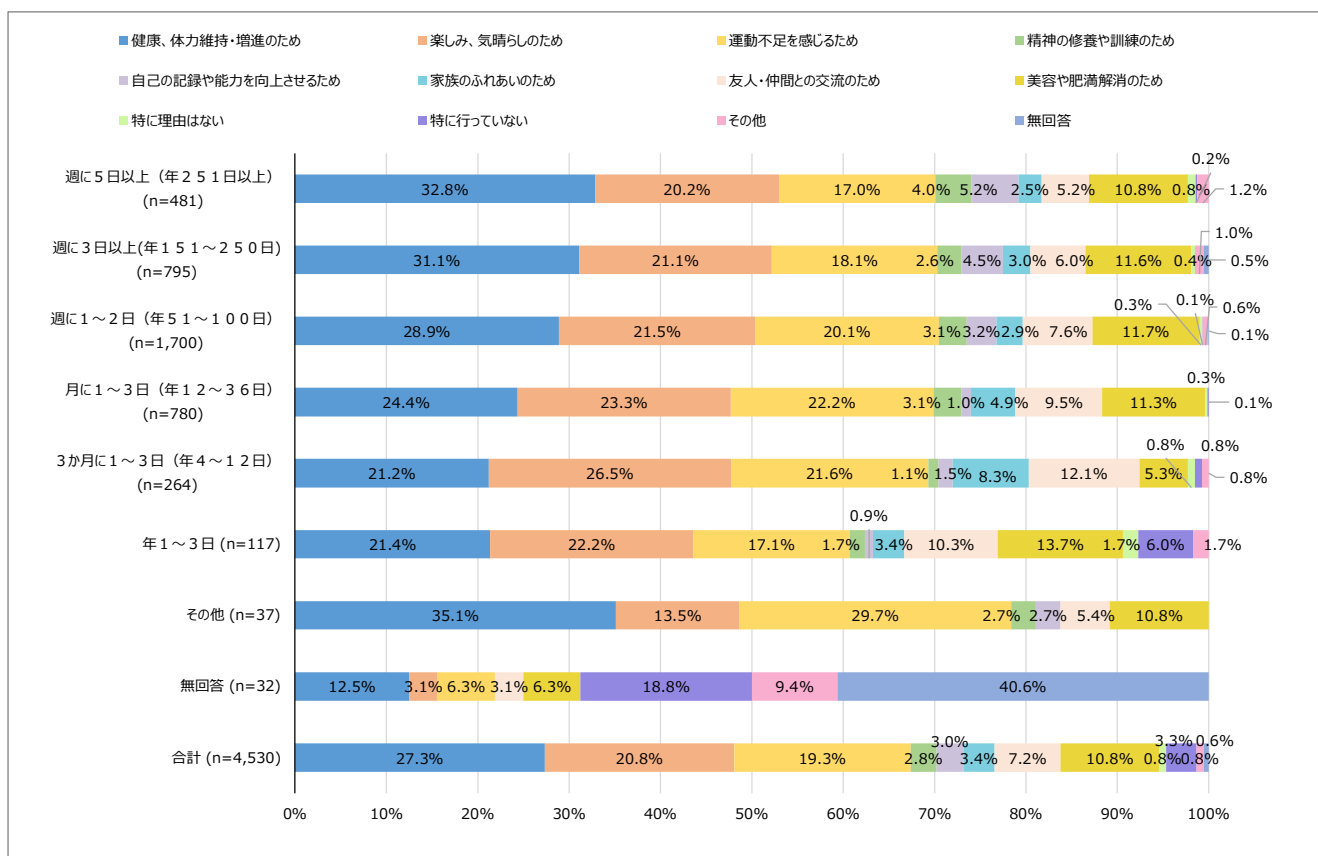
【問 13 この1年間で行った運動×問 19 1か月あたりにかける費用】

競技によって、かける費用は様々であるとうかがえる。n数の最も多い「ウォーキング・散歩・階段の昇り降り」でも「費用をかけていない」方が39.2%と最も多い一方、月に「1万円以上」かけている方も13.2%おり、器具や装備、場所等にかかる費用は人により異なると思われる。n数が30以上の競技において、毎月1万円以上かけている方が多かったのは、ゴルフ・グラウンドゴルフであり、48.3%であった。



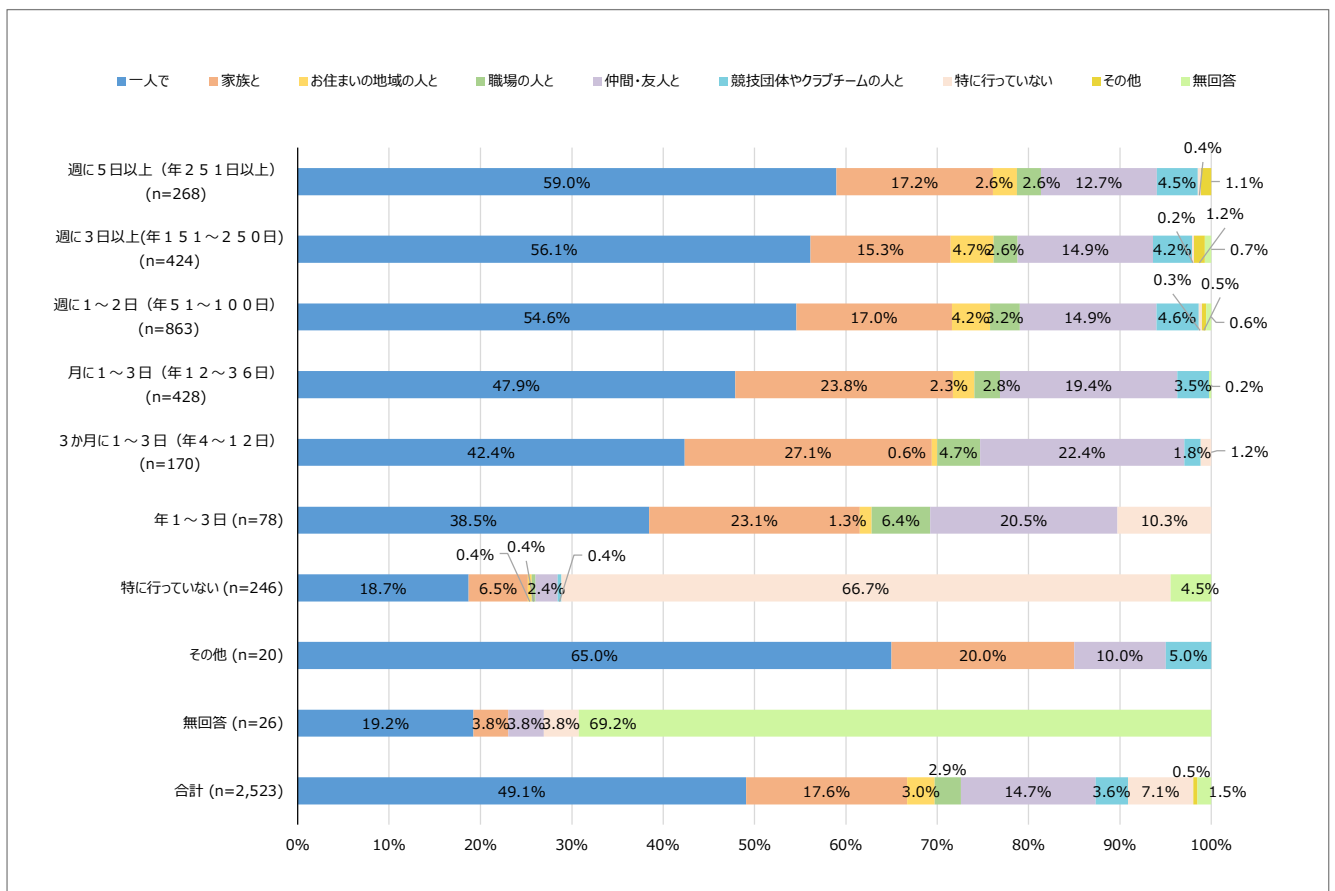
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 14 運動を行っている理由】

運動頻度と運動理由は様々な理由が挙げられているものの、運動頻度が「週 1 回以上」行っているものの最大の理由は、「健康、体力維持・増進のため」となっている。運動頻度が高くなるにつれて、「健康、体力維持・増進のため」の目的意識が高まっていると考えられる。



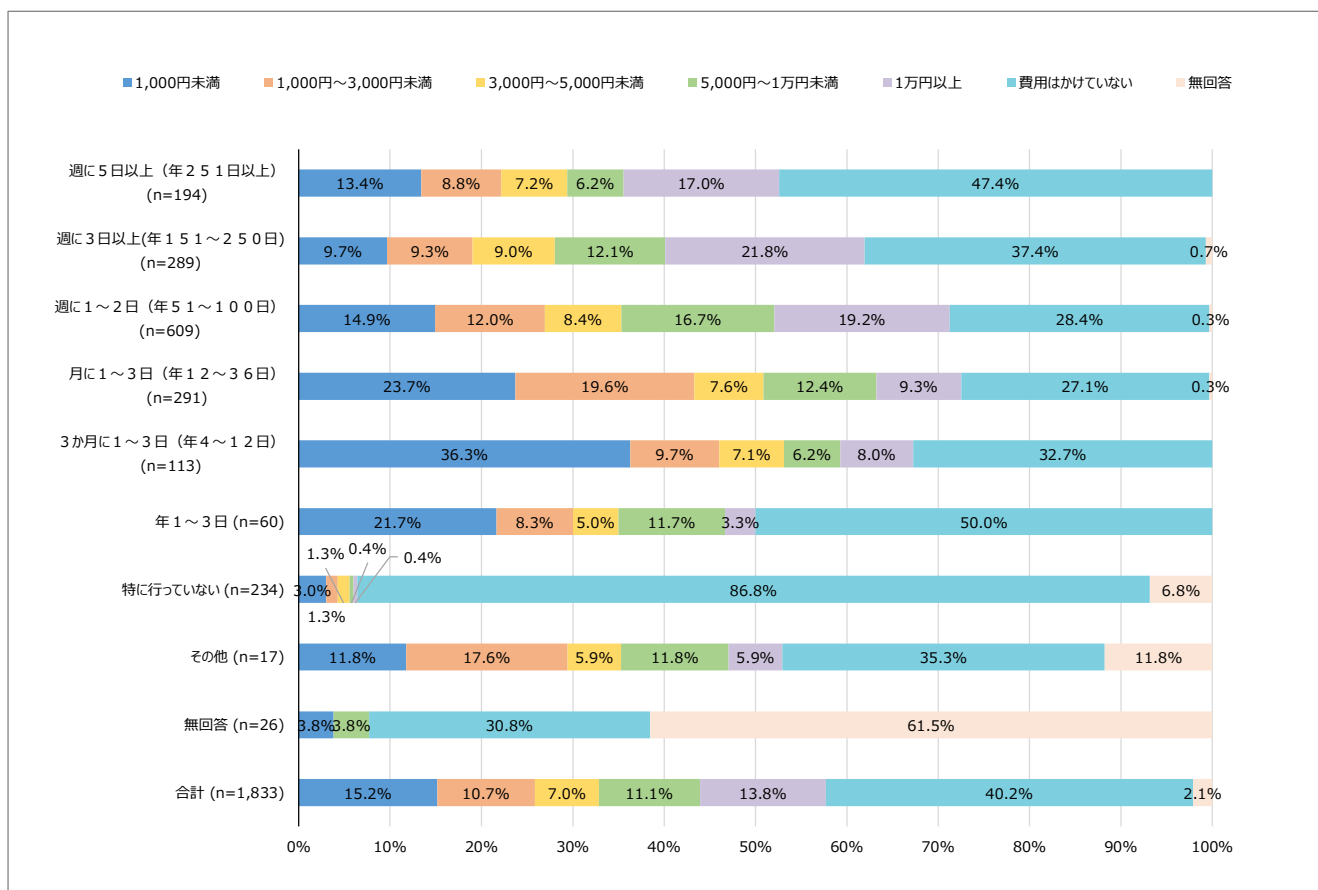
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 17 どなたと運動を行っているか】

運動頻度に関係なく、最も多いのは一人で運動している場合である。頻度が高くなるに連れて、一人で運動していることが多くなっている。



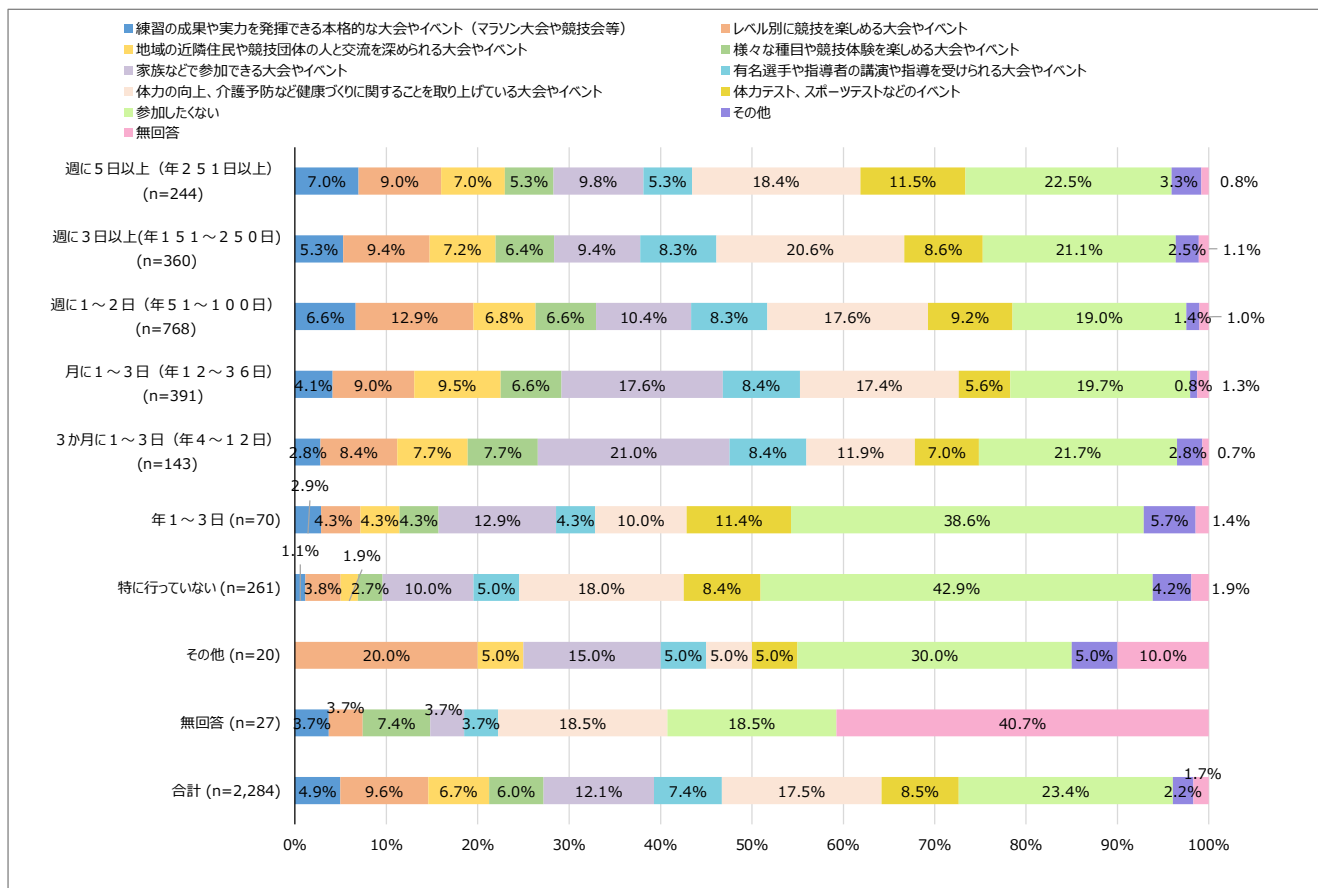
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 19 1 か月あたりにかける費用か】

頻度が高くなるにつれて1ヶ月あたりの費用も増えている傾向はあるといえるものの、「週に5日以上」運動している方は「3日以上」運動している方よりも「費用をかけていない」ともいえる結果となった。



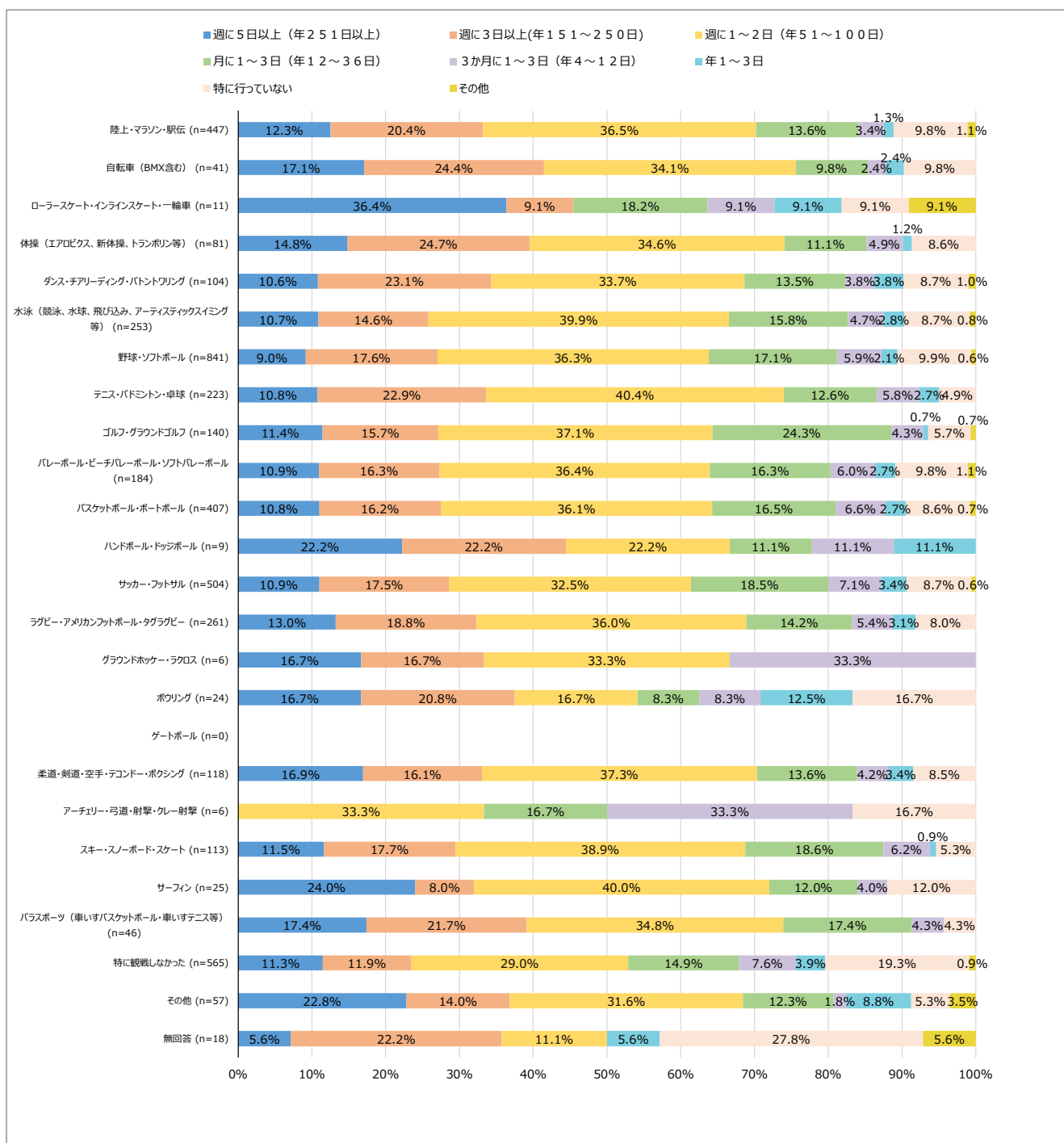
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 20 どのような大会やイベントに参加したいか】

頻度と参加したい大会に明確な相関はない結果となったものの、頻度の高い方は本格的な大会やレベル別の大会等に参加する意向が高く、頻度の低い方は家族などで参加できるイベントに関心があると考えられる。



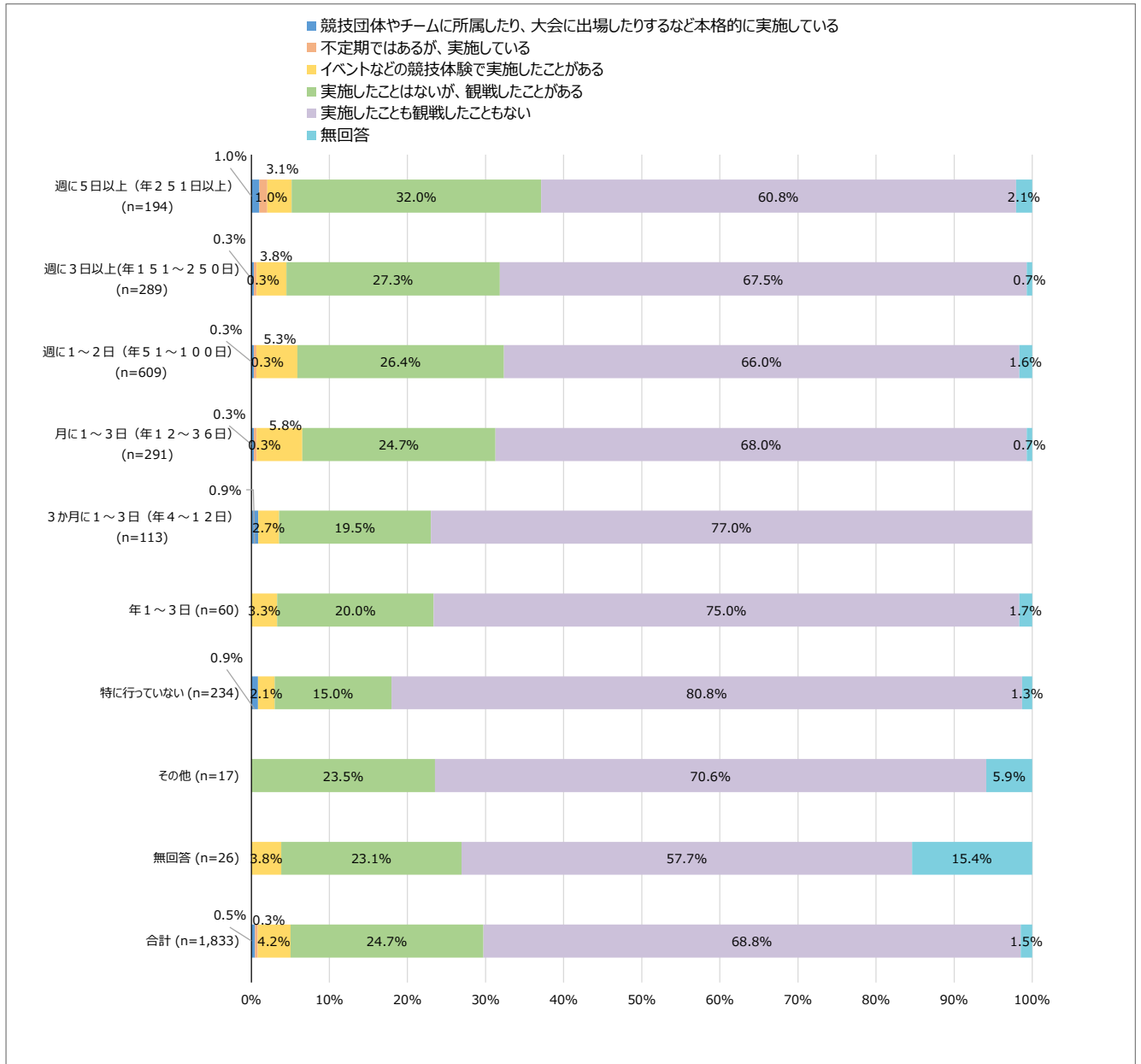
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 21 この1年間でどのようなスポーツを観戦したか】

自身のスポーツ頻度と観戦したスポーツには特に特筆するポイントはないと考えられる。



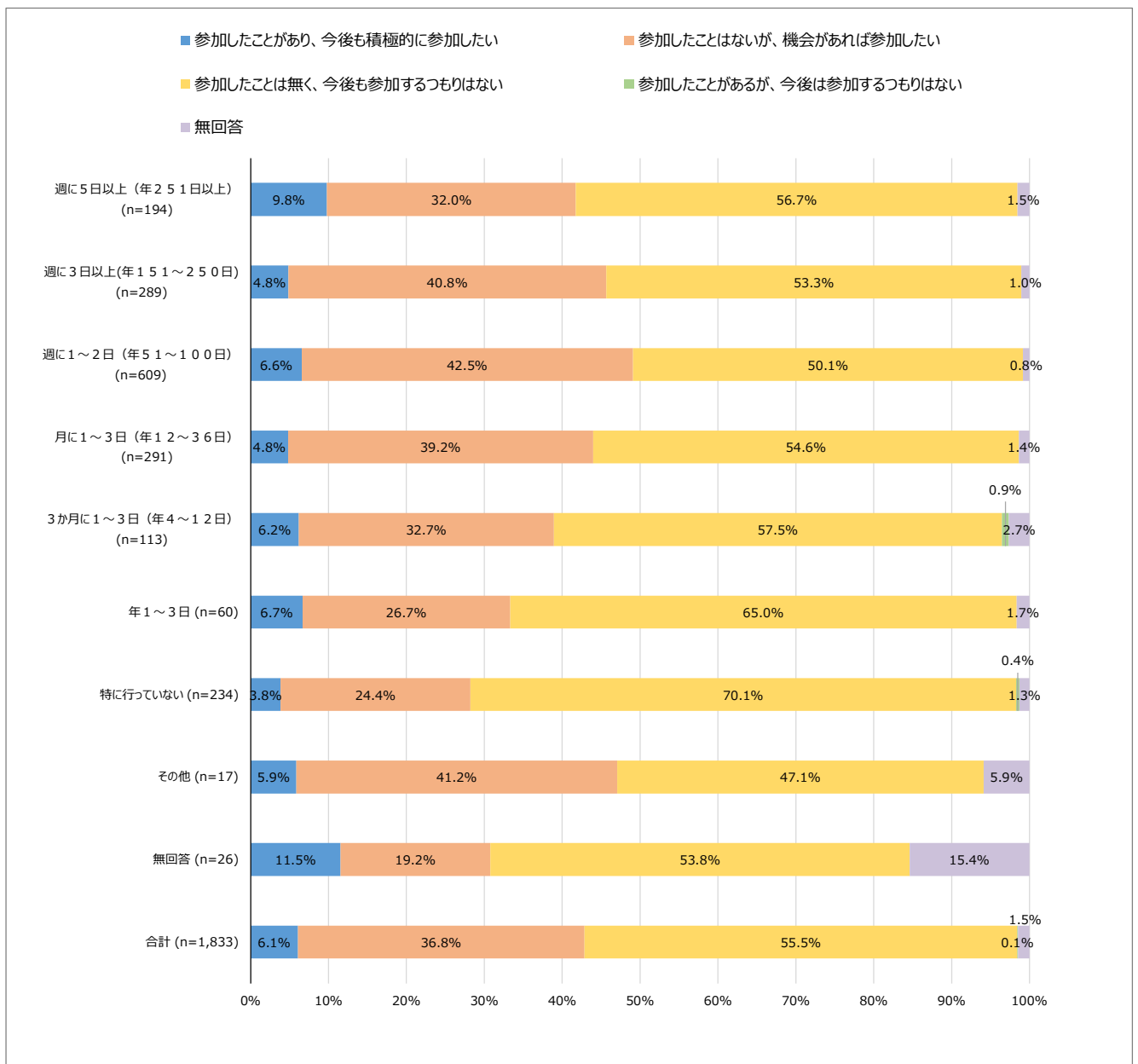
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 26 パラスポーツを実施したり観戦したりしたことはあるか】

スポーツを高い頻度で実施している方は、「特に行っていない」方と比べると、パラスポーツを実施したり、観戦したりした経験がある。ただその割合は、「週に5日以上」スポーツを行っている方であっても、「実施経験」は5.1%、「観戦経験」が32.0%となっている。



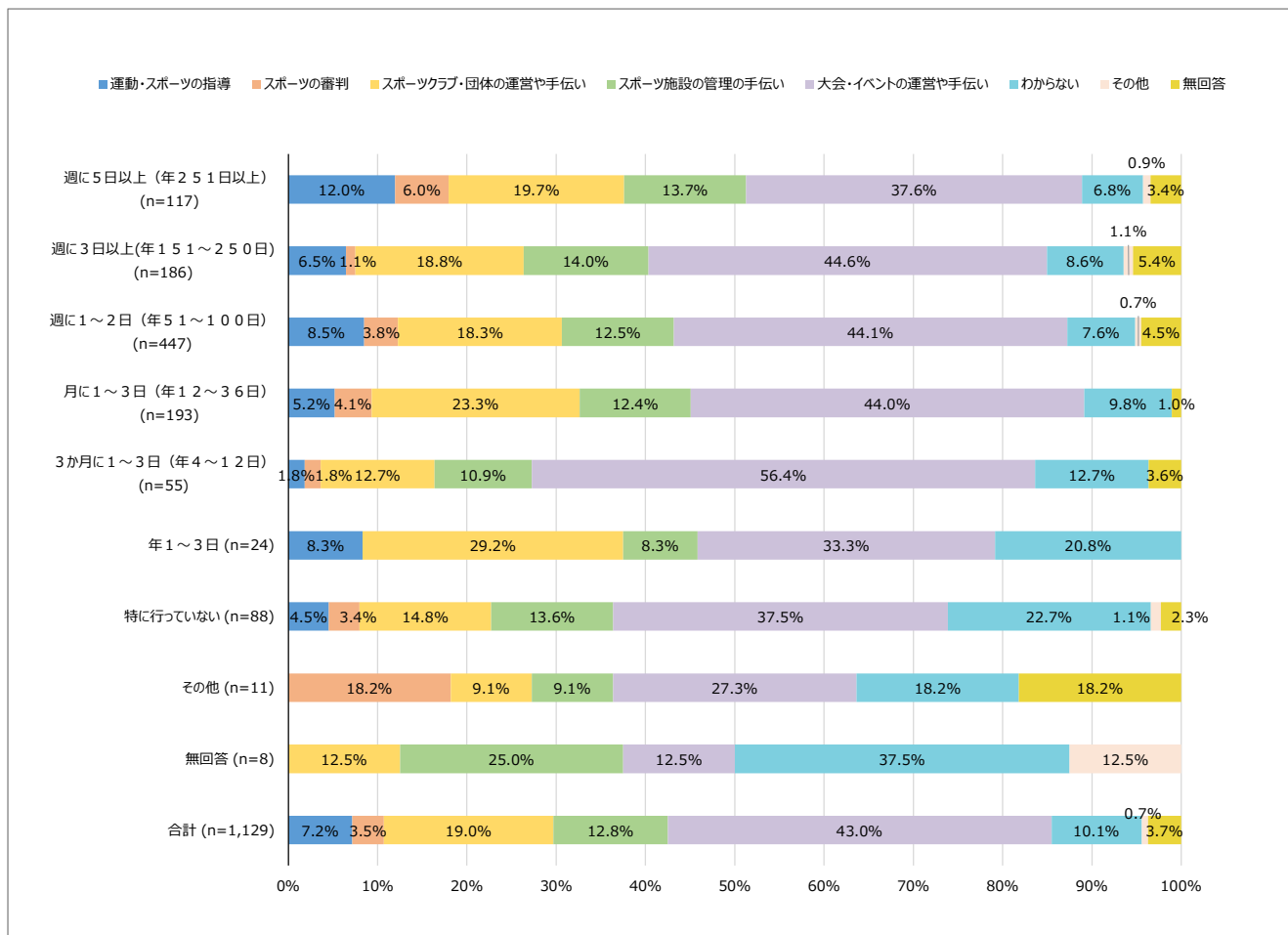
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 27 運動に関するボランティアに参加したことがあるか】

スポーツを行っている頻度が高い方が、運動に関するボランティアに関心が高くなる傾向にある。



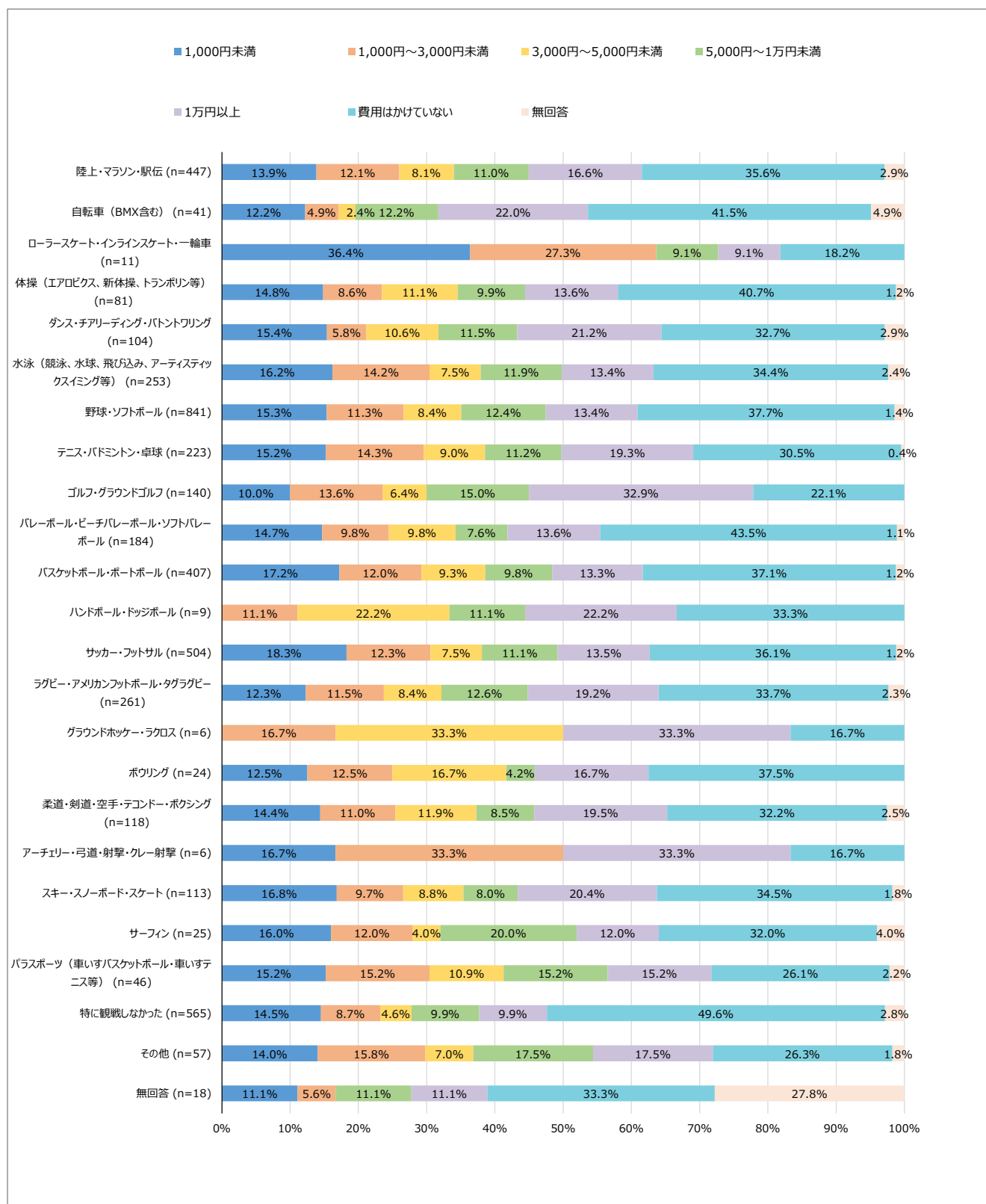
【問 18 どれくらいの頻度で行っているか×問 28 どのようなボランティア活動に参加したいか】

とくに運動頻度と参加したいボランティア活動に大きな相関のあるデータは読み取れなかった。運動頻度に限らず、指導、審判、クラブや施設の運営や手伝い、大会・イベントの手伝い等できるところから参加の機会を促すことが必要と考えられる。



【問 21 この1年間でどのようなスポーツを観戦したか×問 19 1か月あたりにかける費用】

実際にどのようなスポーツを行うのがこれだけではわからないこともあり、スポーツ観戦した競技と1ヶ月あたりにスポーツを行うのにかける費用には大きな相関は見られなかった。

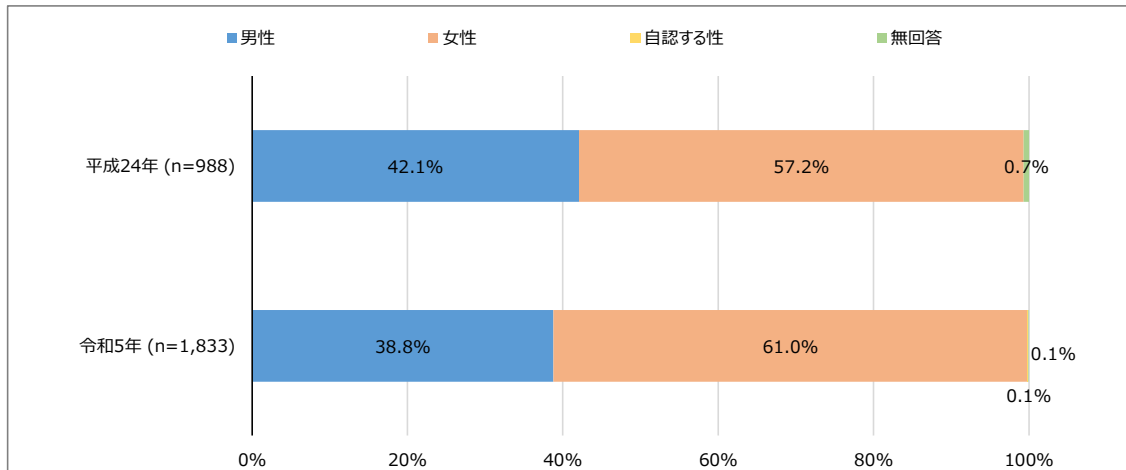


3. 過去年度調査結果との比較

過去年度調査結果（H24年郵送分）との比較を示す。

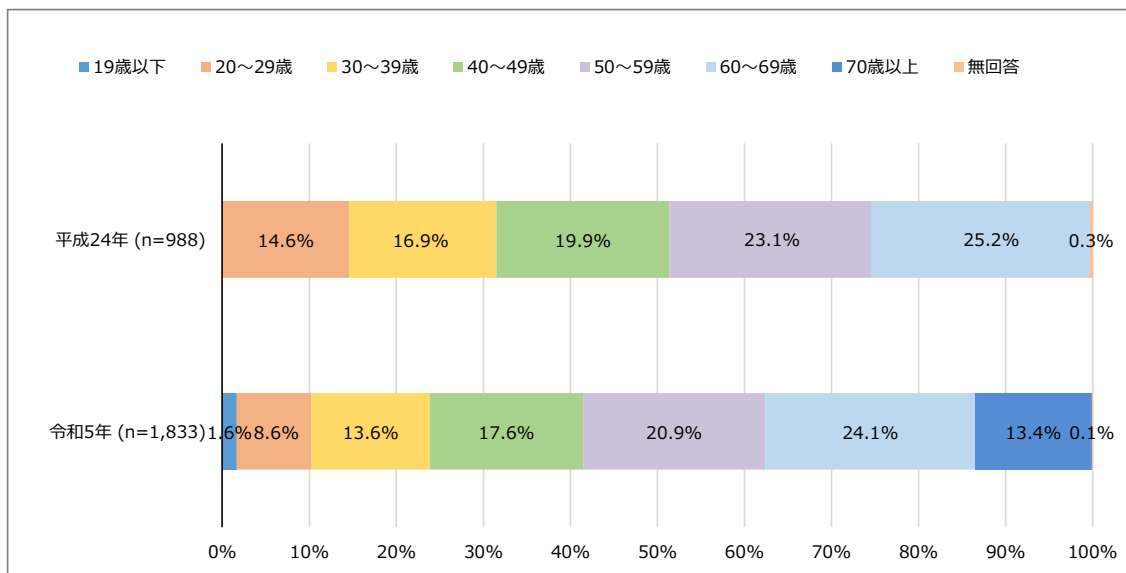
問1 性別を教えてください。（単一回答）

平成24年度調査との比較では、「男性」の割合は減り、「女性」の割合が増加した。なお、今年度は「自認する性」の項目が追加されている。



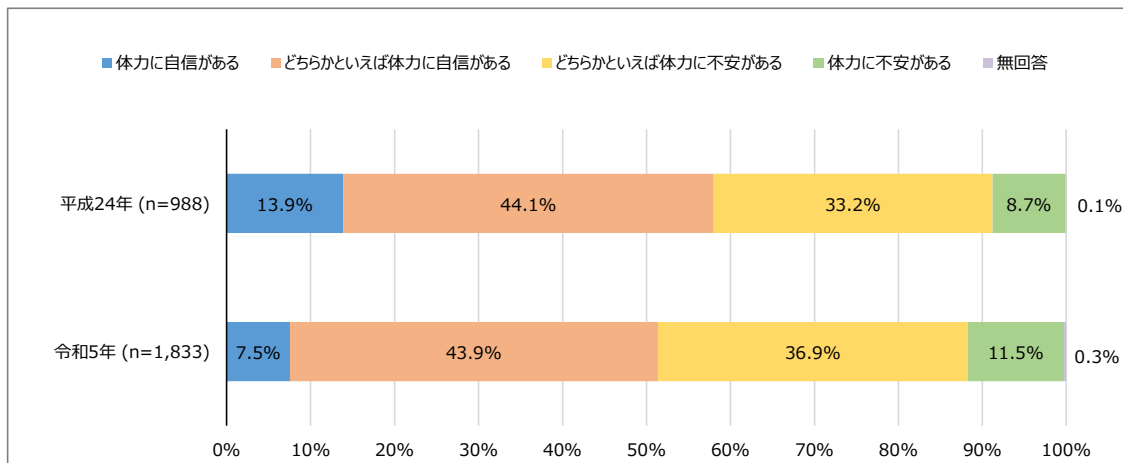
問2 年代を教えてください。（単一回答）

平成24年度調査との比較では、年齢が高い層の回答が増加した。なお、今年度は「70歳以上」の項目が追加されている。



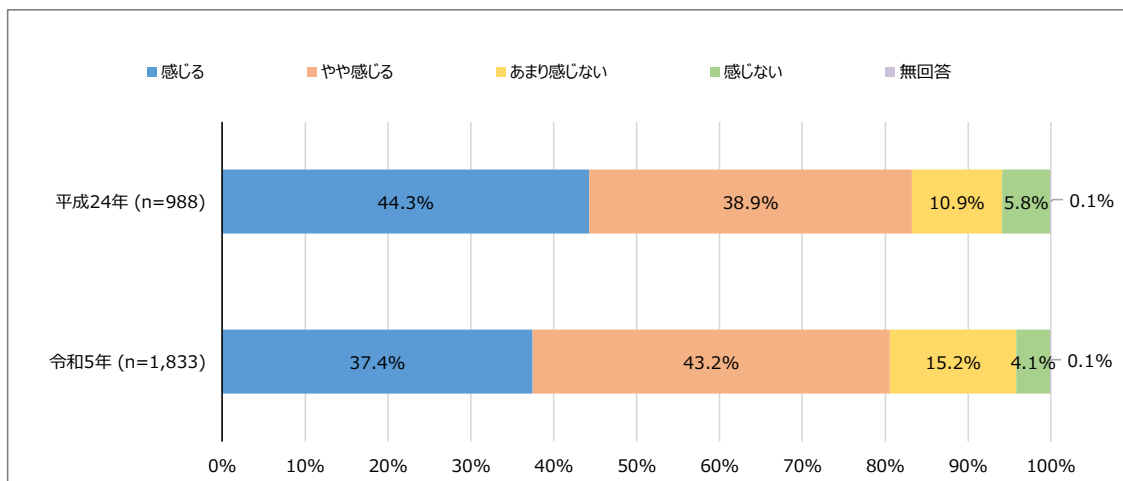
問5 ご自身の体力についてどのように感じていますか。（単一回答）

平成24年度調査との比較では、「体力に自信がある」が減少している。



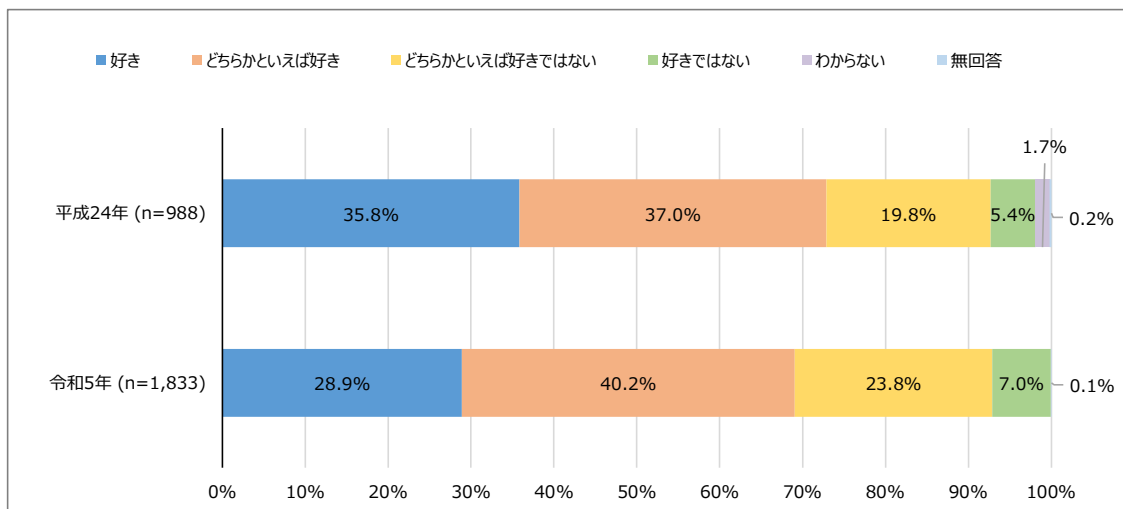
問6 普段の生活で、運動不足を感じていますか。（単一回答）

平成24年度調査との比較では、「感じる」の割合は減っているものの、「やや感じる」の割合が増えている。



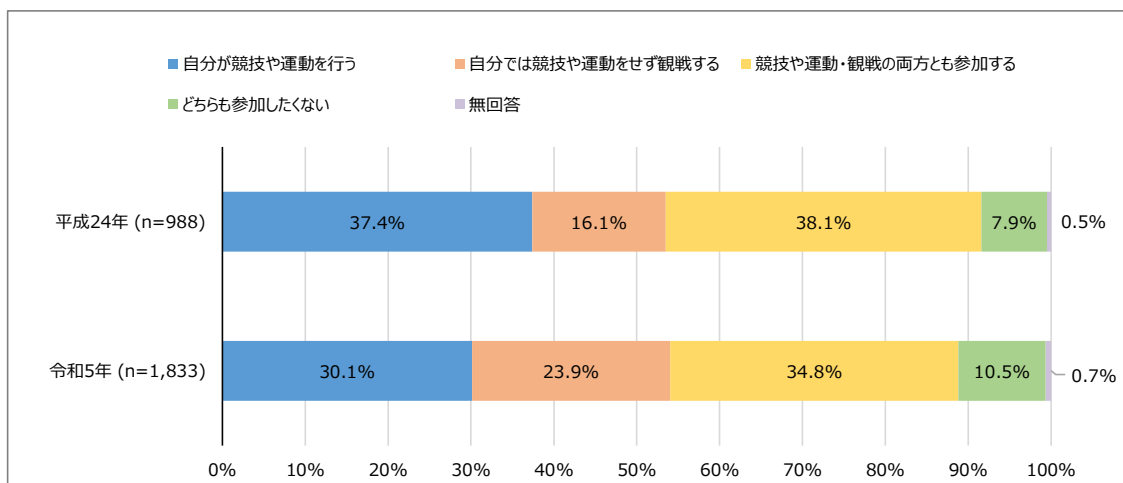
問7 運動やスポーツなど体を動かすことは好きですか。（単一回答）

平成24年度調査との比較では、運動やスポーツなど体を動かすことは好きな人の割合が減少している。



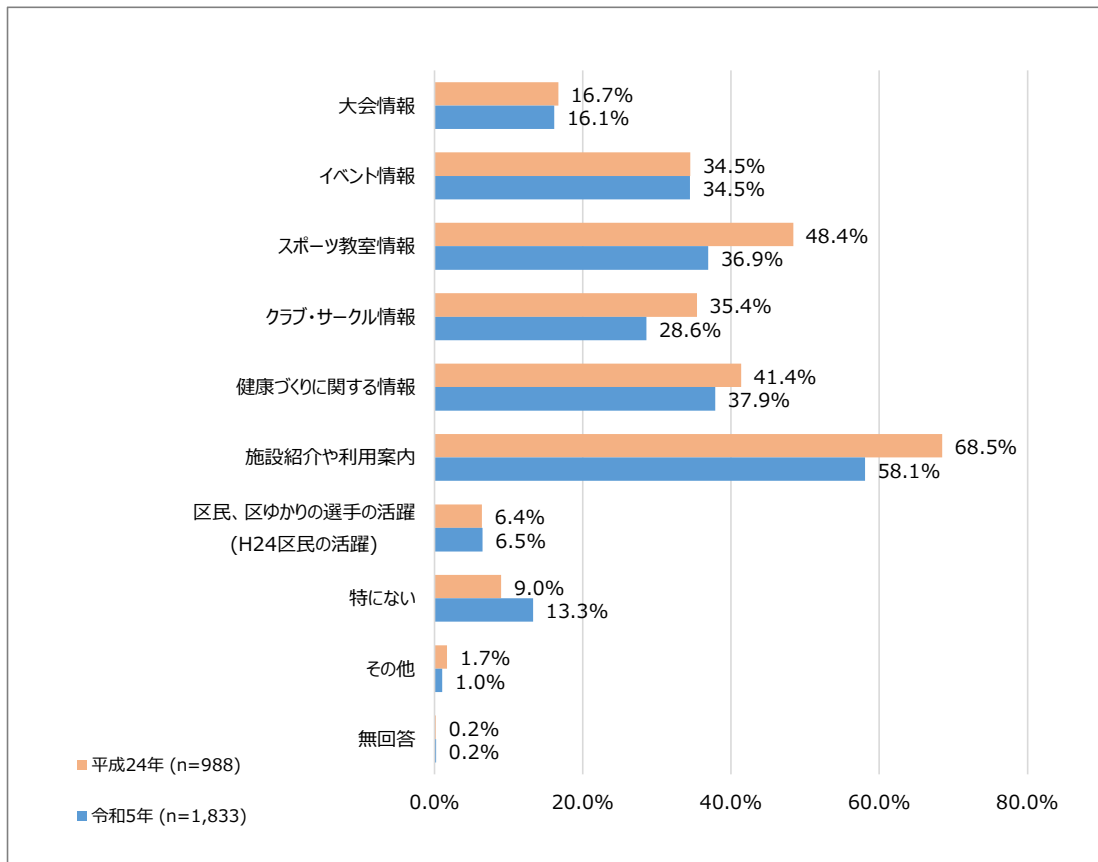
問8 運動やスポーツに参加するとしたら、どのように参加したいと思いますか。（単一回答）

平成24年度調査との比較では、「自分で競技や運動を行いたい」人の割合が減少している。



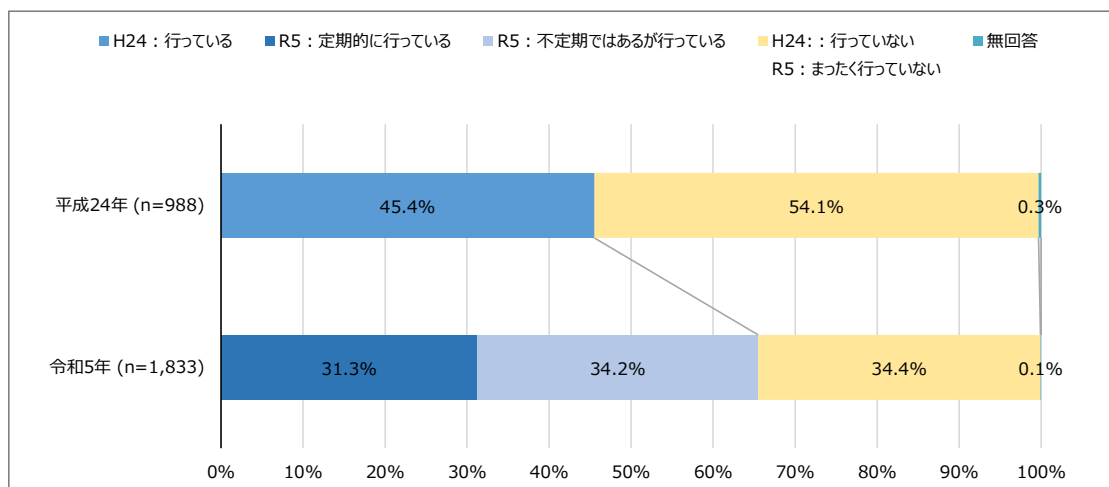
問9 運動やスポーツに関してどのような内容の情報が必要ですか。(複数回答)

平成24年度調査との比較では、割合が減少している項目が多い。



問10 普段の生活における運動やスポーツの実施状況を教えてください。(単一回答)

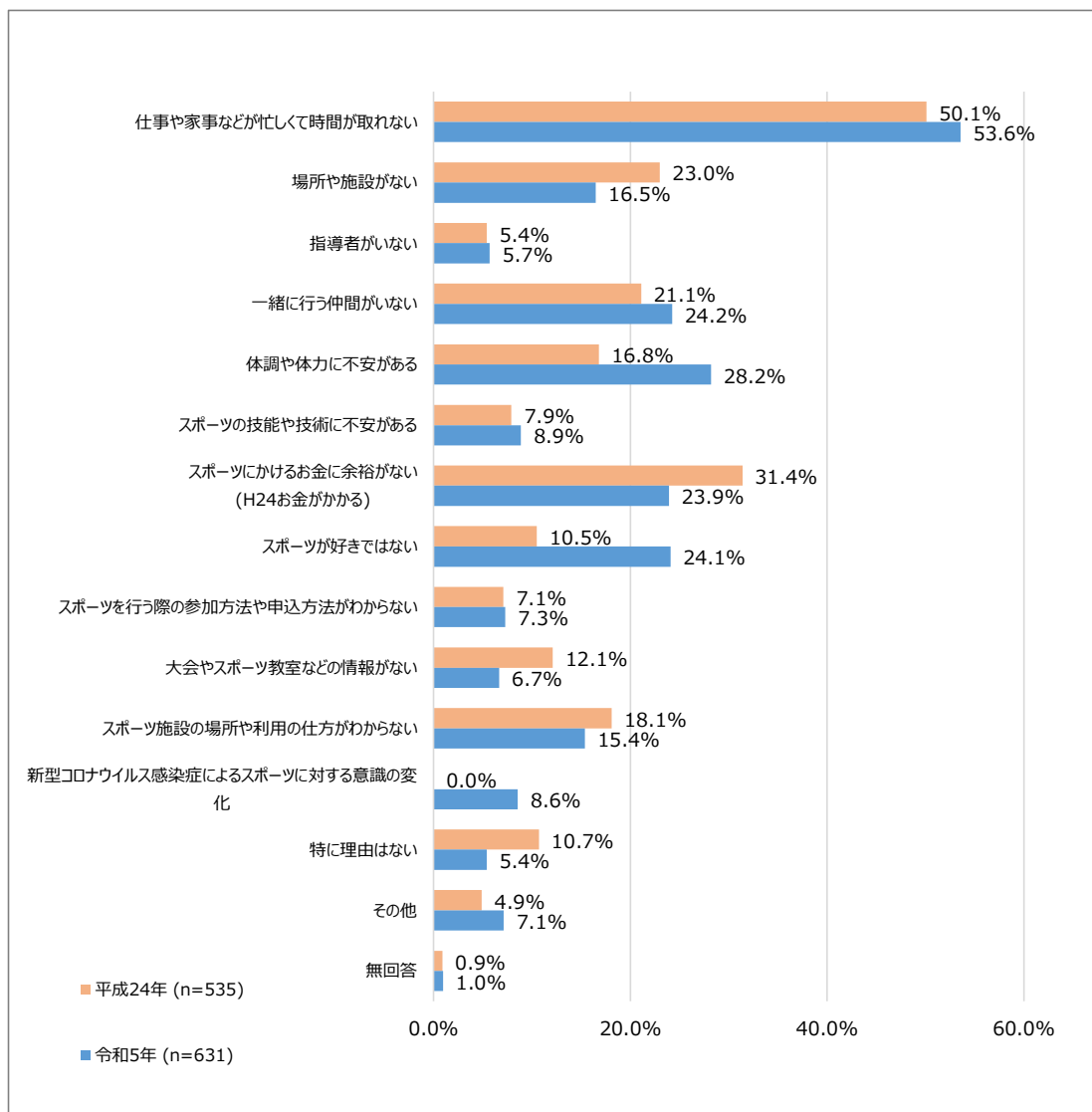
平成24年度調査との比較では、回答項目が異なるため単純な比較はできないが、参考として運動やスポーツを行っている人の割合は増加している。



—問 10 で『3. まったく行っていない』と回答された方だけにお伺いします—

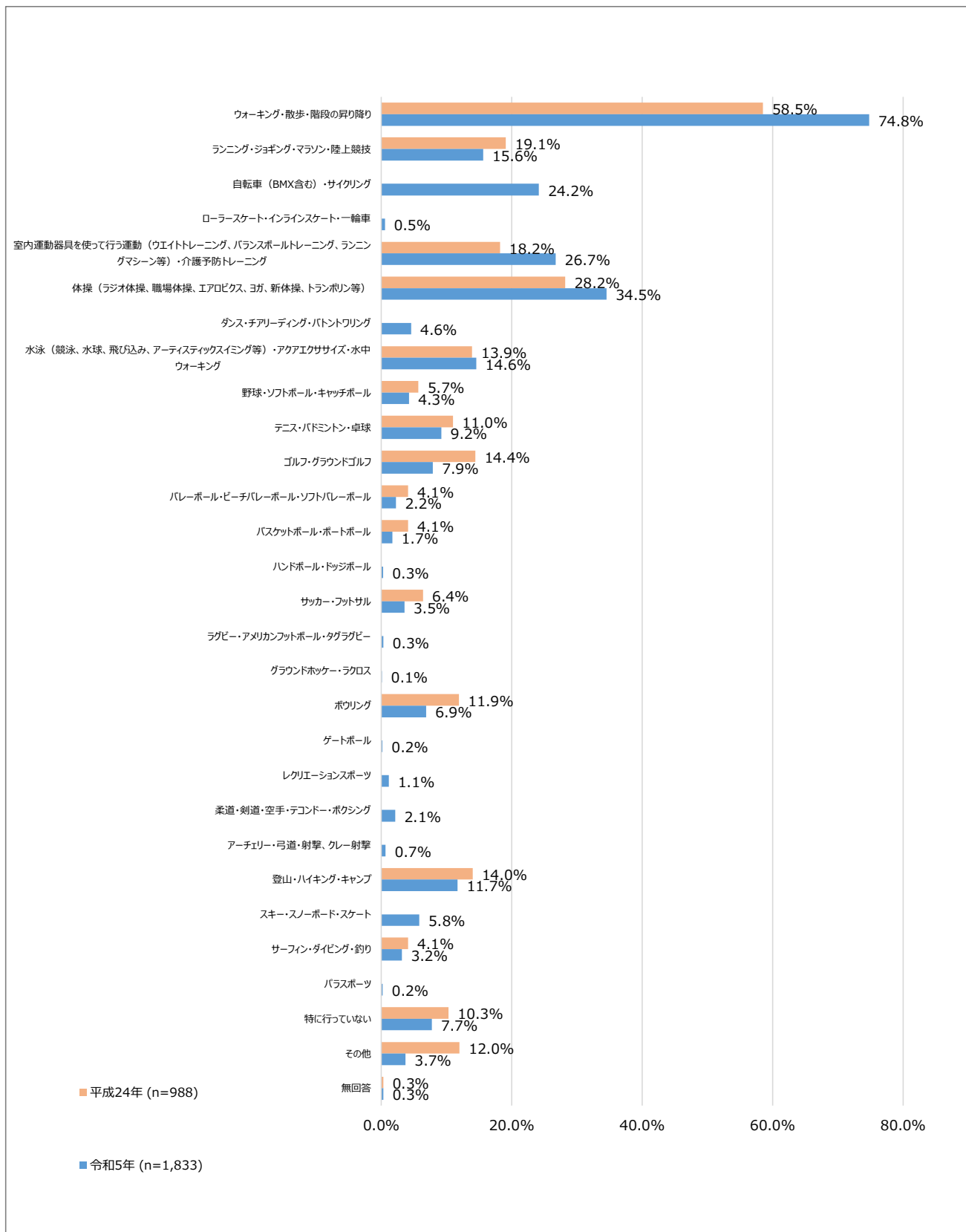
問 11 運動やスポーツを行っていない理由は何ですか。(複数回答)

平成 24 年度調査との比較では、「場所や施設がない」「スポーツにかかるお金に余裕がない」「大会やスポーツ教室などの情報がない」の割合が減少しており、「体調や体力に不安がある」「スポーツが好きではない」の割合が増加した。



問 13 この1年間にあなたが行った運動やスポーツは何ですか。（複数回答）

平成24年度調査との比較では、回答項目が異なるため単純な比較はできないが、参考として個人で手軽に行える運動の割合が増加し、屋外での団体競技の割合が低下している傾向がある。

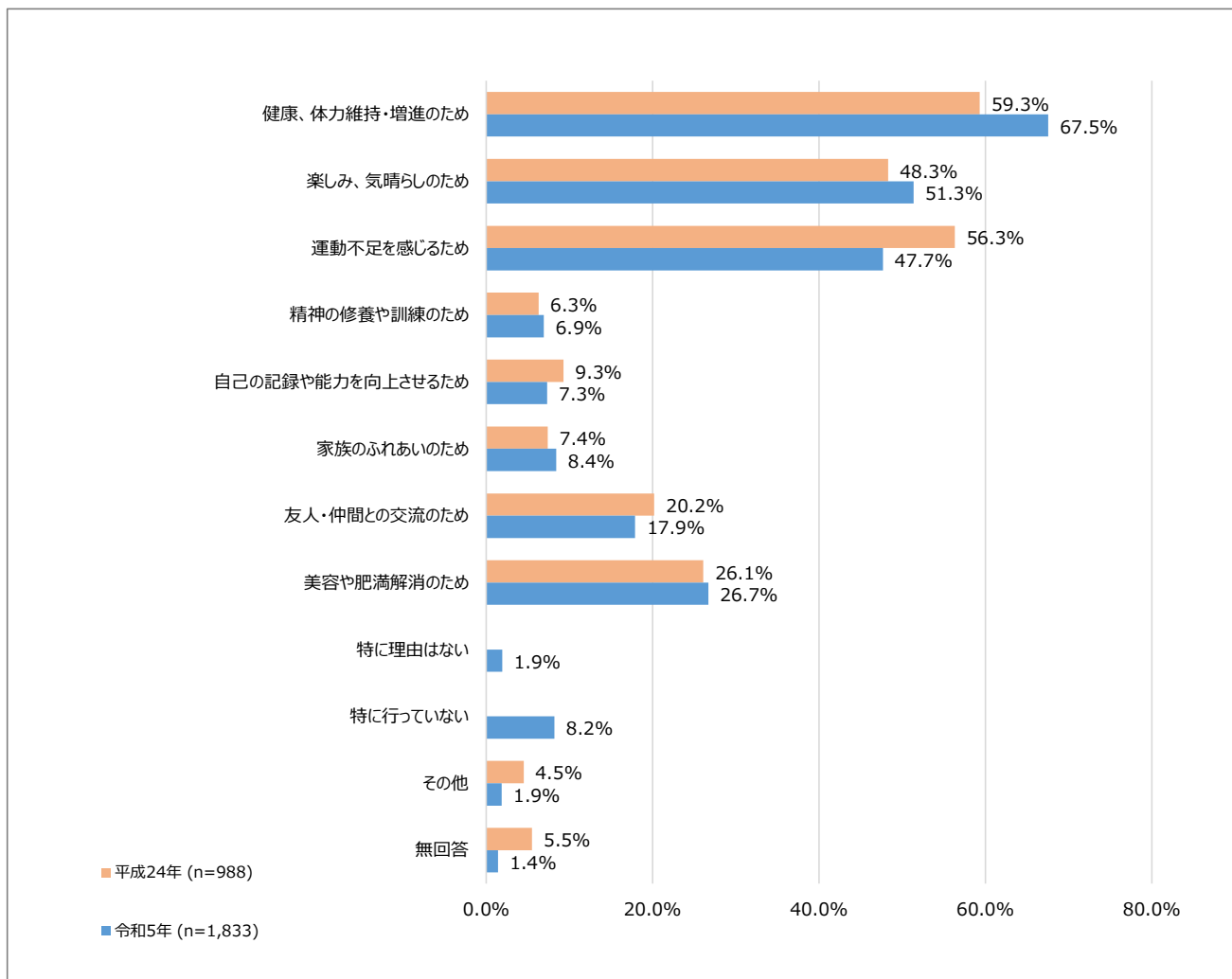


※自転車・ダンス・ラグビー・柔道等・スキーの各項目については、前回調査時は「その他」

※バレーボールとバスケットボールについては、前回調査時は同じ項目

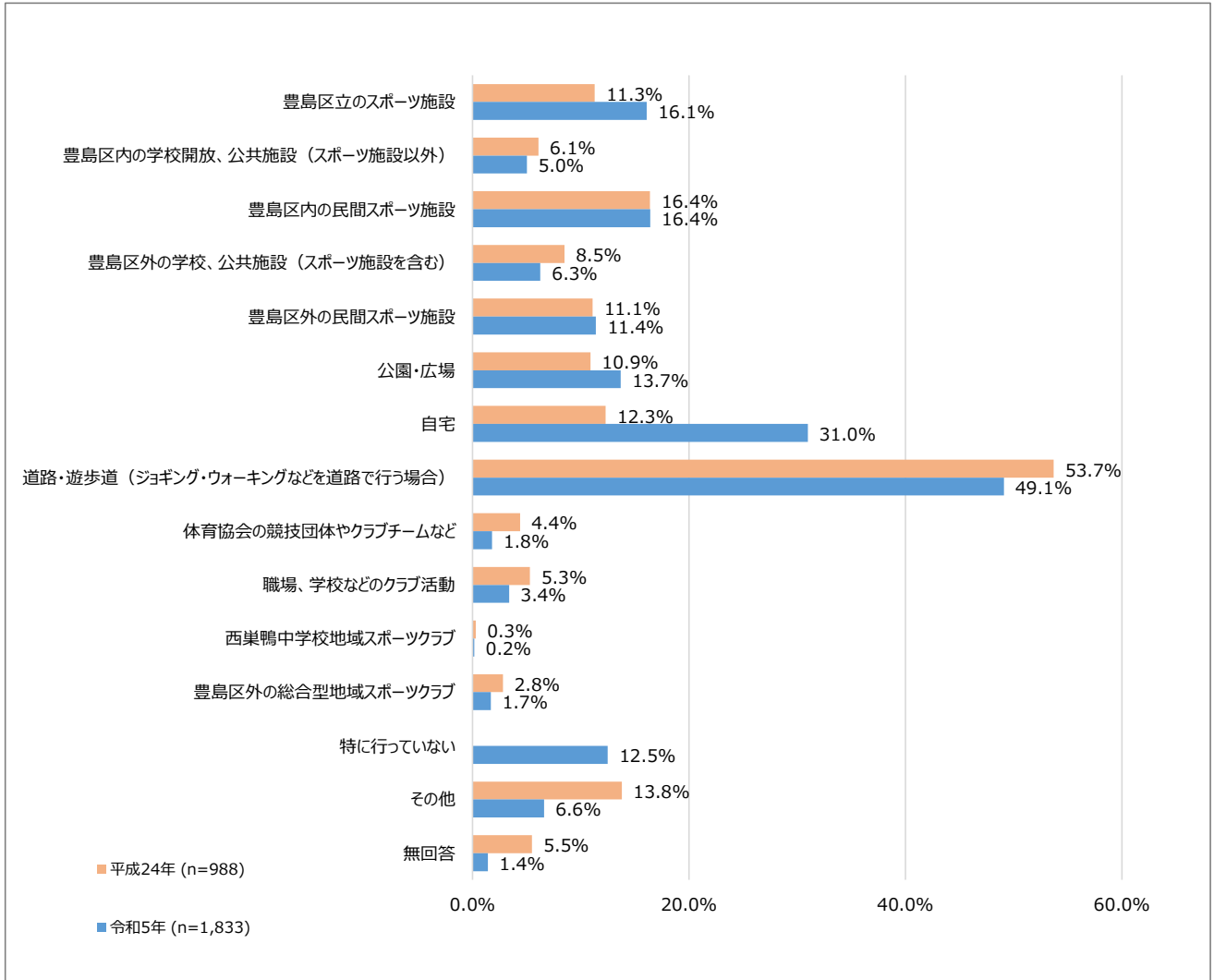
問 14 運動やスポーツを行っている理由は何ですか (複数回答)

平成 24 年度調査との比較では、「運動不足を感じるため」が減少しており、「健康、体力維持・増進のため」「楽しみ、気晴らしのため」が増加している。



問 15 どのようなところで運動やスポーツを行っていますか。 (複数回答)

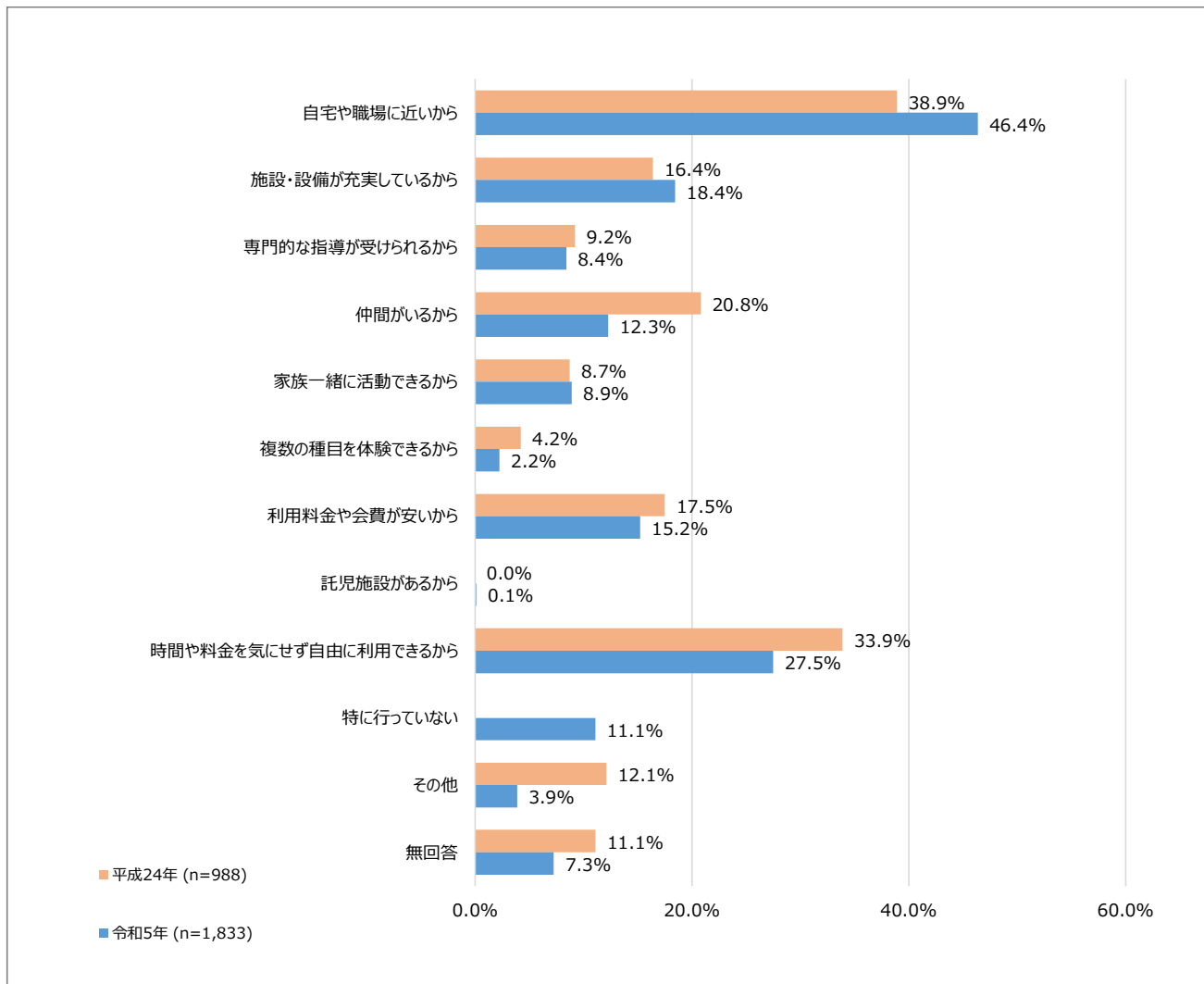
平成 24 年度調査との比較では、「豊島区立のスポーツ施設」「公園・広場」「自宅」が増加しており、特に「自宅」と回答した人の割合がおよそ 2.5 倍と非常に多くなっている。また民間スポーツ施設の割合はほとんど変わらないものの、学校や公共施設の割合が減少しているほか、競技団体やクラブチーム、職場や学校でのクラブ活動も減少している。



問 16 問 15 で回答された場所で運動やスポーツを行っている理由をおきかせください。

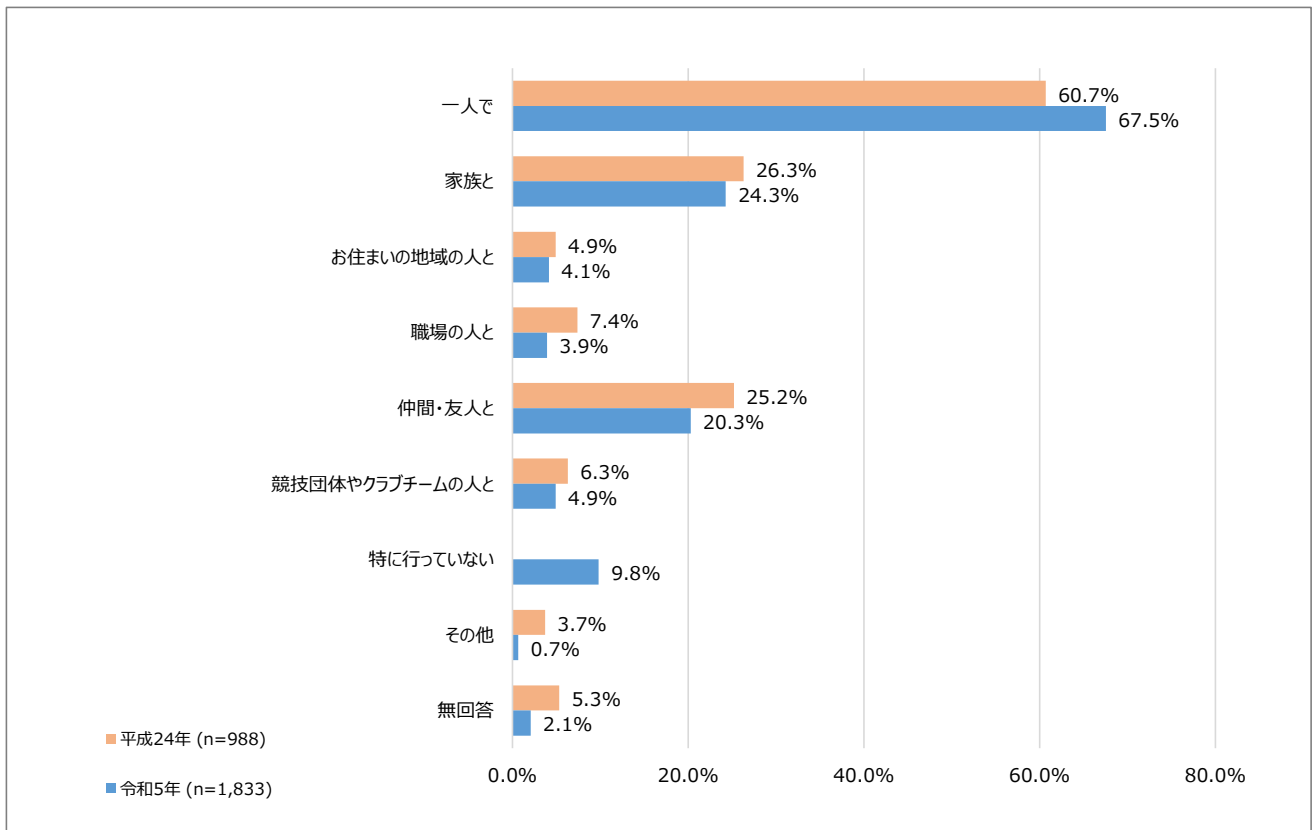
(複数回答)

平成 24 年度調査との比較では、「仲間がいるから」が大きく減少しており、団体でスポーツや運動をする機会が減っていることがうかがえる。



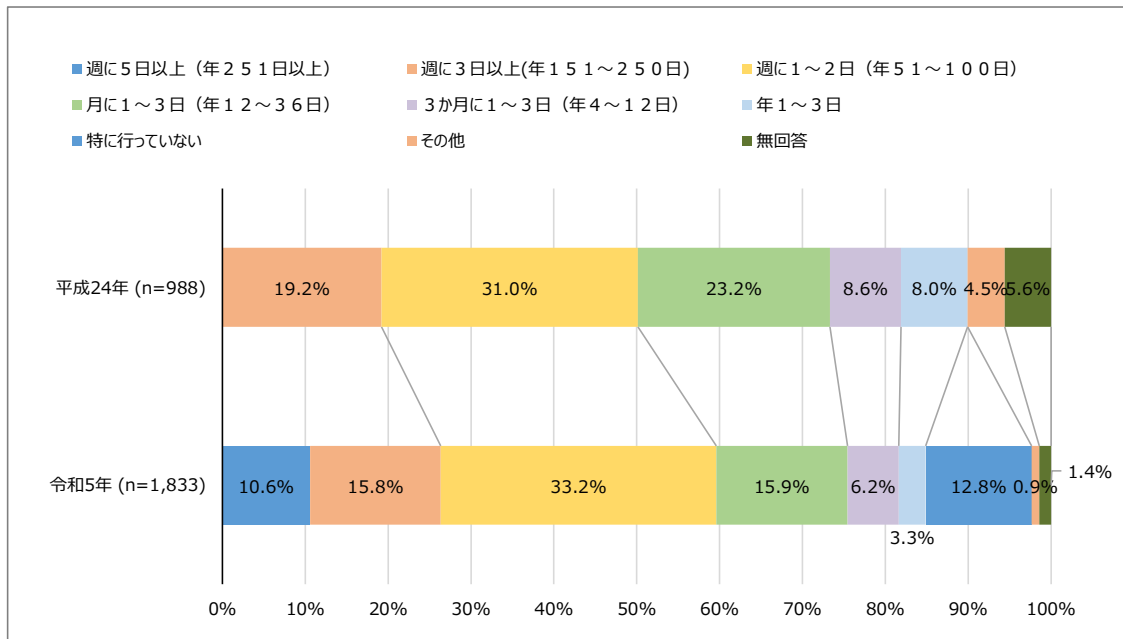
問 17 主にどなたと運動やスポーツを行っていますか。 (複数回答)

平成 24 年度調査との比較では、「一人で」の割合が増加し、他の複数人で行う選択肢の割合がすべて減少している。



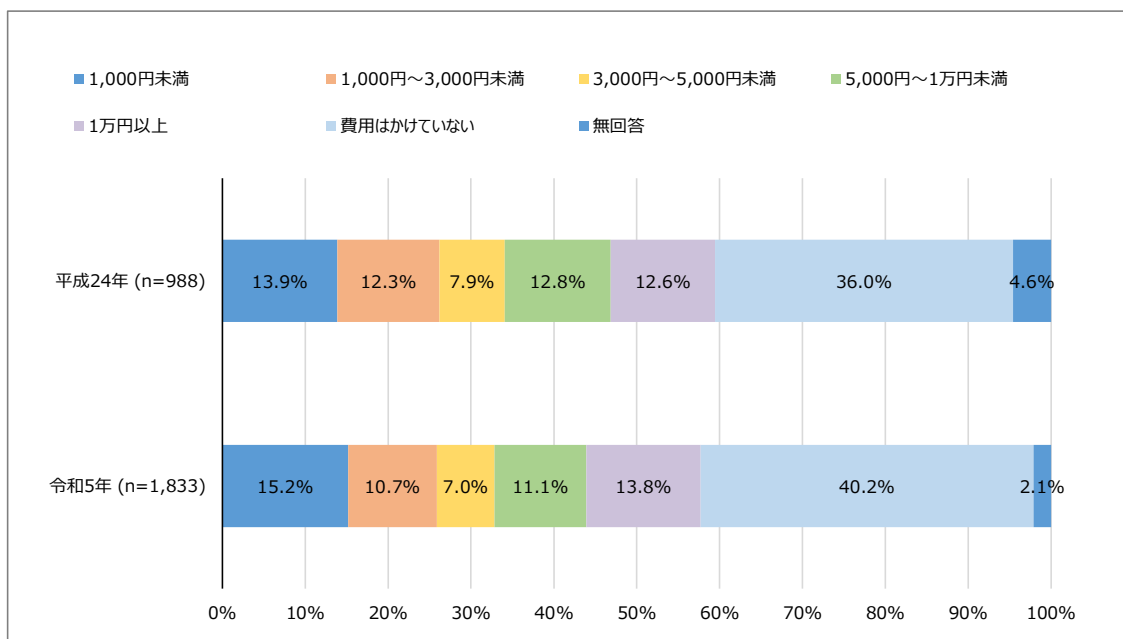
問 18 運動やスポーツはどれくらいの頻度で行っていますか。 (単一回答)

平成 24 年度調査との比較では、回答の選択肢が異なるので単純な比較はできないが、前回調査より高頻度で運動やスポーツを行う人の割合が増加している。



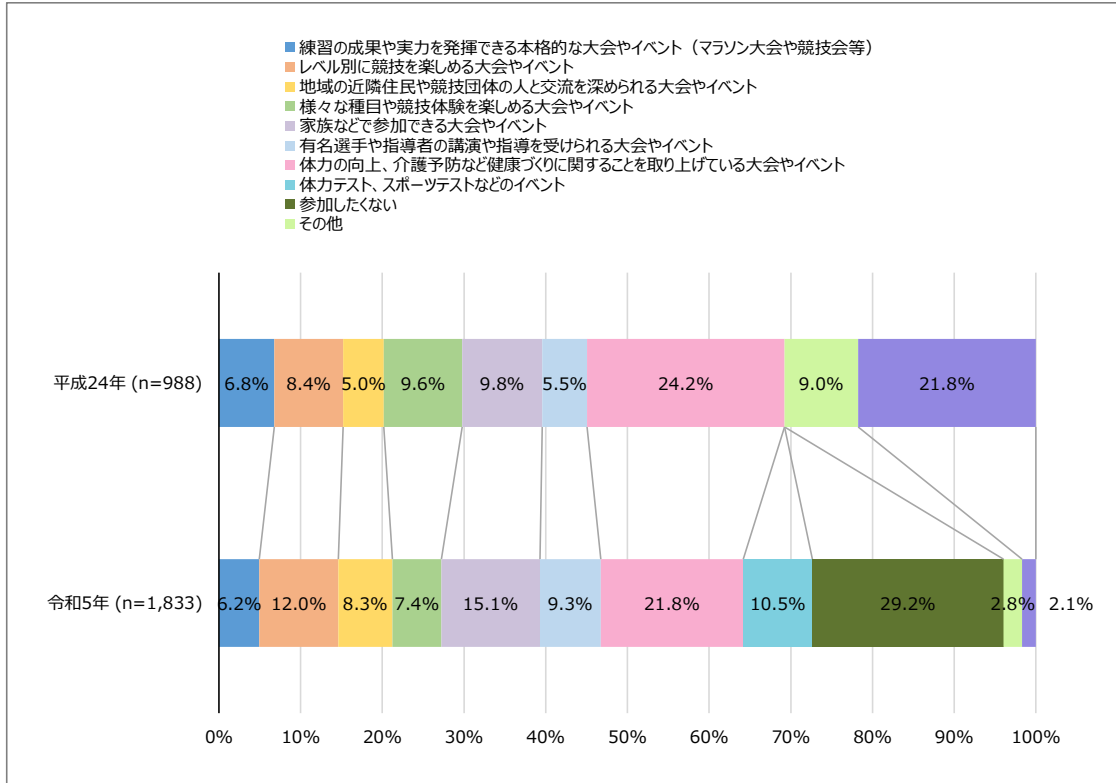
問 19 1か月あたり、ご自身が実施する運動やスポーツ（観戦は除く）にどのくらいの費用をかけていますか。 (複数回答)

平成 24 年度調査との比較では、大きな変化ではないものの、「1,000 円未満」「費用はかけていない」の割合が増加しており、運動やスポーツにかかる費用が減少している傾向がある。一方で「1 万円以上」の割合も増えており、運動やスポーツに費用をかけられる人とそうでない人で両極化している傾向があるように見受けられる。



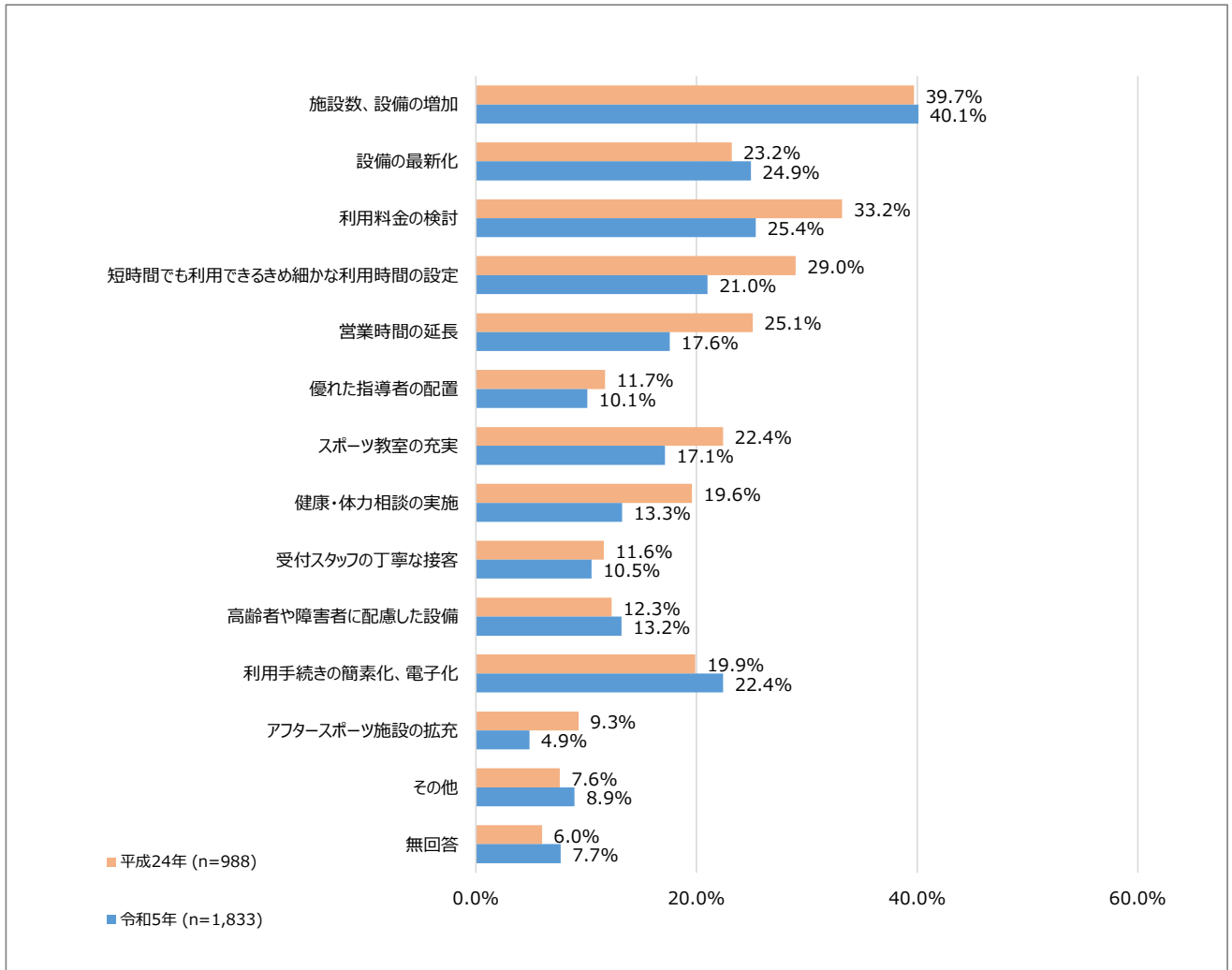
問 20 どのようなスポーツ大会やイベントに参加したいと思いますか。（複数回答）

平成 24 年度調査との比較では、「地域の近隣住民や競技団体の人と交流を深められる大会やイベント」「家族などで参加できる大会やイベント」が増加しており、他の人との交流が求められている傾向が見受けられる。



問 23 区立スポーツ施設の利用に際し、どのようなことを望みますか。（複数回答）

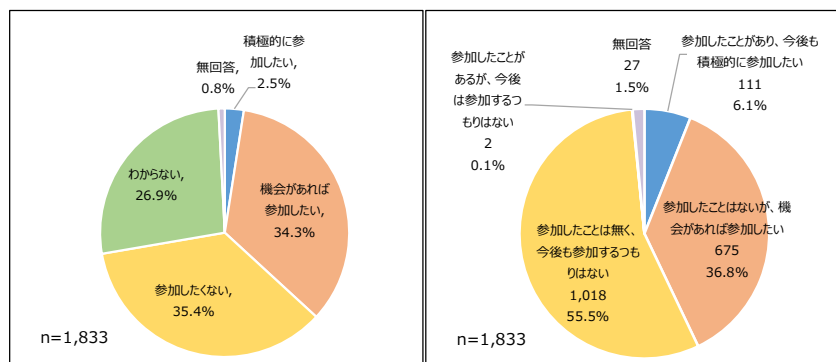
平成 24 年度調査との比較では、「利用料金の検討」「短時間でも利用できるきめ細かな利用時間の設定」「営業時間の延長」といった施設利用の利便性に関する項目は回答割合が減少している一方、「利用手続きの簡素化、電子化」については回答割合が増加している。



問 27 あなたは運動やスポーツに関するボランティア活動に参加したことはありますか。

（単一回答）

平成 24 年度調査との比較では、回答の選択肢が異なるので単純な比較はできないが、参考として調査結果を示す。



参考：平成 24 年度調査結果

令和 5 年度調査結果

問 34 豊島区の運動やスポーツの振興を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(複数回答)

平成 24 年度調査との比較では、「スポーツに関する広報活動」の割合が大きく減っており、「スポーツ指導者の養成」が大きく増加している。また、「スポーツ施設の整備・開放」や「子供や障害者のスポーツ活動に関する事業の充実」が増加している。

